

平成23年度
川崎区区民アンケート
報告書

川崎区役所

目次

調査概要	3
調査回答者の属性	7
調査結果の詳細	13
1 川崎区の住みやすさ	13
2 川崎区の良いと思うもの	15
3 川崎区の良くないと思うもの	19
4 今後の定住意向	23
5 川崎区役所からの情報の入手ルート	25
6 市政だよりの充実して欲しい内容	29
7 ホームページの充実して欲しい内容	33
8 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思うもの	38
9 川崎区役所が行っている事業で、今後特に力を入れてほしいと思うもの	42
10 自転車の利用目的	46
11 自転車で使って、さらに電車を使う場合に最も利用する駅	50
12 有料駐輪場の利用頻度	55
13 自転車乗車時の問題行為	60
14 区民会議の認知度	65
15 区民会議の取り組みで知っているもの	69
16 区民会議の議題として望ましいもの	74
17 「区の花」「区の木」の活用方法についてのご意見・ご提案等	78
18 市民活動及び地域活動への参加状況	79
19 現在参加している地域活動の分野	82
20 今後参加してみたいと思う地域活動の分野	86
調査に使用した調査票	95



区の花 ひまわり



区の花 ビオラ



いちょう
区の木 銀杏



ちょうじゅうろうなし
区の木 長十郎梨

調查概要

調査概要

1. 調査の目的

「川崎区区民アンケート」は、区役所サービス及び区民の地域活動に関する意識や要望を調査することにより、地域の課題を把握し、区民会議調査審議課題、区政運営及び区の企画立案の参考資料とすることを目的として実施した。

2. 調査の方法

- (1) 調査の地域 川崎区全域
- (2) 調査の対象者 川崎区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 住民基本台帳および外国人登録原票からの層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 2,000標本
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布 - 郵送回収）
- (6) 調査期間 平成23年12月5日～平成23年12月19日
- (7) 調査委託機関 株式会社 総合企画

3. 調査項目

< 調査テーマ >	< 問番号 >
(1) 住みやすさについて	(問1～問4)
(2) 川崎区役所の広報について	(問5～問7)
(3) 川崎区役所が行っている事業の評価と要望について	(問8～問9)
(4) 自転車対策について	(問10～問13)
(5) 川崎区区民会議について	(問14～問17)
(6) 市民活動及び地域活動への参加について	(問18～問20)

4. 回収状況

有効回収数 921人
有効回収率 46.1%

5. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率（%）は、その設問の回答者数を基数として算出しているため、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、一部語句を短縮、省略化している。
- (5) 回答数が20未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめている。
- (6) 本文中の不明・無回答とは、調査票の各設問において解答されてことを示している。

6. 標本誤差

この調査の標本誤差（サンプル誤差）はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（ n ）、および回答の比率（ P ）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差（単純無作為抽出の場合）
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答の比率

回答の 比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
921	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%
600	±2.4%	±3.3%	±3.7%	±4.0%	±4.1%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

注) 1 上表は $\frac{N-n}{N-1}$ 1 として算出した。

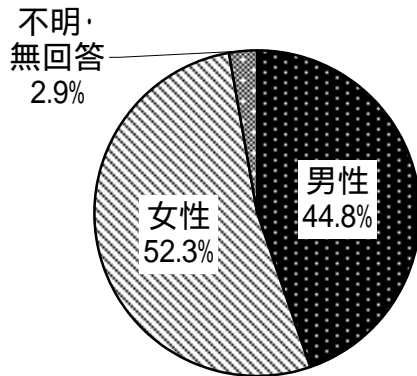
2 この表の見方は次のとおりである。「ある設問に対する回答者数が600人であり、その設問の選択肢に対する回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.0%以内である。」

調査回答者の属性

調査回答者の属性

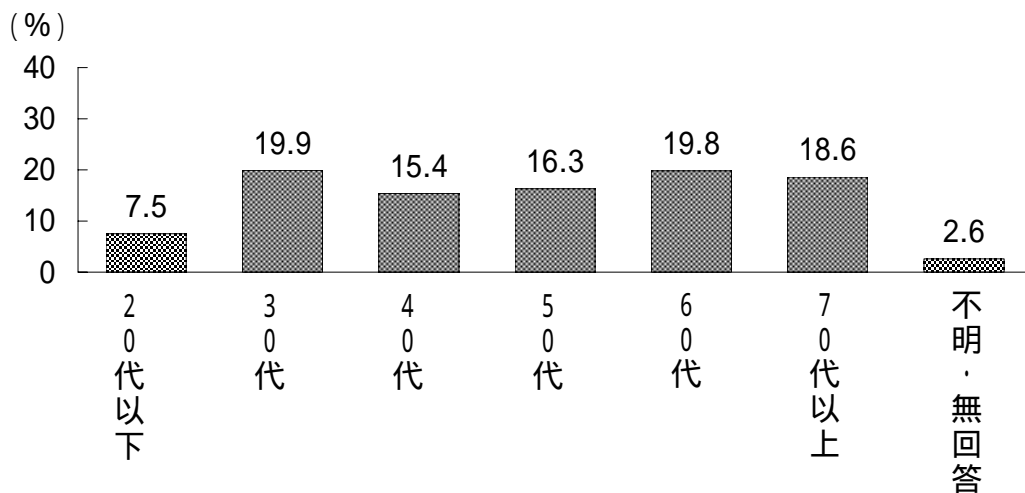
F 1 性別

【基数：全体(N=921)】



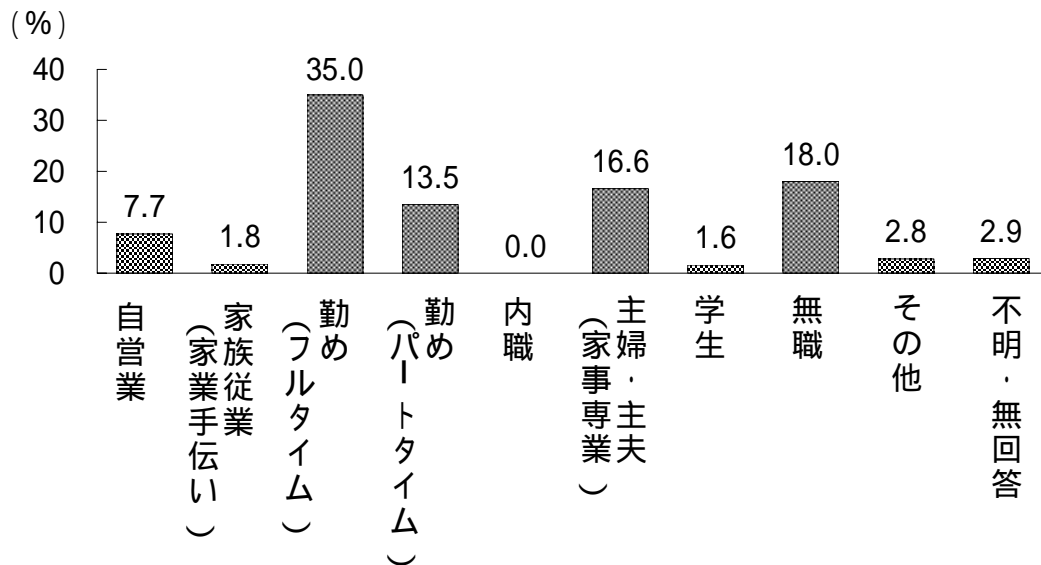
F 2 年齢

【基数：全体(N=921)】



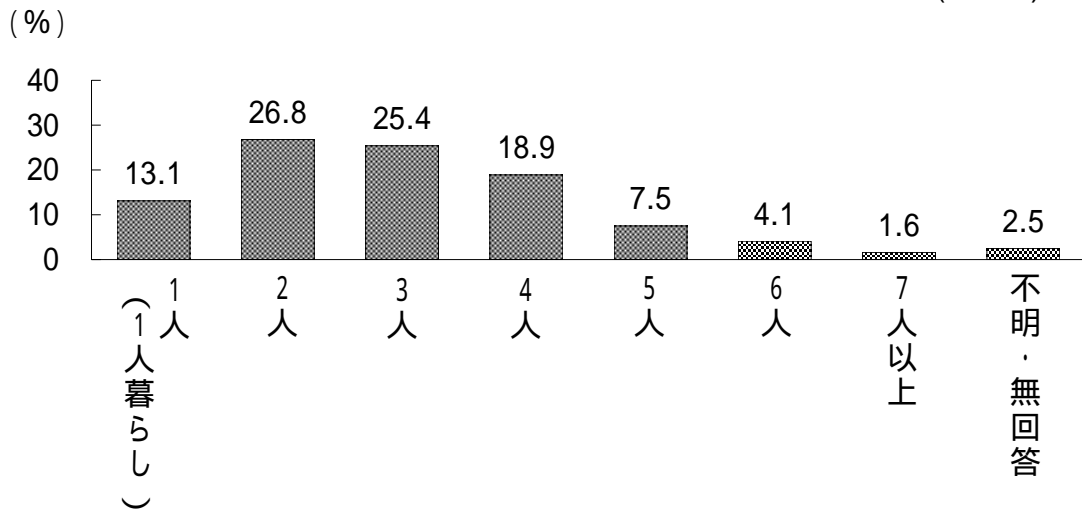
F 3 職業

【基数：全体(N=921)】



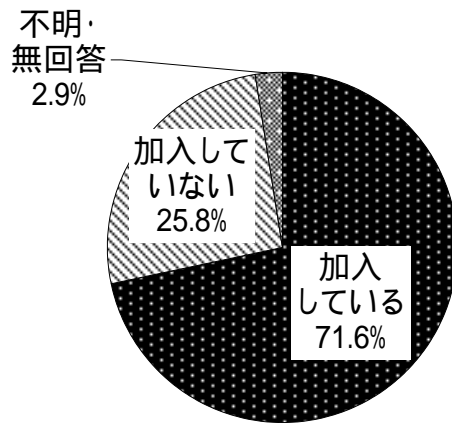
F 4 同居人数

【基数：全体(N=921)】



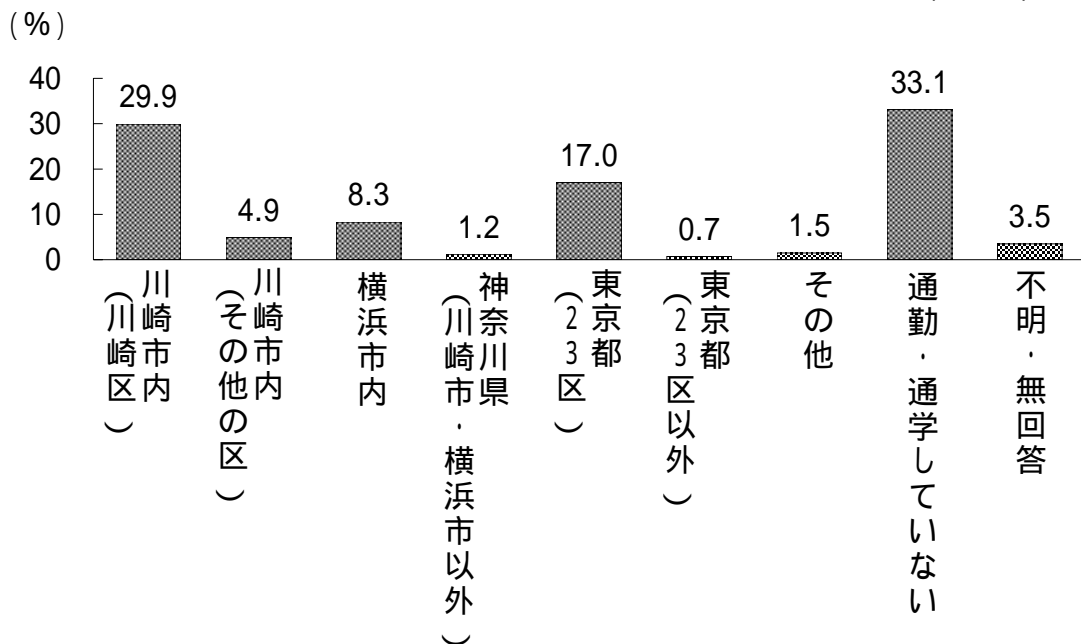
F 5 町内会・自治会加入の状況

【基数：全体(N=921)】

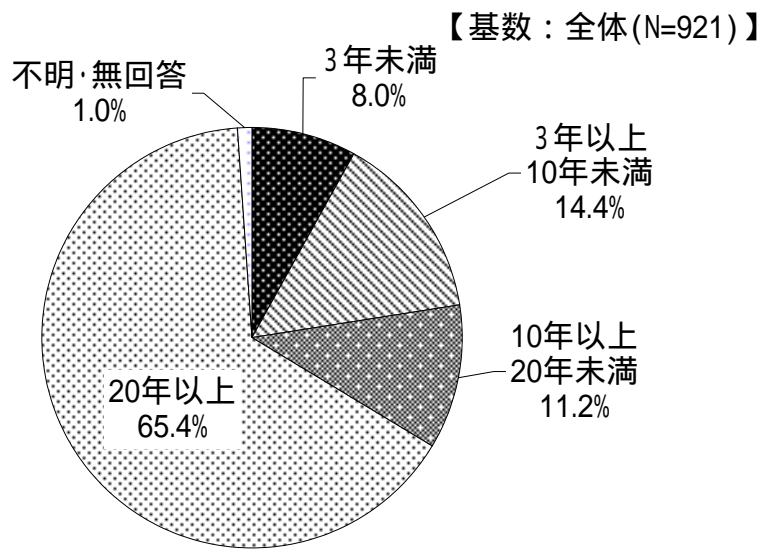


F 6 勤務先・通学先

【基数：全体(N=921)】



問1 居住年数



調査結果の詳細

調査結果の詳細

住みやすさについて

1 川崎区の住みやすさ

問2 あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(1 は1つ)

全体 「どちらかといえば住みやすい」(61.1%)が最も多く、次いで「とても住みやすい」(29.1%)と続いている。平成21年度と比較すると「とても住みやすい」が平成21年度(24.4%)に対し、今年度では約5ポイント高くなっている。(図1-1)

性別 「とても住みやすい」では、「男性」(23.0%)に対して「女性」(33.7%)が10ポイント高くなっている。一方「どちらかといえば住みやすい」では、「女性」(57.6%)に対して「男性」(65.9%)が8ポイント高くなっている。(図1-2)

性年代別 「とても住みやすい」では、「女性40代」(37.0%)、「女性60代」(38.7%)「女性70代以上」(37.8%)が30%台後半と多くっており、「どちらかといえば住みやすい」では「男性20代以下」(71.4%)が最も高くなっている。(図1-2)

図1-1 川崎区の住みやすさ

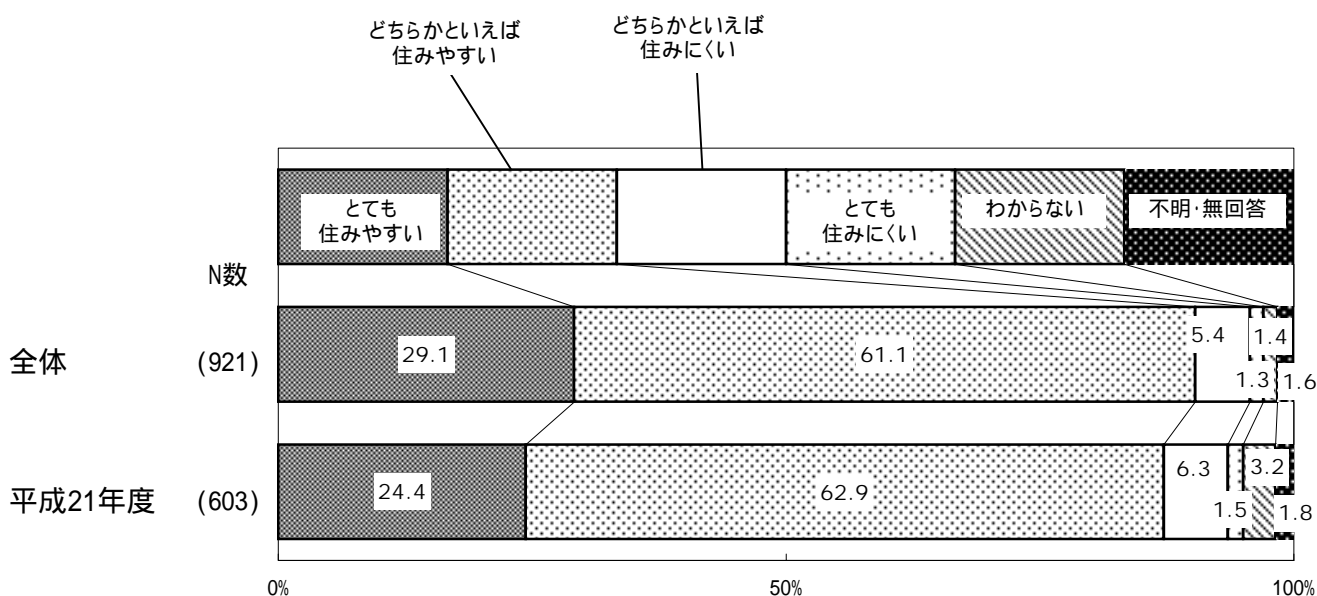
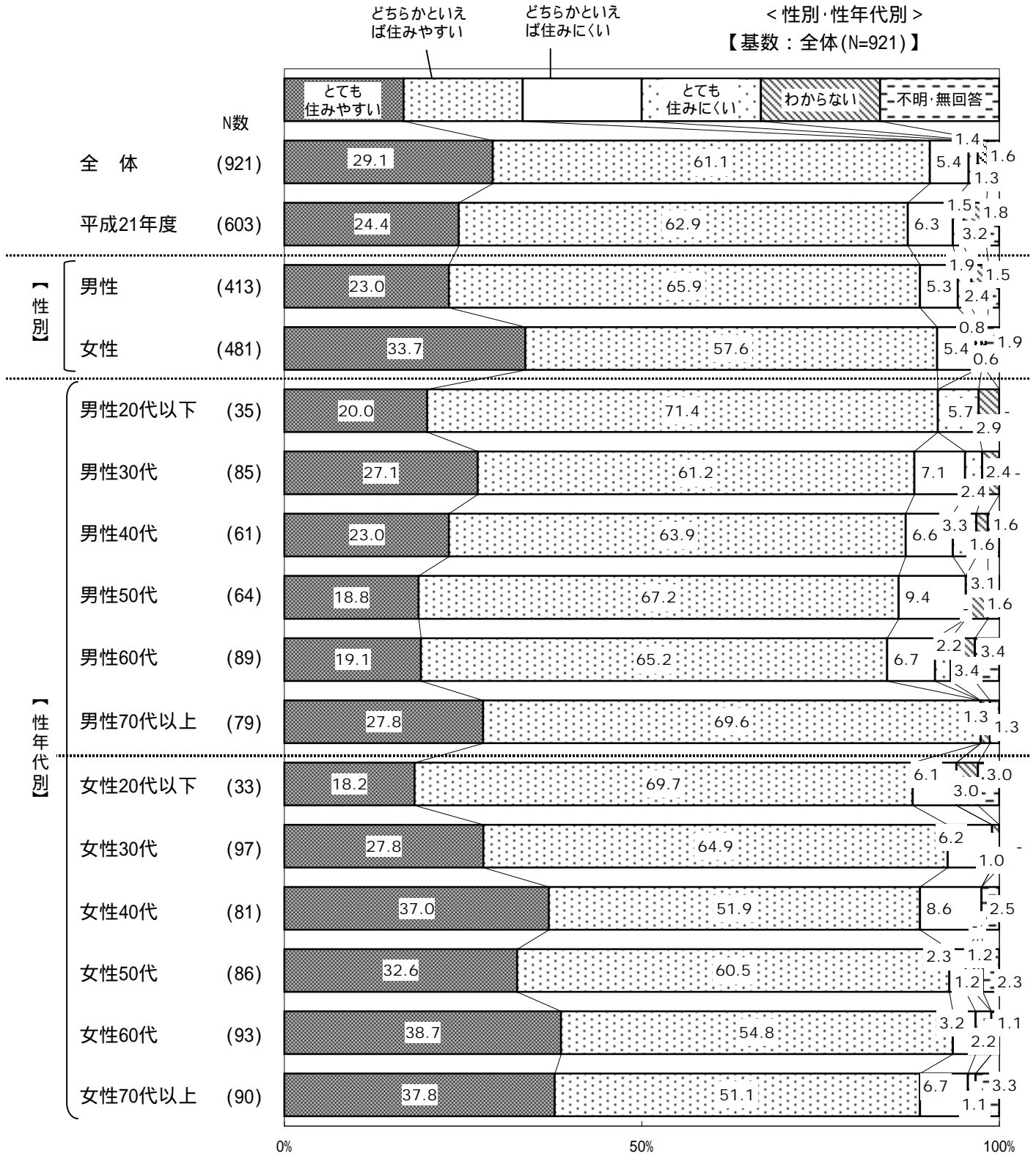


図 1 - 2 川崎区の住みやすさ



「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
属性が「不明・無回答」は作図せず

2 川崎区の良いと思うもの

問3-1 次の表にあげる項目で、川崎区について良いと思うものを選んでください。（あてはまるものすべてに）

- 全 体 「買い物、病院などの日常生活の利便性」（89.0%）が最も高く、次いで「交通の利便性」（82.1%）、「緑や公園などの自然環境」（45.5%）と続いている。（図2-1）
- 性 別 「緑や公園などの自然環境」「子育て環境」「治安や風紀」では、「男性」より「女性」の割合が高くなっている。特に「子育て環境」では、「男性」（31.7%）に対して「女性」（38.9%）が7ポイント高くなっている。（図2-2）
- 性年代別 「買い物、病院などの日常生活の利便性」では「男性20代以下」（97.1%）、「男性30代」（90.6%）、「男性40代」（93.4%）、「女性50代」（94.2%）、「女性60代」（92.5%）が9割を超えている。「教育・文化環境」では、「男性20代以下」（57.1%）、「女性30代」（50.5%）で5割を超えている。「治安や風紀」では、男女共に年代が高くなるにつれ、割合が上昇する傾向がある。（図2-2）
- 居住年数別 「買い物、病院などの日常生活の利便性」「治安や風紀」では、居住年数が長くなるにつれ、割合が上昇する傾向がある。一方「緑や公園などの自然環境」では居住年数が長くなるにつれ、割合が減少する傾向がある。（図2-3）
- 川崎区の住みやすさ別 全体的にどの項目においても、「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。（図2-3）
- 定住意向別 全体的に「川崎区内に住み続けたい」での割合が高く、「買い物、病院などの日常生活の利便性」（92.0%）で9割を超えている。「川崎区以外の川崎市内に住みたい」「市外に転居したい」としている層（以下、「移転意向がある層」とする）においても、「買い物や病院など日常生活の利便性」「交通の利便性」では7～8割と比較的高くなっている。（図2-3）

図 2 - 1 川崎区の良いと思うもの

【基数：全体(N=921)】

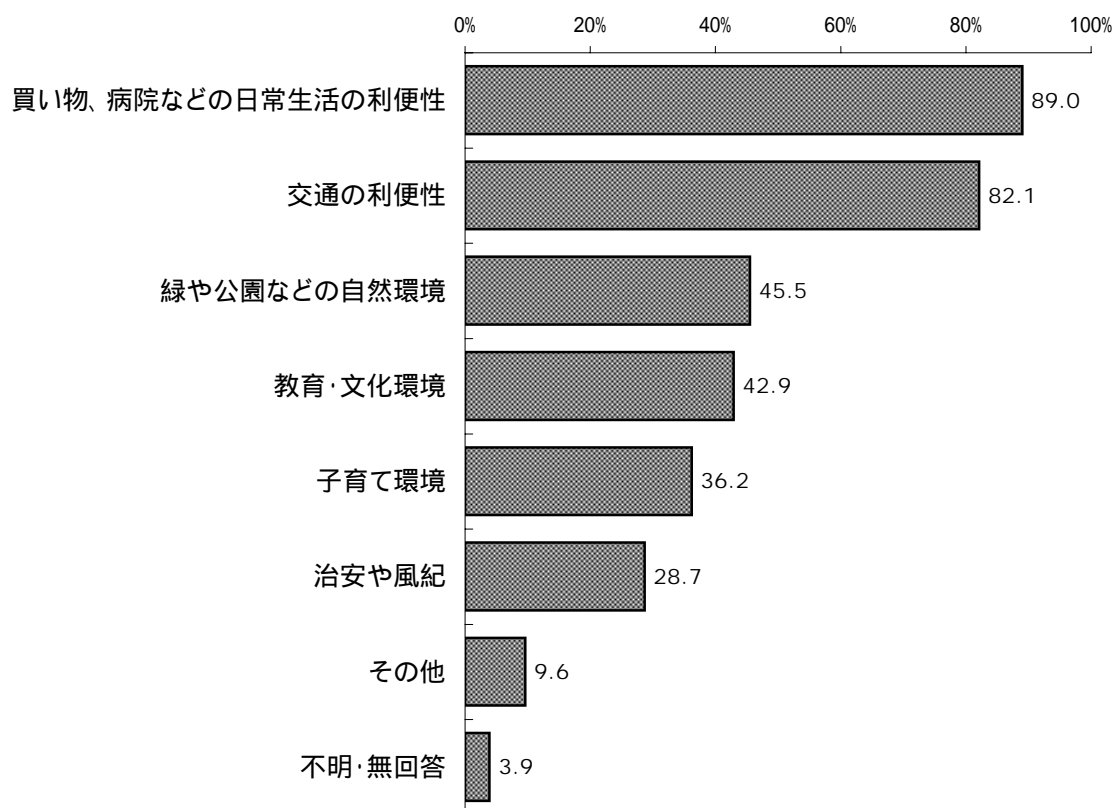
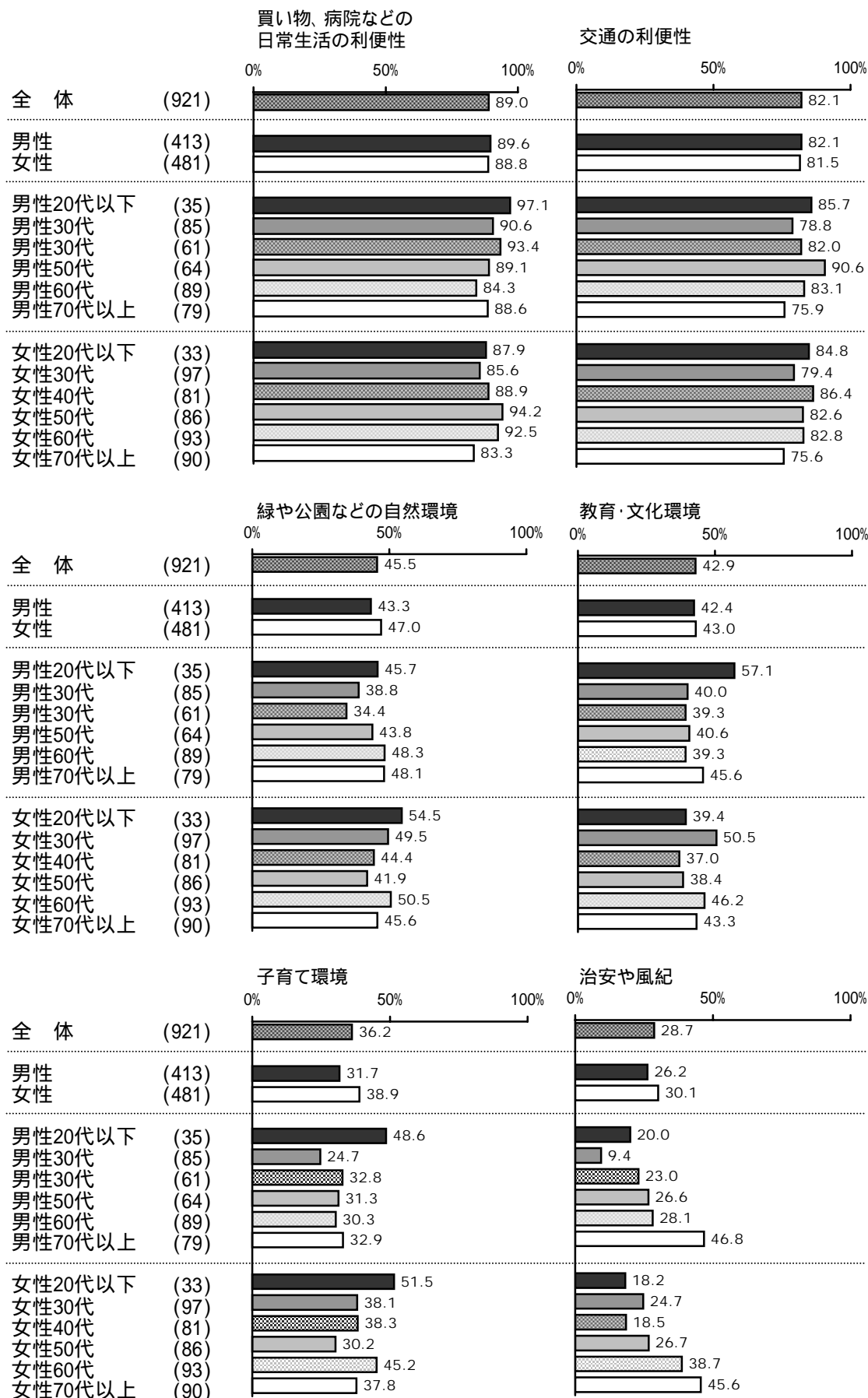


図 2 - 2 川崎区の良いと思うもの

<性別・性年代別>

(上位6項目)

【基数：全体(N=921)】



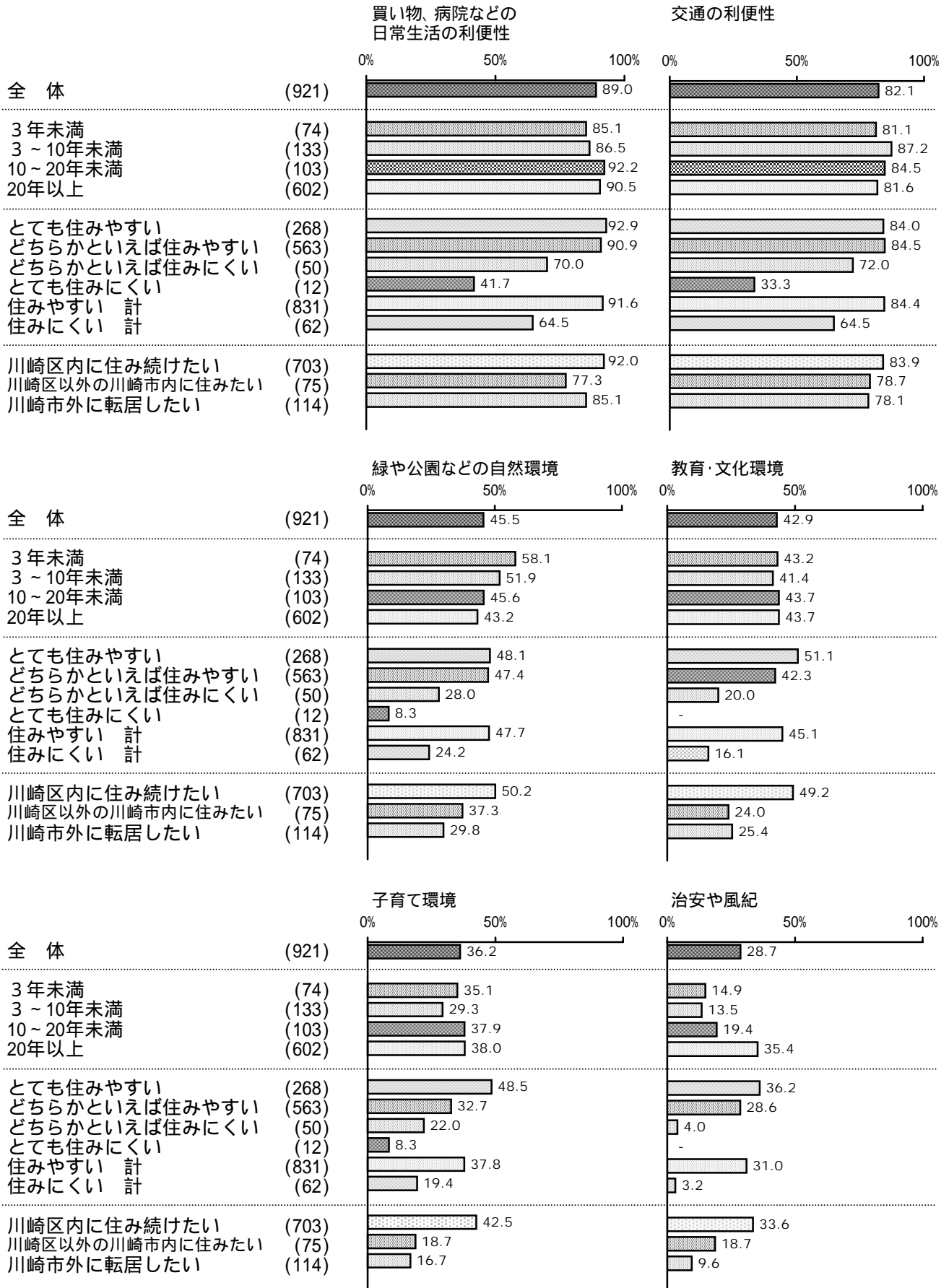
「その他」「不明・無回答」は作図せず

図2-3 川崎区の良いと思うもの

< 居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別 >

(上位6項目)

【基数：全体(N=921)】



「その他」「不明・無回答」は作図せず

3 川崎区の良くないと思うもの

問3-2 次の表にあげる項目で、川崎区について良くないと思うものを選んでください。（あてはまるものすべてに）

- 全 体 「治安や風紀」（56.9%）が最も高く、次いで「子育て環境」（40.4%）、「緑や公園などの自然環境」（39.8%）と続いている。（図3-1）
- 性 別 「子育て環境」「緑や公園などの自然環境」では「女性」よりも「男性」の割合が高く、特に「緑や公園などの自然環境」では「女性」（37.0%）に対して「男性」（43.1%）が6ポイント高くなっている。（図3-2）
- 性年代別 全体として、年代が高くなるにつれ、割合が低くなる傾向にあり、「治安や風紀」における「男性」では、「男性30代」（81.2%）が最も高く、「男性70代以上」（27.8%）では最も低くなっている。また、同じく「治安や風紀」における「女性」では、「女性20代以下」（78.8%）が最も高く、「女性70代以上」（22.2%）では最も低くなっている。（図3-2）
- 居住年数別 「治安や風紀」「子育て環境」に関して、居住年数が長くなるにつれ、割合が減少する傾向にあり、特に「治安や風紀」では「3年未満」（81.1%）で8割を超えており、最も高くなっている。（図3-3）
- 川崎区の住みやすさ別 全体的にどの項目においても、「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が高くなっており、特に「治安や風紀」では「住みにくい計」（90.3%）が9割を超え、高くなっている。（図3-3）
- 定住意向別 上位5項目で移転意向がある層では、割合が高い傾向にあり、特に「治安や風紀」では「川崎市外に転居したい」（81.6%）が8割を超えている。（図3-3）

図3-1 川崎区の良くないと思うもの

【基数：全体(N=921)】

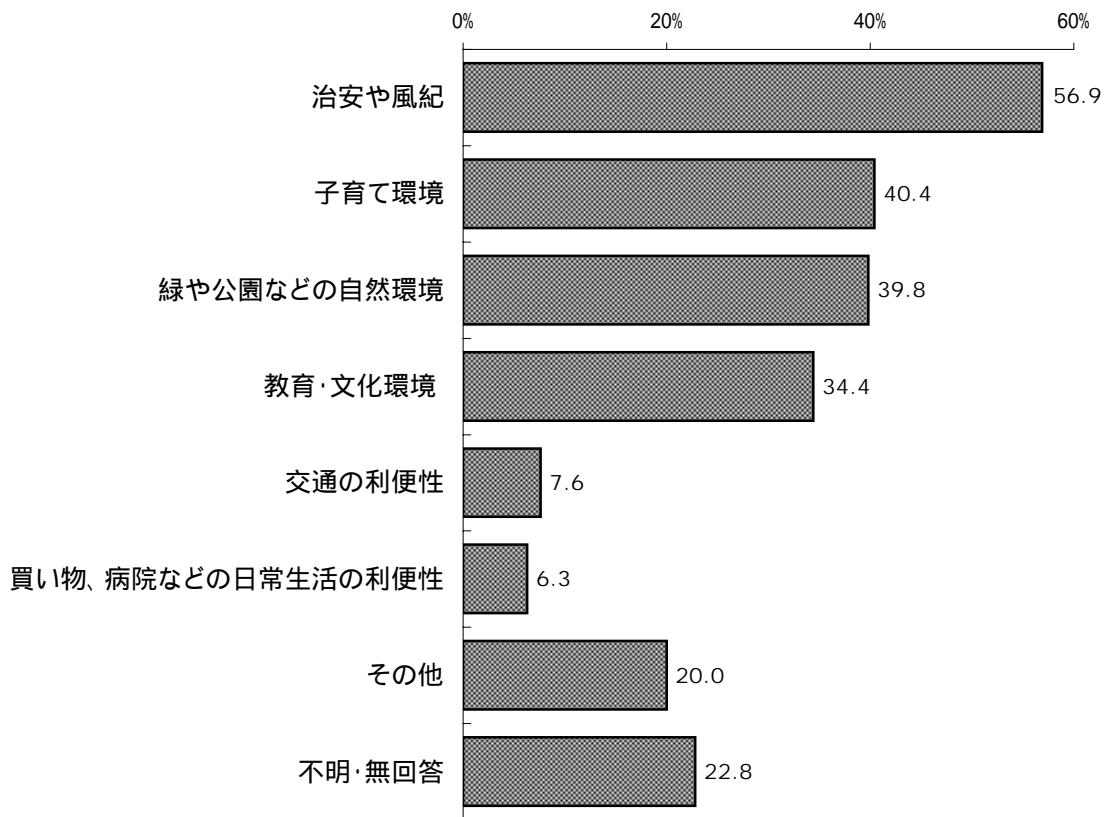
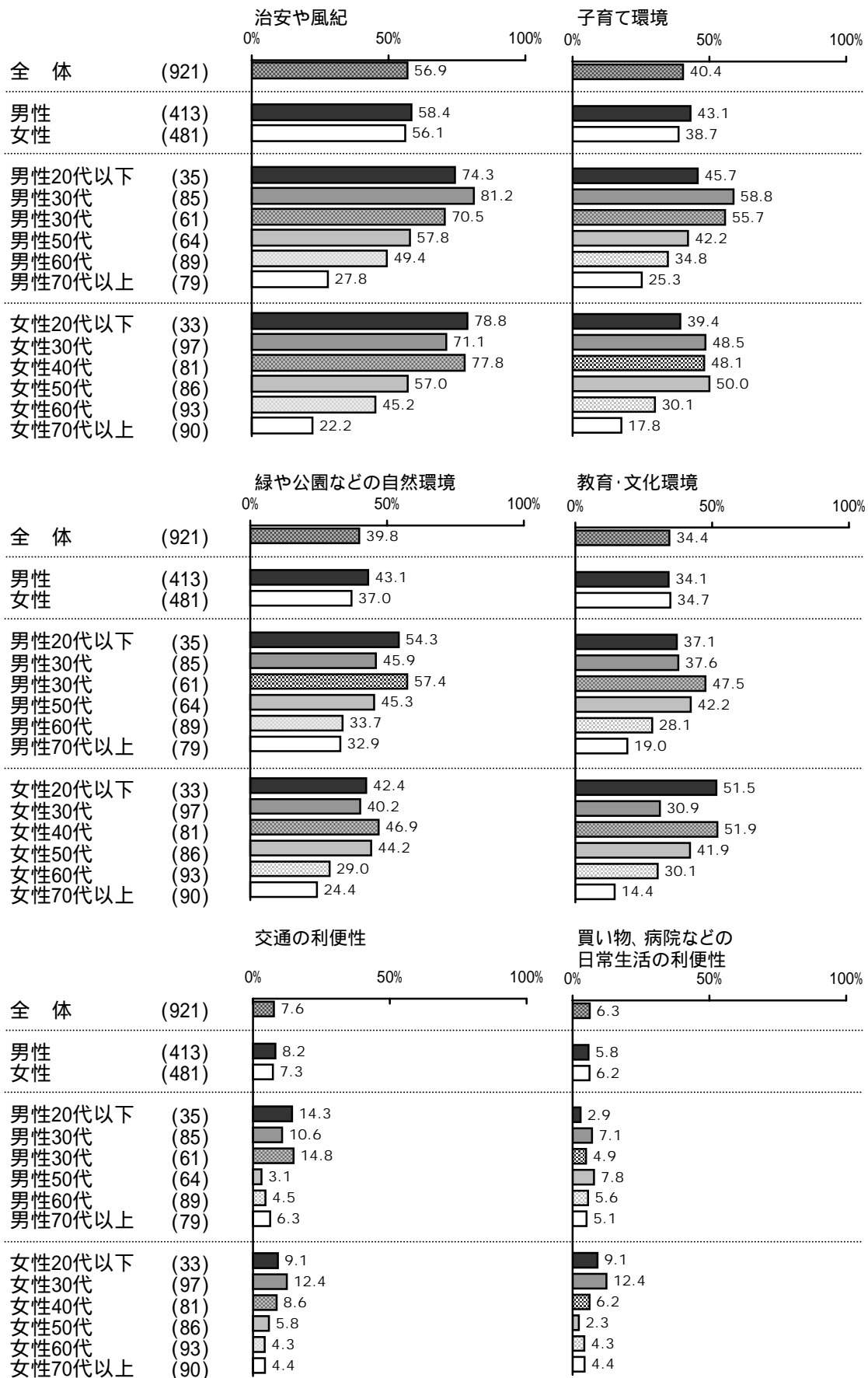


図3-2 川崎区の良くないと思うもの

<性別・性年代別>

(上位6項目)

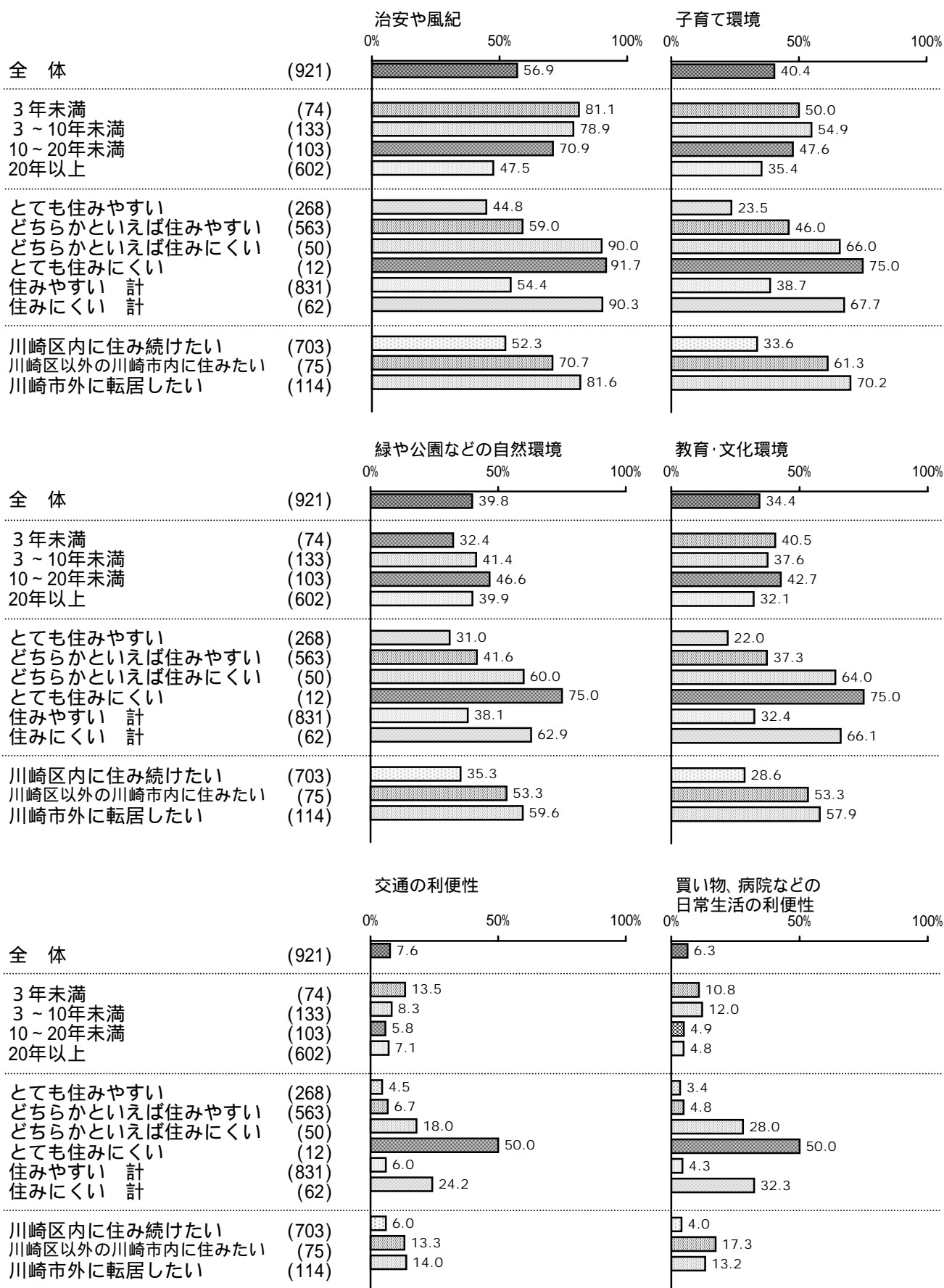
【基数：全体(N=921)】



「その他」「不明・無回答」は作図せず

図 3-3 川崎区の良くないと思うもの

< 居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別 >
(上位 6 項目)
【基数：全体(N=921)】



「その他」「不明・無回答」は作図せず

4 今後の定住意向

問4 あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

全体 「川崎区内に住み続けたい」(76.4%)が最も多く、次いで「市外に転居したい」(12.4%)と続いている。平成21年度と比較しても、大きな違いはみられない。(図4-1)

性別 特に大きな違いはみられない。(図4-2)

性年代別 「川崎区内に住み続けたい」では「男性40代」(80.3%)、「男性70代以上」(82.3%)、「女性60代」(82.8%)、「女性70代以上」(85.6%)が8割を超えており、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」では、「女性20代以下」(18.2%)が最も多くなっている。「市外に転居したい」では「男性30代」(18.8%)が最も多くなっている。(図4-2)

図4-1 今後の定住意向

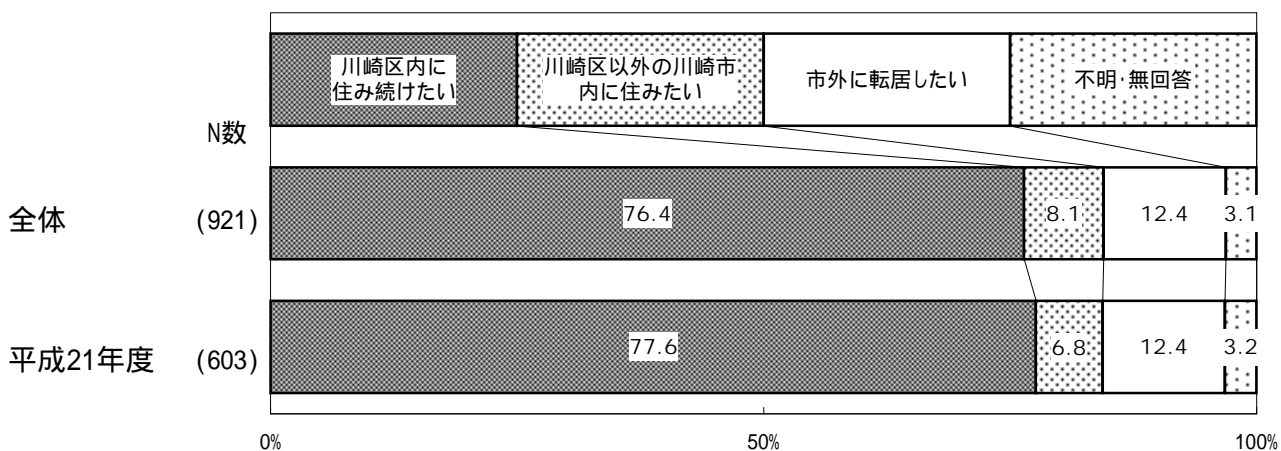
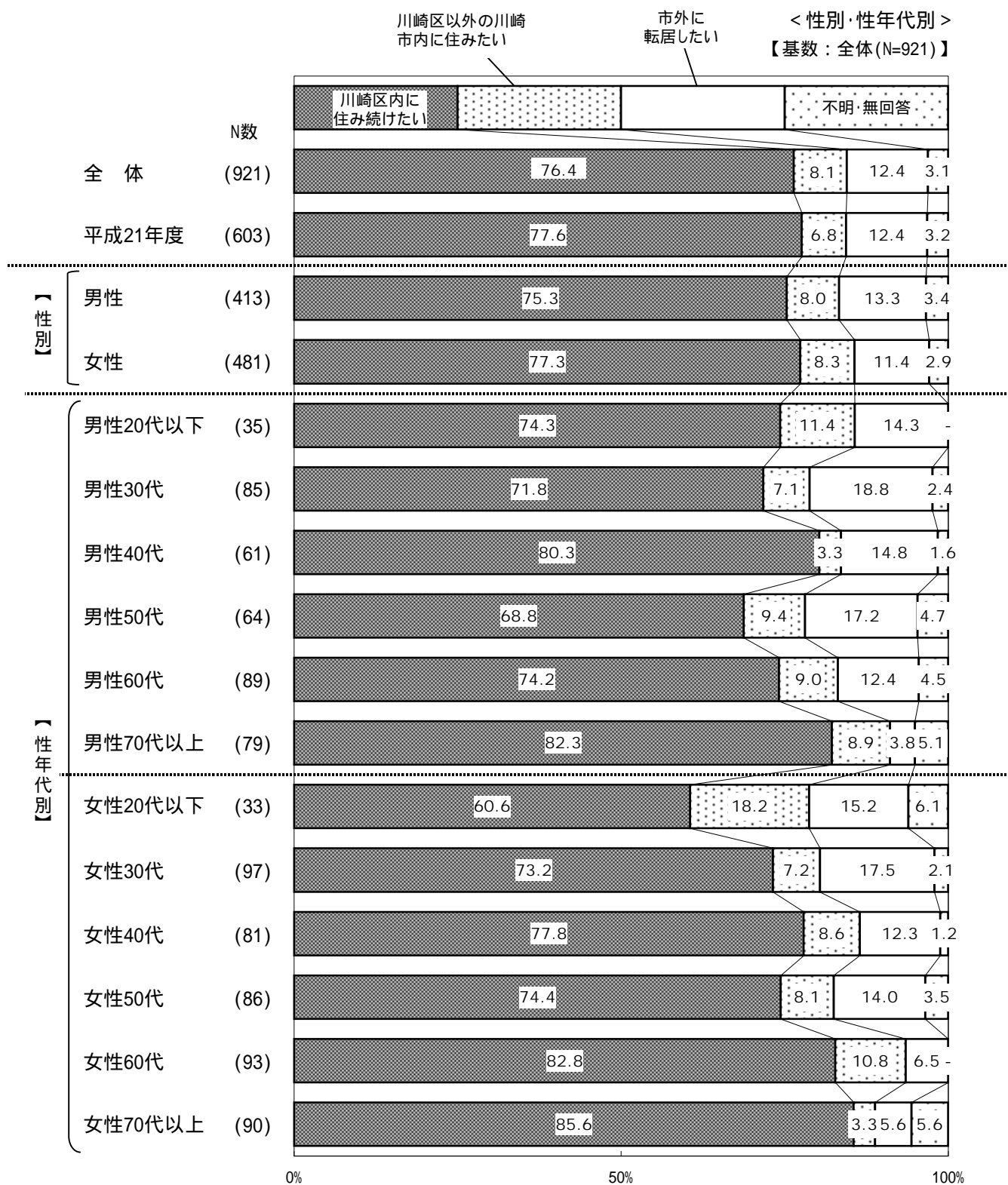


図4-2 今後の定住意向



「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
属性が「不明・無回答」は作図せず

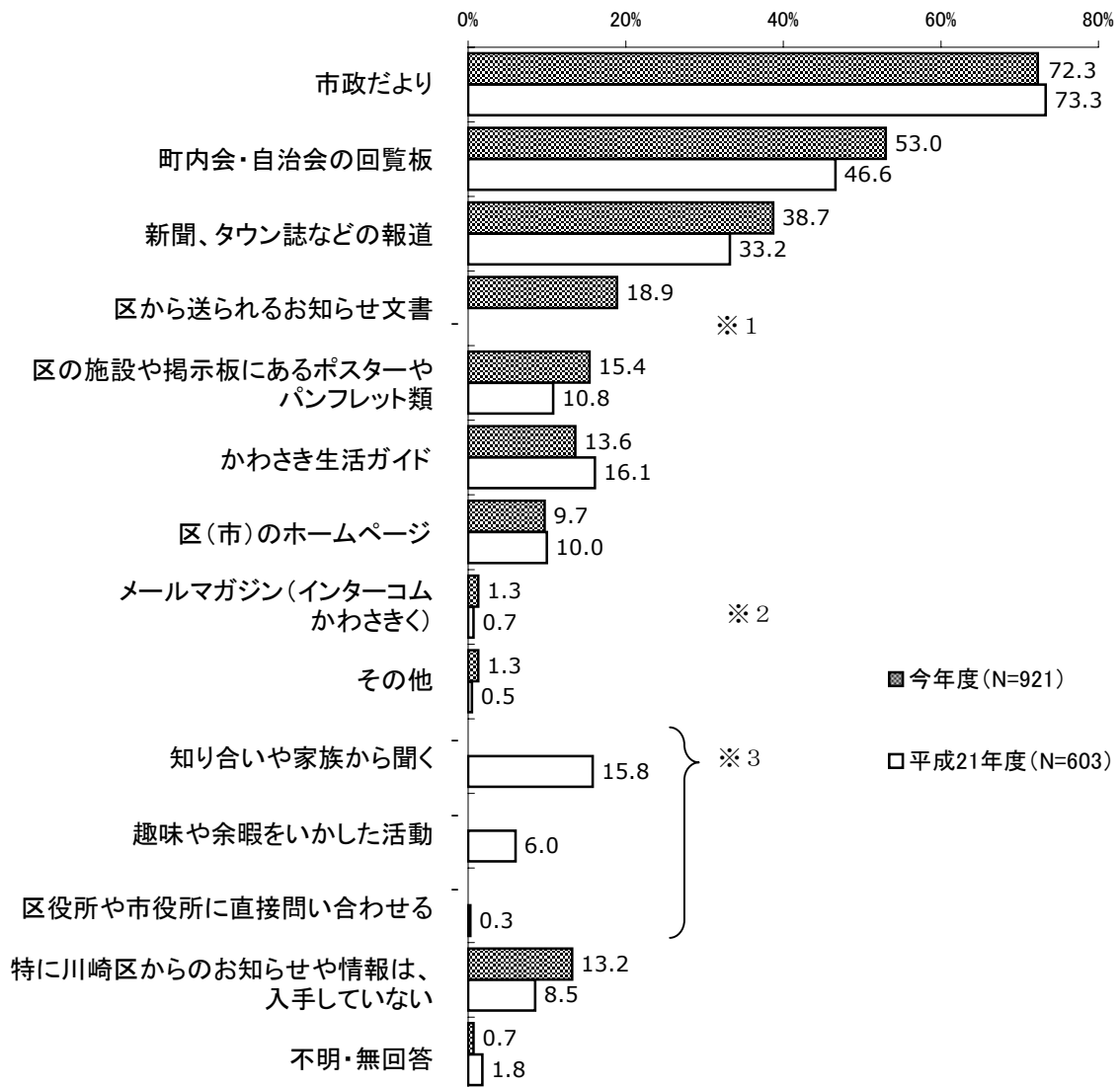
■ 川崎区役所の広報について

5 川崎区役所からの情報の入手ルート

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- 全 体** 「市政だより」（72.3%）が最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板」（53.0%）、「新聞、タウン誌などの報道」（38.7%）と続いている。平成21年度との比較において、「町内会・自治会の回覧板」では平成21年度（46.6%）に対して、今年度（53.0%）は5ポイント高くなっている。「新聞、タウン誌などの報道」でも、平成21年度（33.2%）に対して、今年度（38.7%）は同様に、5ポイント高くなっている。「特に川崎区からのお知らせや情報は、入手していない」では、平成21年度（8.5%）に対して、今年度（13.2%）は4ポイント高くなっている。（図5-1）
- 性 別** 概ね「男性」より「女性」の方が区役所からの情報を入手している傾向にある。（図5-2）
- 性年代別** 全体として、概ね年代が高くなるにつれ、割合が上昇する傾向にあり、「市政だより」では「男性70代以上」（81.0%）、「女性50代」（81.4%）、「女性60代」（88.2%）、「女性70代以上」（90.0%）で8割を超えている。一方、「川崎区からのお知らせや情報は、入手していない」では、年代が高くなるにつれ、割合が減少する傾向にある。（図5-2）
- 居住年数別** 「市政だより」「町内会・自治会の回覧板」では居住年数が長くなるにつれ、割合が上昇している。一方、「特に川崎区からのお知らせや情報は、入手していない」では、居住年数が長くなるにつれ、割合が減少する傾向にある。（図5-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的にどの項目においても、「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。「市政だより」では「住みやすい計」（73.6%）で7割を超えている。「特に川崎区からのお知らせや情報は、入手していない」では「どちらかといえば住みにくい」（22.0%）、「とても住みにくい」（33.3%）での割合が高い傾向にある。（図5-3）
- 定住意向別** 「川崎区内に住み続けたい」とする層では、「市政だより」（74.3%）、「町内会・自治会の回覧板」（56.9%）、「区から送られるお知らせ文書」（20.1%）での割合が、他の定住意向の層よりも高くなっている。「特に川崎区からのお知らせや情報は、入手していない」では、川崎区からの移転意向がある層での割合が高い傾向にある。（図5-3）

問5-1 川崎区役所からの情報の入手ルート



※1 平成21年度は非聴取のためデータなし

※2 平成21年度は「携帯電話の情報サイト(「モバイルかわさき」など)」にて聴取

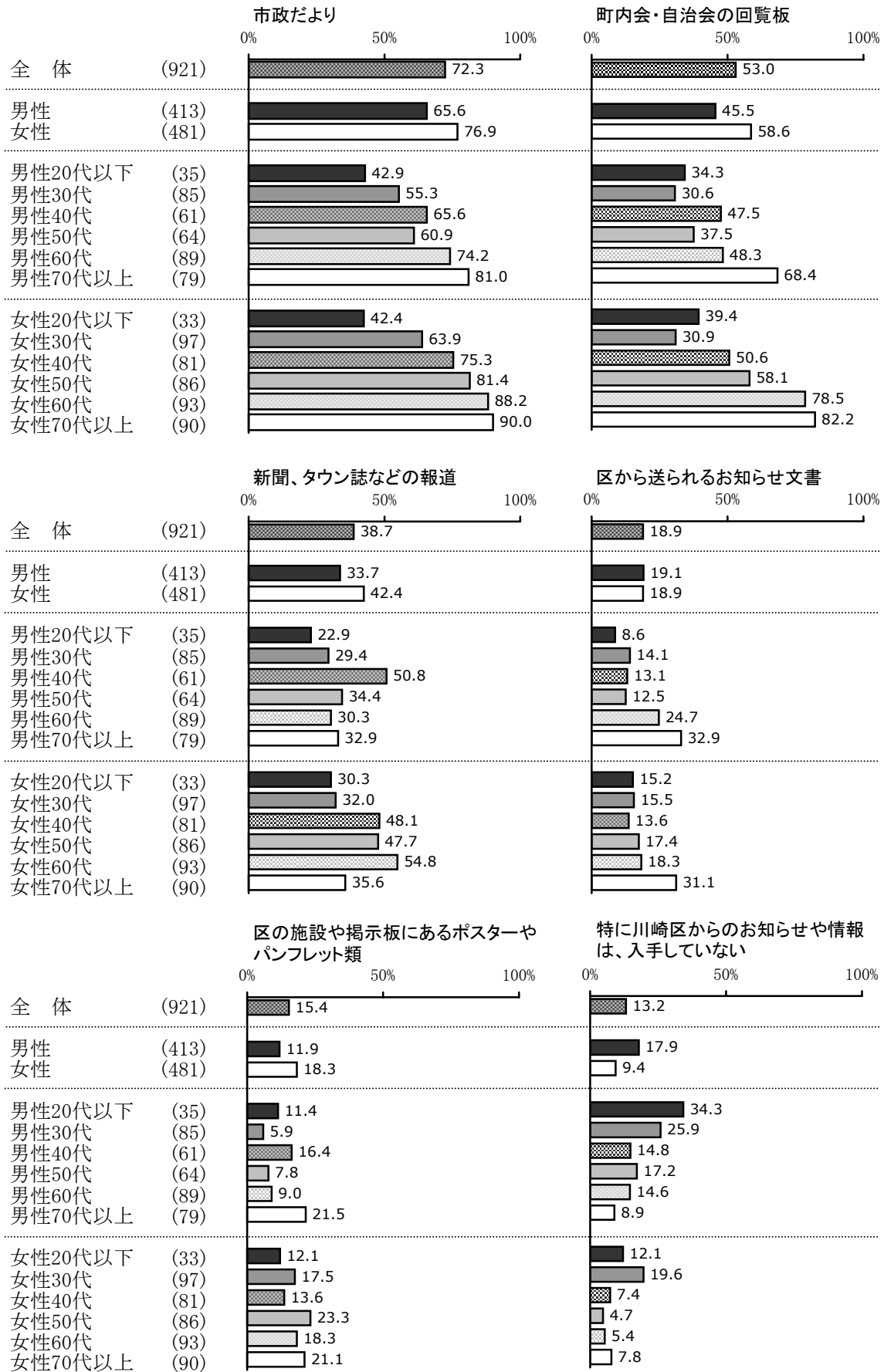
※3 平成23年度は非聴取のためデータなし

図5-2 川崎区役所からの情報の入手ルート

<性別・性年代別>

(上位5項目+「特に川崎区からの情報は入手していない」)

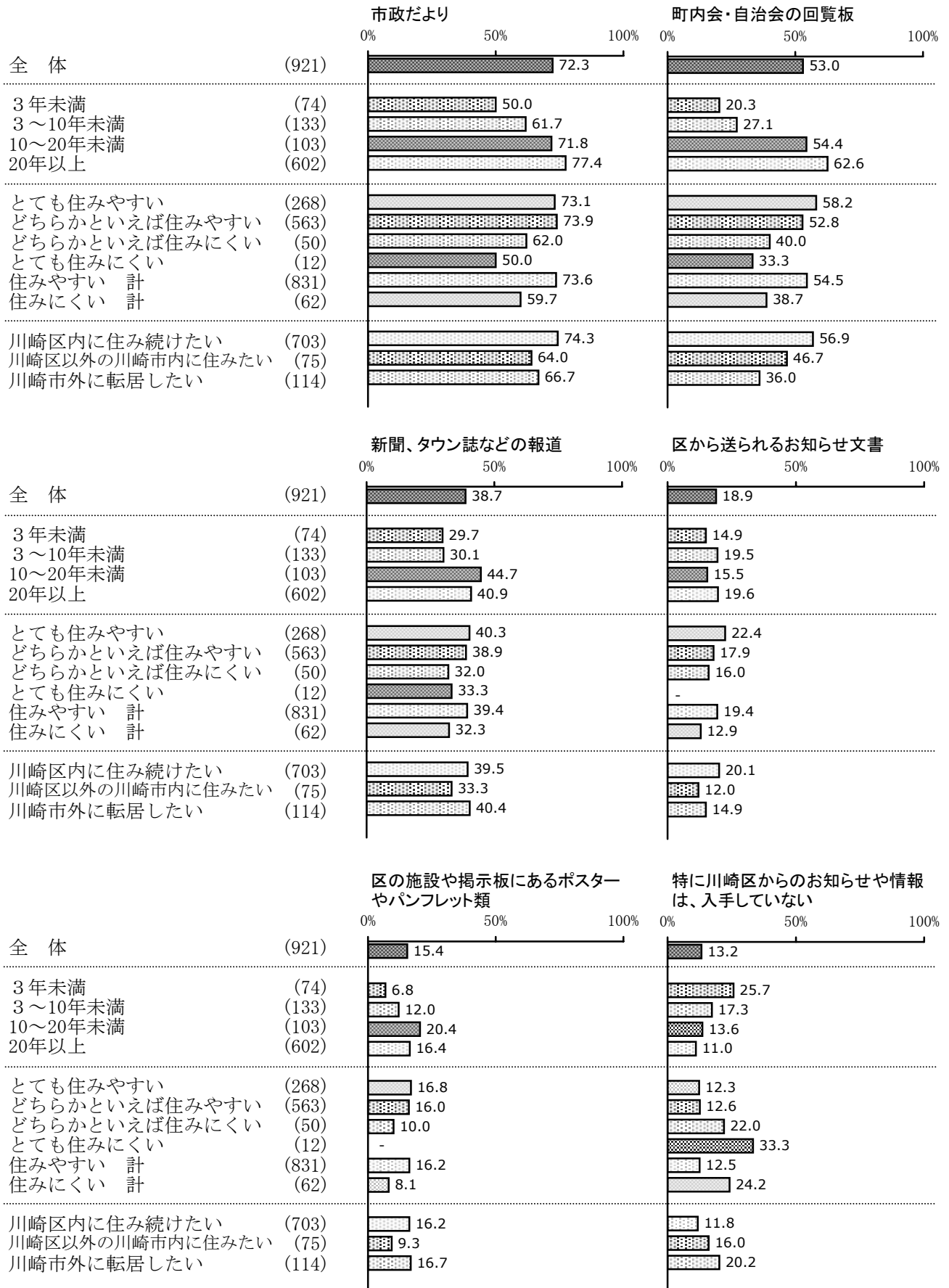
【基数：全体(N=921)】



※6位～8位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図5-3 川崎区役所からの情報の入手ルート

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
 (上位5項目+「特に川崎区からの情報は入手していない」)
 【基数：全体(N=921)】



※6位～8位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

6 市政だよりの充実して欲しい内容

問6 平成21年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からの行政情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。
月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実してほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」（63.4%）が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）」（62.2%）、「イベント情報（区主催のイベント情報など）」（42.6%）と続いている。（図6-1）
- 性 別** 上位3項目では「男性」より「女性」の割合が高くなっており、特に、「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」（65.5%）、「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口）」（65.7%）で、「女性」の割合が6割を超えている。（図6-2）
- 性年代別** 「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」では、「男性70代以上」（70.9%）、「女性20代以下」（72.7%）、「女性60代」（71.0%）を超えており、「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）」では「男性40代」（70.5%）、「男性70代以上」（73.4%）、「女性70代以上」（78.9%）が7割を超えている。「イベント情報（区主催のイベント情報など）」では「男性30代」（44.7%）、「女性30代」（51.5%）での割合が高くなっている。（図6-2）
- 居住年数別** 「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）」では、居住年数が長くなるにつれ割合が上昇する傾向にある。「区役所内の窓口情報（相談内容別問い合わせ先など）」では、「10年～20年未満」（36.9%）、「20年以上」（37.5%）で3割を超え、高くなっている。（図6-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 全体として、概ね「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっているが、「区役所内の窓口情報（相談内容別問い合わせ先など）」では「住みやすい計」（34.4%）に対して「住みにくい計」（37.1%）で、割合がやや高くなっている。（図6-3）
- 定住意向別** 全体として、「川崎区内に住み続けたい」とする層で割合が高くなっている。「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）」では「川崎区内に住み続けたい」「川崎区以外の川崎市内に住みたい」での割合が共に6割を超えている。（図6-3）

図 6-1 市政だよりの充実して欲しい内容

【基数：全体(N=921)】

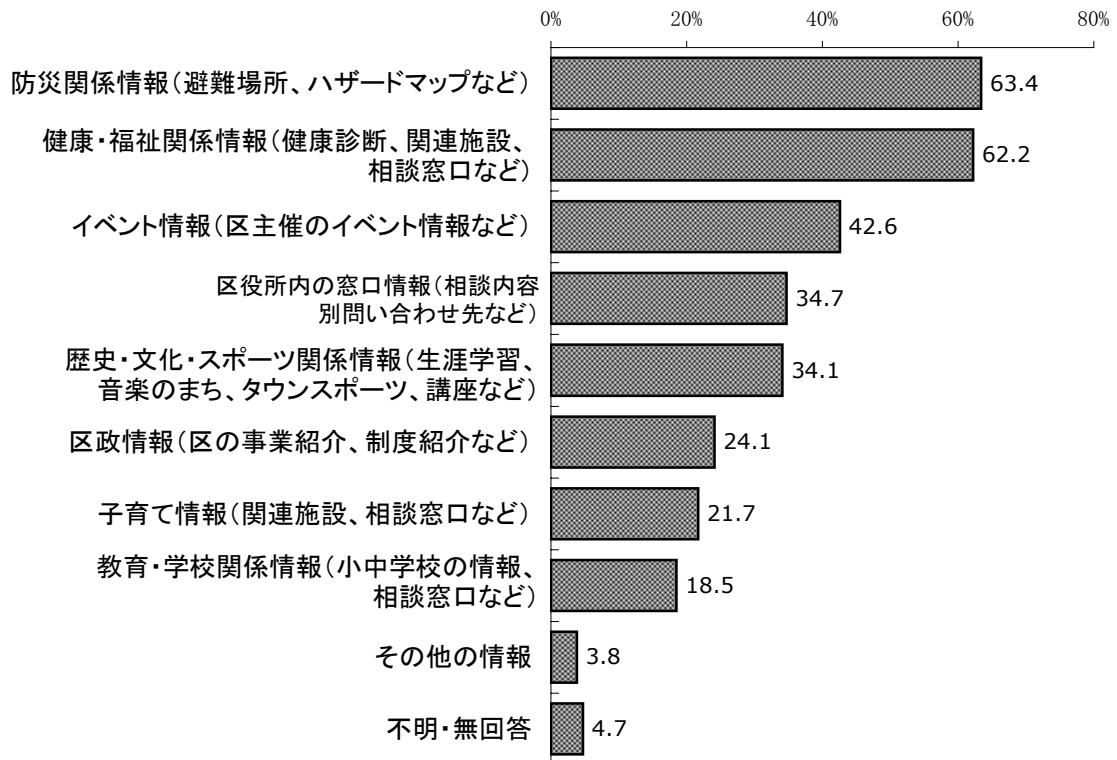
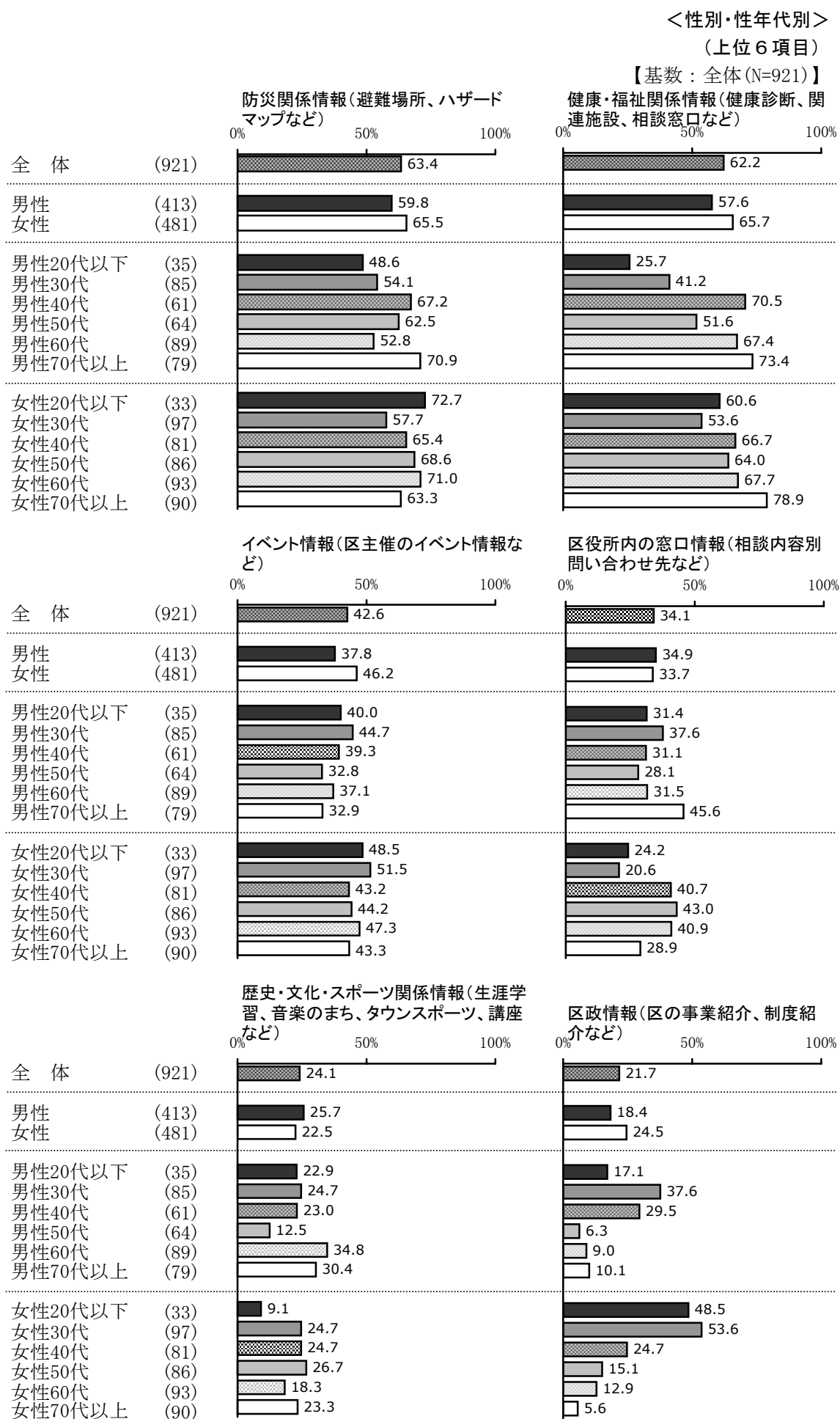


図6-2 市政だよりの充実して欲しい内容

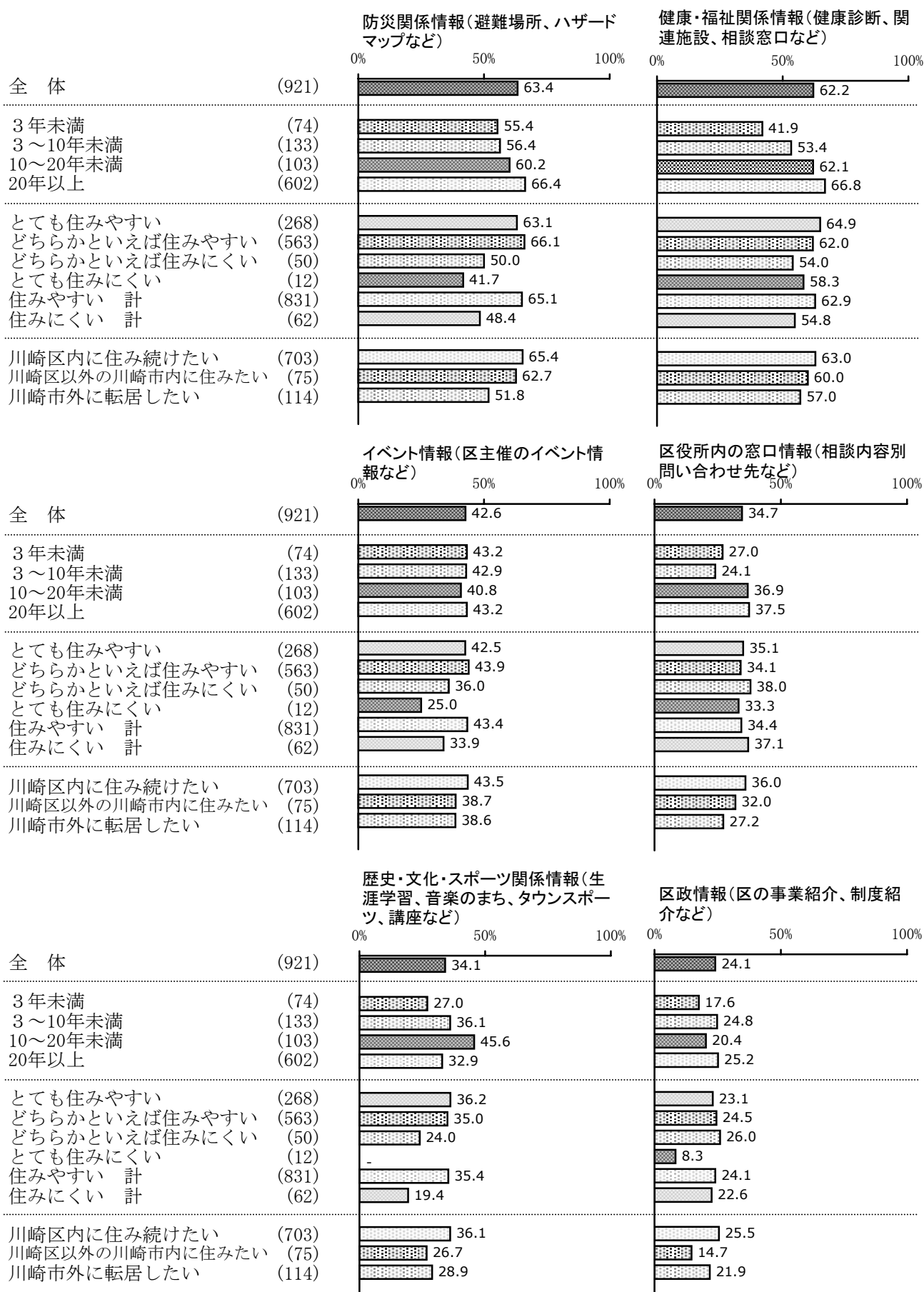


※7位、8位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図 6-3 市政だよりの充実して欲しい内容

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
（上位 6 項目）

【基数：全体(N=921)】



※7位、8位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

7 ホームページの充実して欲しい内容

問7 区ホームページでは、どのような情報を充実してほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全体** 「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」（54.9%）が最も高く、次いで「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口）」（49.8%）、「ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方など）」（47.2%）と続いている。（図7-1）
- 性別** 「ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方など）」では「男性」（42.1%）に対して「女性」（50.7%）が8ポイント高くなっている。一方「歴史・文化・スポーツ関係情報（生涯学習、音楽のまち、タウンスポーツ、講座など）」では「女性」（24.9%）に対して「男性」（30.3%）が5ポイント高くなっている。（図7-2）
- 性年代別** 「防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど）」では「男性40代」（63.9%）「男性70代以上」（60.8%）、「女性40代」（69.1%）で6割を超えている。「ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方など）」では「女性40代」（59.3%）が最も高くなっており、「区役所内の窓口情報や区内の公共施設情報」では、「男性40代」（42.6%）、「女性40代」（50.6%）が高くなっている。（図7-2）
- 居住年数別** 「健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など）」では、居住年数が長くなるにつれ、割合も上昇する傾向にある。「歴史・文化・スポーツ関係情報（生涯学習、音楽のまち、タウンスポーツ、講座など）」では「10年～20年未満」（38.8%）が最も高くなっている。（図7-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的にどの項目においても「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている傾向にある。（図7-3）
- 定住意向別** 特に大きな違いは見られない。（図7-3）
- 川崎区からの情報入手ルート別** 川崎区からの情報入手ルートが「区（市）のホームページ」である層を見ると、「ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方など）」（57.3%）や「区役所内の窓口情報や区内の公共施設情報」（46.1%）では、他の情報入手ルートよりも割合がやや高い傾向にある。（図7-4）

図7-1 ホームページの充実して欲しい内容

【基数：全体(N=921)】

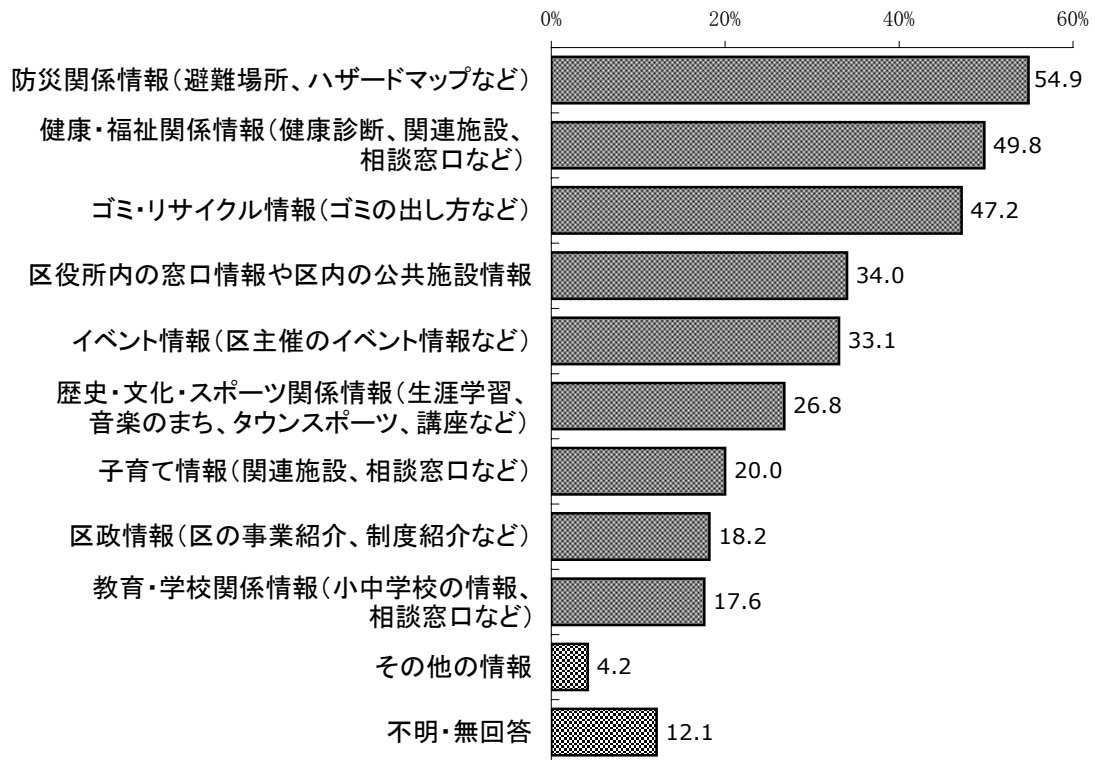
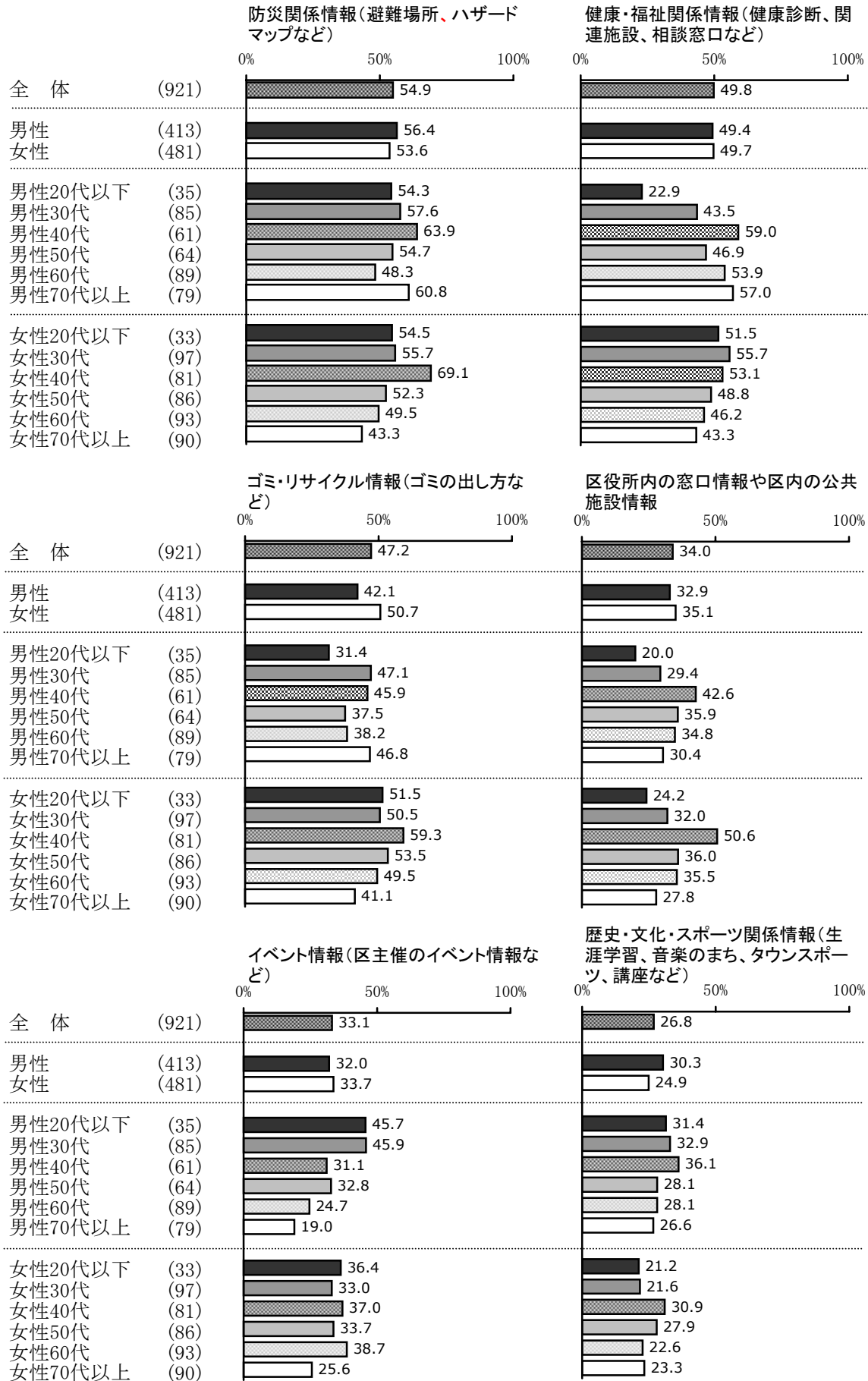


図7-2 ホームページの充実して欲しい内容

<性別・性年代別>
(上位6項目)

【基数：全体(N=921)】

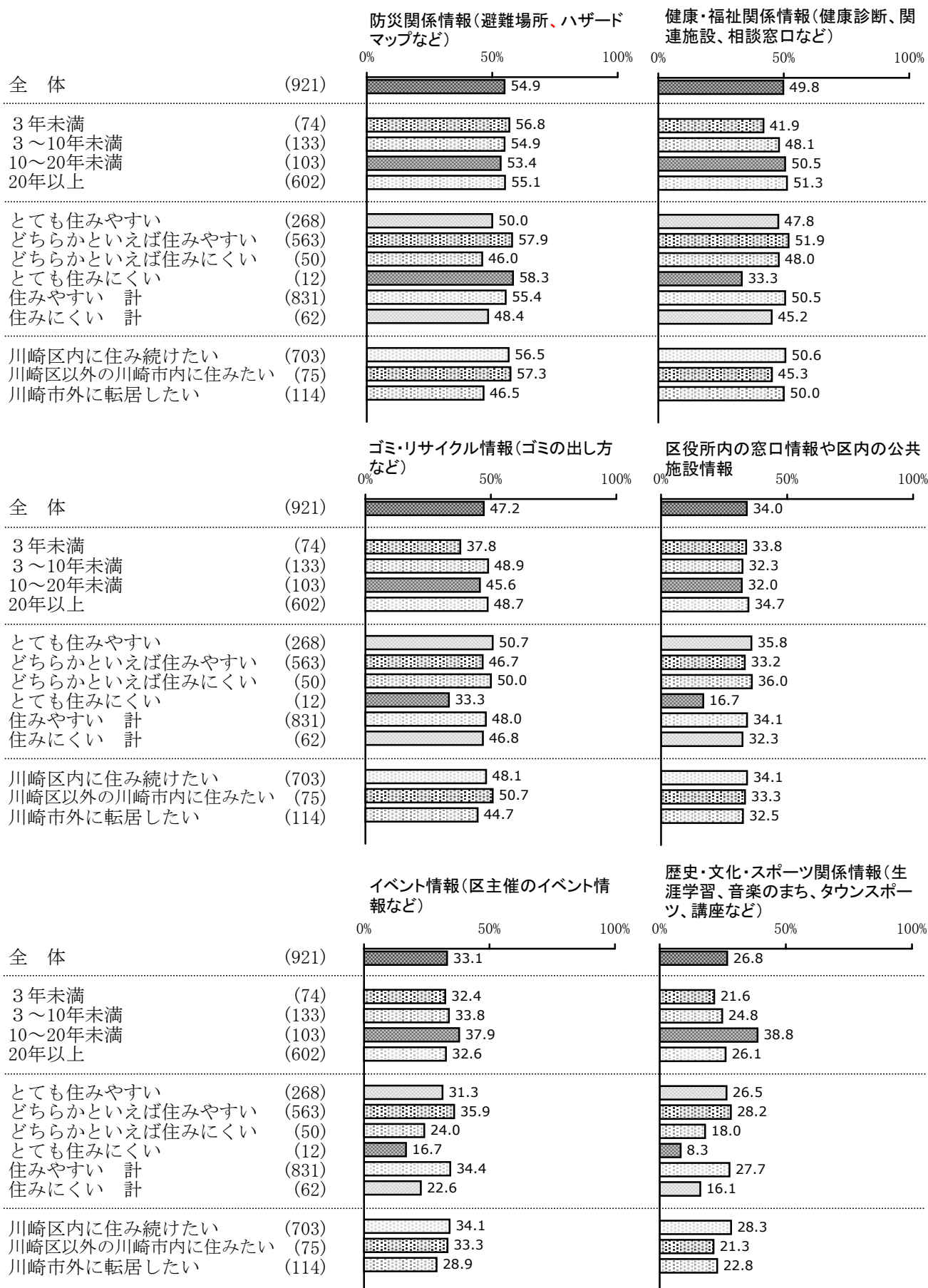


※上位7～9位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図 7-3 ホームページの充実して欲しい内容

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
(上位 6 項目)

【基数：全体(N=921)】



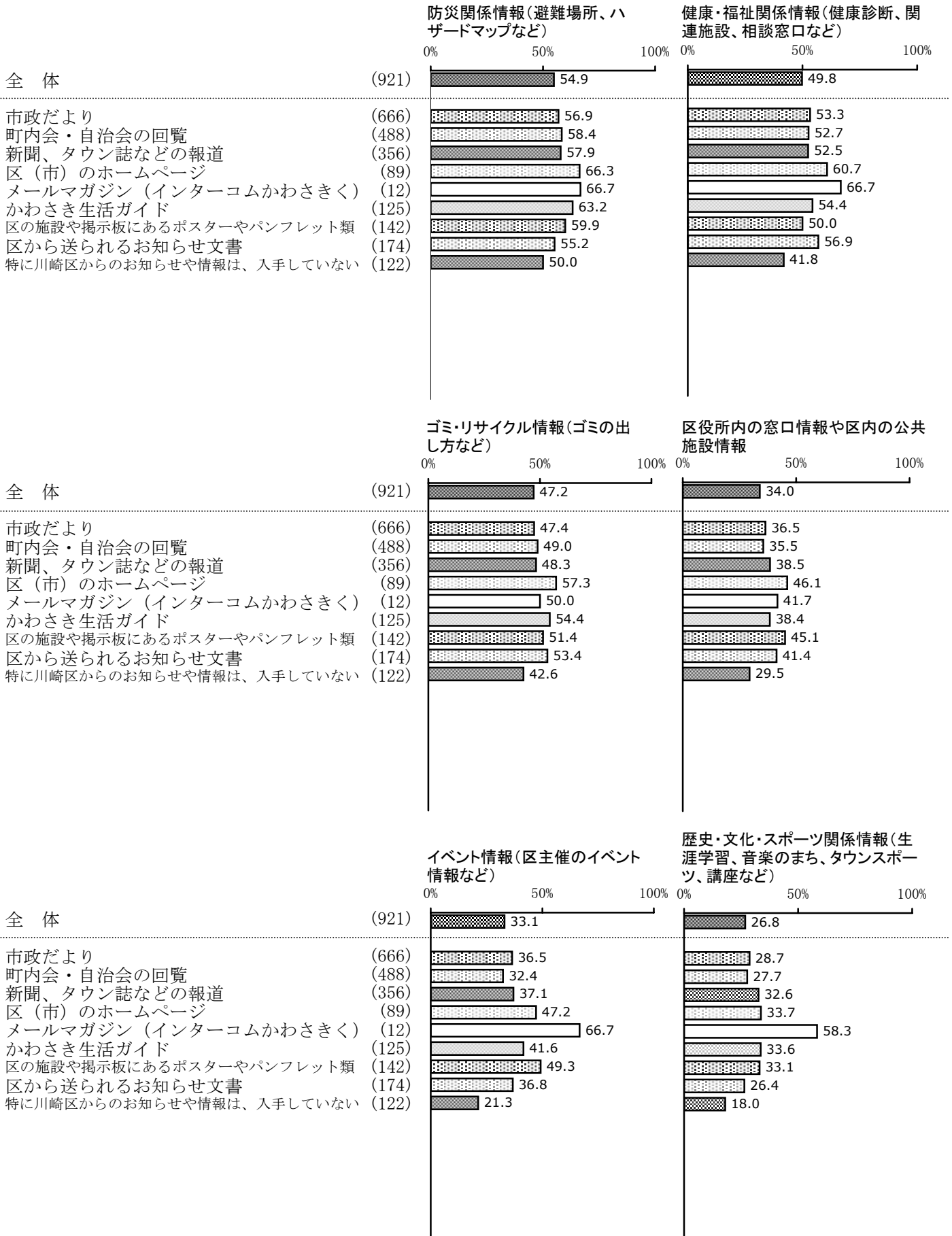
※上位7～9位および「その他」「不明・無回答」は作図せず

図7-4 ホームページの充実して欲しい内容

<川崎区役所からの情報入手ルート別>

(上位6項目)

【基数：全体(N=921)】



※「不明・無回答」は作図せず

■ 川崎区役所が行っている事業の評価と要望について

8 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思うもの

問8 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思われるものはどれですか。
表の1～8のうち、あてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

全 体 「観光、スポーツ、音楽等の魅力発信や文化芸術の振興等に関する事業」(35.1%)が最も高く、次いで「高齢者や障害福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」(28.4%)、「地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業」(22.8%)と続いている。
(図8-1)

性 別 「地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業」では、「女性」(21.4%)に対して「男性」(24.7%)、「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」においても、「女性」(17.3%)に対して「男性」(22.5%)と、「男性」の割合が高くなっている。(図8-2)

性年代別 「観光、スポーツ、音楽等の魅力発信や文化芸術の振興等に関する事業」「地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業」「地域コミュニティの活性化や区民と協働によるまちづくり推進に関する事業」では「男性20代以下」(34.3%)、「女性20代以下」(27.3%)で割合が高くなっており、一方「男性70代以上」で、「高齢者や障害福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」(46.8%)、「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」(38.0%)で、他の年代層よりも割合が高くなっている。(図8-2)

居住年数別 「観光、スポーツ、音楽等の魅力発信や文化芸術の振興等に関する事業」では、「3年～10年未満」(48.9%)が最も高く、「高齢者や障害者福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」では居住年数が長くなるにつれ割合が上昇していく傾向があり、「20年以上」(31.2%)が最も高くなっている。(図8-3)

川崎区の住みやすさ別 全体的にどの項目においても「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。(図8-3)

定住意向別 「川崎区内に住み続けたい」とした層では、「地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業」(24.0%)、「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」(22.0%)、「地域コミュニティの活性化や区民と協働によるまちづくり推進に関する事業」(19.5%)で割合が高くなっている。「観光、スポーツ、音楽等の魅力発信や文化芸術の振興に関する事業」「高齢者や社会福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」では、「川崎区内に住み続けたい」とした層だけではなく、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」とした層でも、割合が共に3割を超えている。(図8-3)

図 8-1 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思うもの

【基数：全体(N=921)】

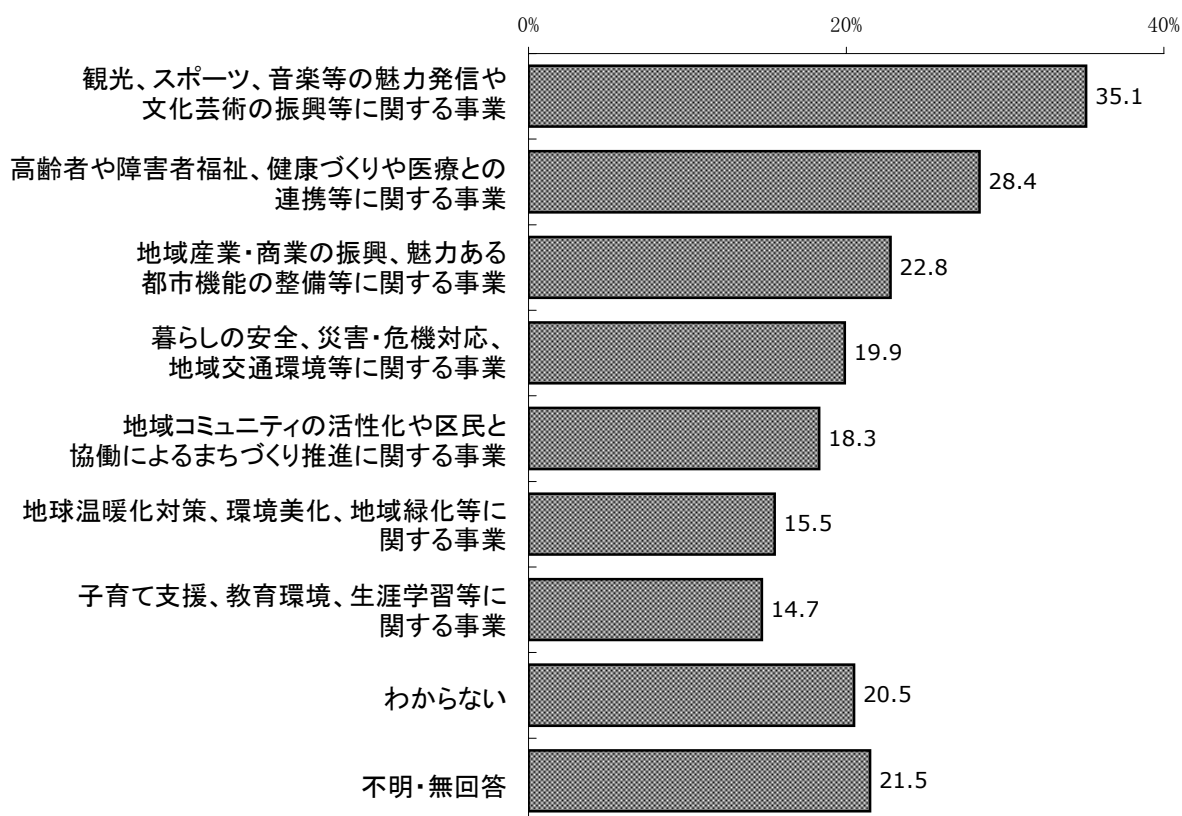
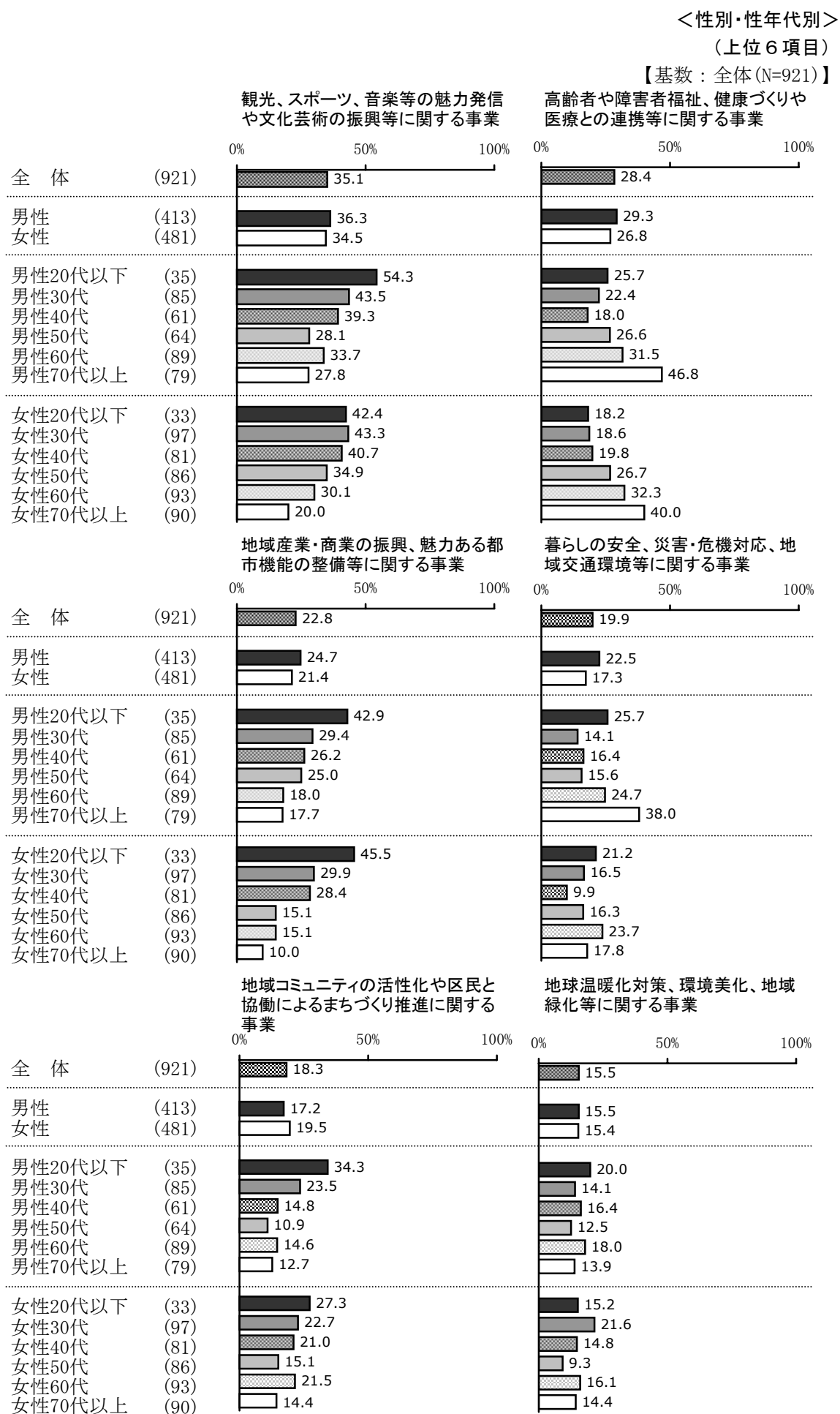


図8-2 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思うもの



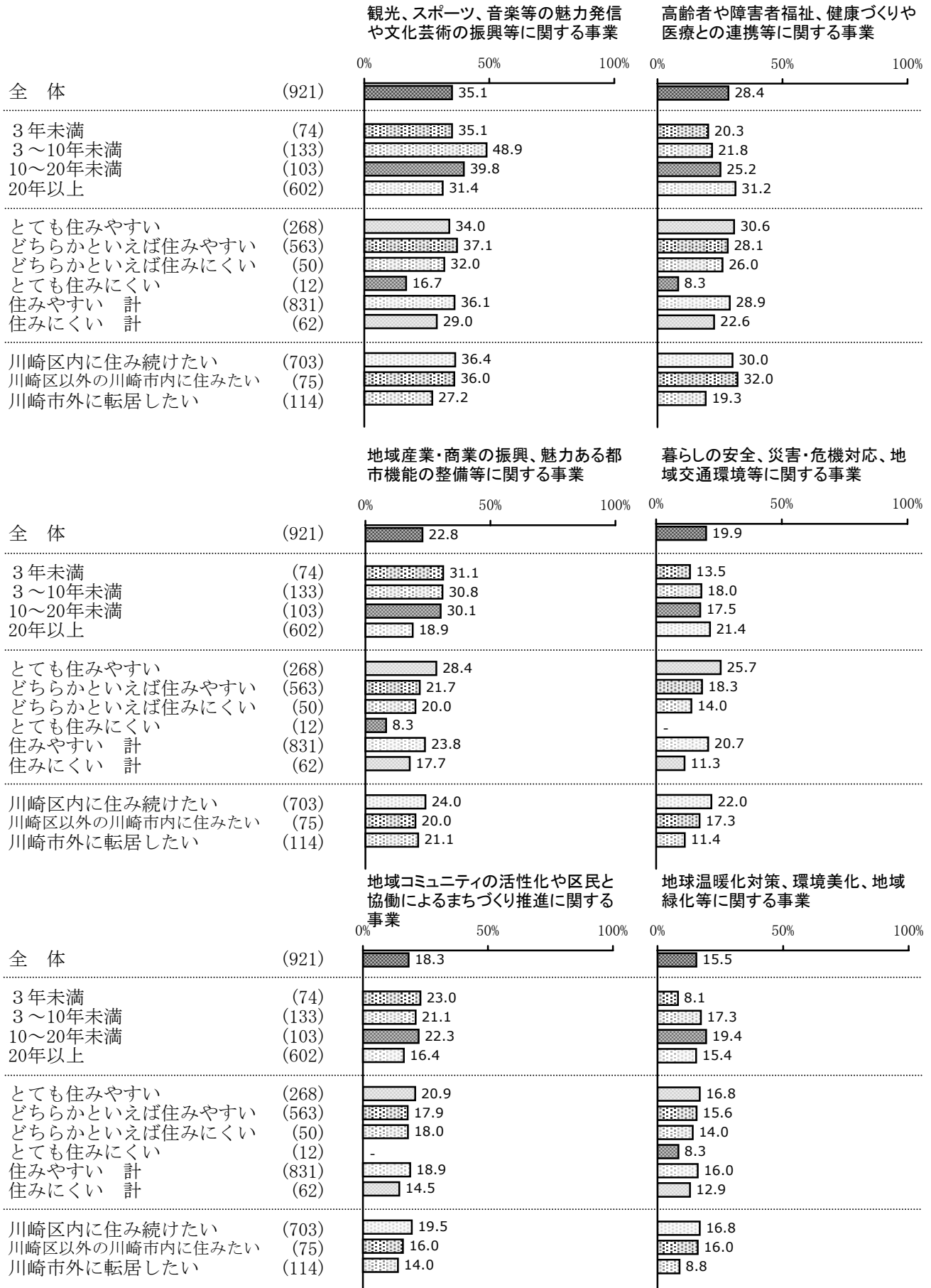
※7位および「わからない」「不明・無回答」は作図せず

図 8-3 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思うもの。

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位 6 項目)

【基数：全体 (N=921)】



※7位および「わからない」「不明・無回答」は作図せず

9 川崎区役所が行っている事業で、今後特に力を入れてほしいと思うもの

問9 今後、特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。
表の1～8のうち、あてはまるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」(54.9%)が最も高く、次いで「高齢者や障害者福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」(49.2%)、「地球温暖化対策、環境美化、地域緑化等に関する事業」(38.9%)と続いている。(図9-1)
- 性 別** 「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」「地球温暖化対策、環境美化、地域緑化等に関する事業」で4ポイント以上、「女性」より「男性」の割合が高くなっている。一方「子育て支援、教育環境、生涯学習等に関する事業」では、「男性」(35.6%)に対して「女性」(41.0%)が5ポイント高くなっている。(図9-1)
- 性年代別** 「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」では「男性40代」(67.2%)、「男性50代」(67.2%)、「女性40代」(69.1%)で6割強となっている。「高齢者や障害者福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業」では「男性40代」(60.7%)が最も高くなっている。「子育て支援、教育環境、生涯学習等に関する事業」で「女性20代以下」(66.7%)、「女性30代」(61.9%)が6割を超えているのに対し、「男性20代以下」(31.4%)、「男性30代」(51.8%)では、5割台以下にとどまっている。(図9-2)
- 居住年数別** 「暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業」では、「3年未満」(66.2%)が最も高くなっており、「子育て支援、教育環境、生涯学習等に関する事業」では、「3年未満」で(52.7%)、「3年～10年未満」(53.4%)と、5割を超えている。(図9-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 全体的に「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が高くなっている。特に「地球温暖化対策、環境美化、地域緑化等に関する事業」では、「住みやすい計」(37.4%)に対し「住みにくい計」(56.5%)が、19ポイント高くなっている。また、「子育て支援、教育環境、生涯学習等に関する事業」では「住みやすい計」(37.7%)に対し、「住みにくい計」(51.6%)が13ポイント高くなっている。(図9-3)
- 定住意向別** 「川崎区以外の川崎市内に住みたい」での割合が、多くの項目でやや高くなる傾向がある。特に「地球温暖化対策、環境美化、地域緑化等に関する事業」(56.0%)、「地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業」(42.7%)、「地域コミュニティの活性化や区民と協働によるまちづくり推進に関する事業」(38.7%)では、他の定住意向層に比べて高くなる傾向にある。(図9-3)

図9-1 川崎区役所が行っている事業で、今後特に力を入れてほしいと思うもの

【基数：全体(N=921)】

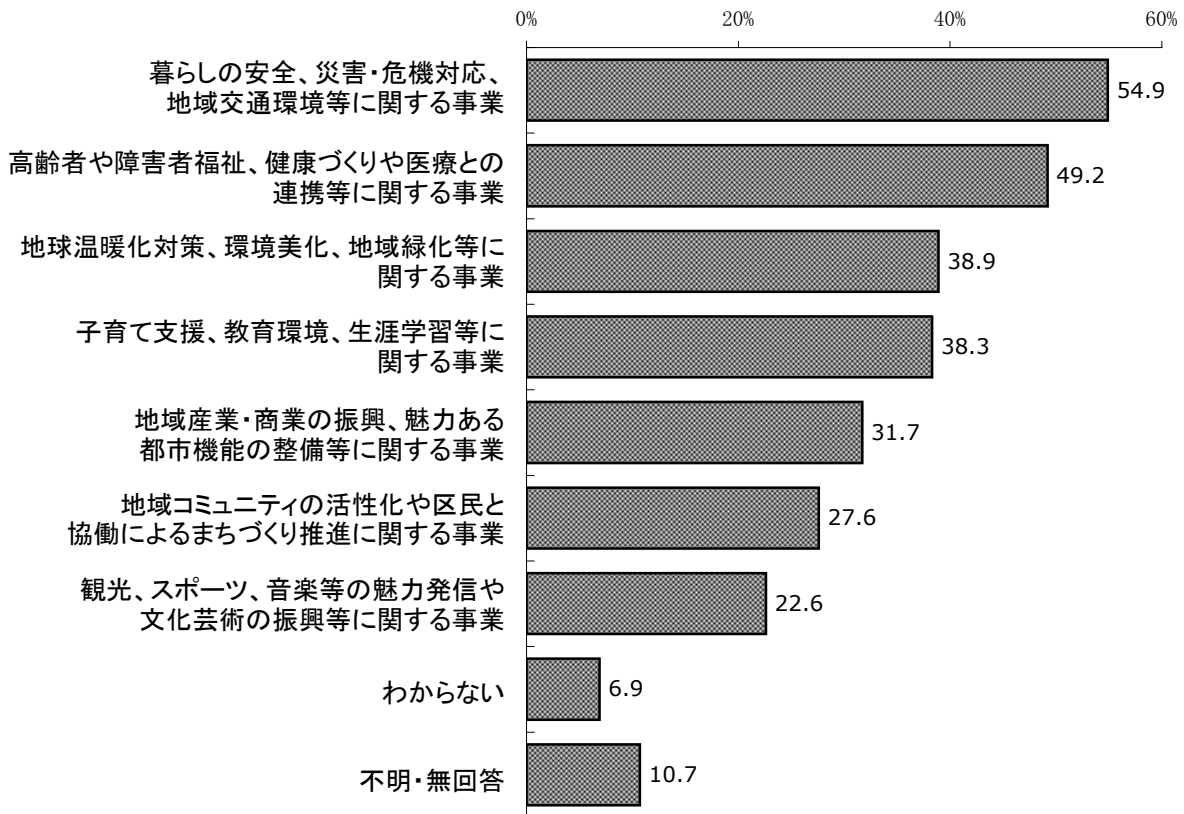
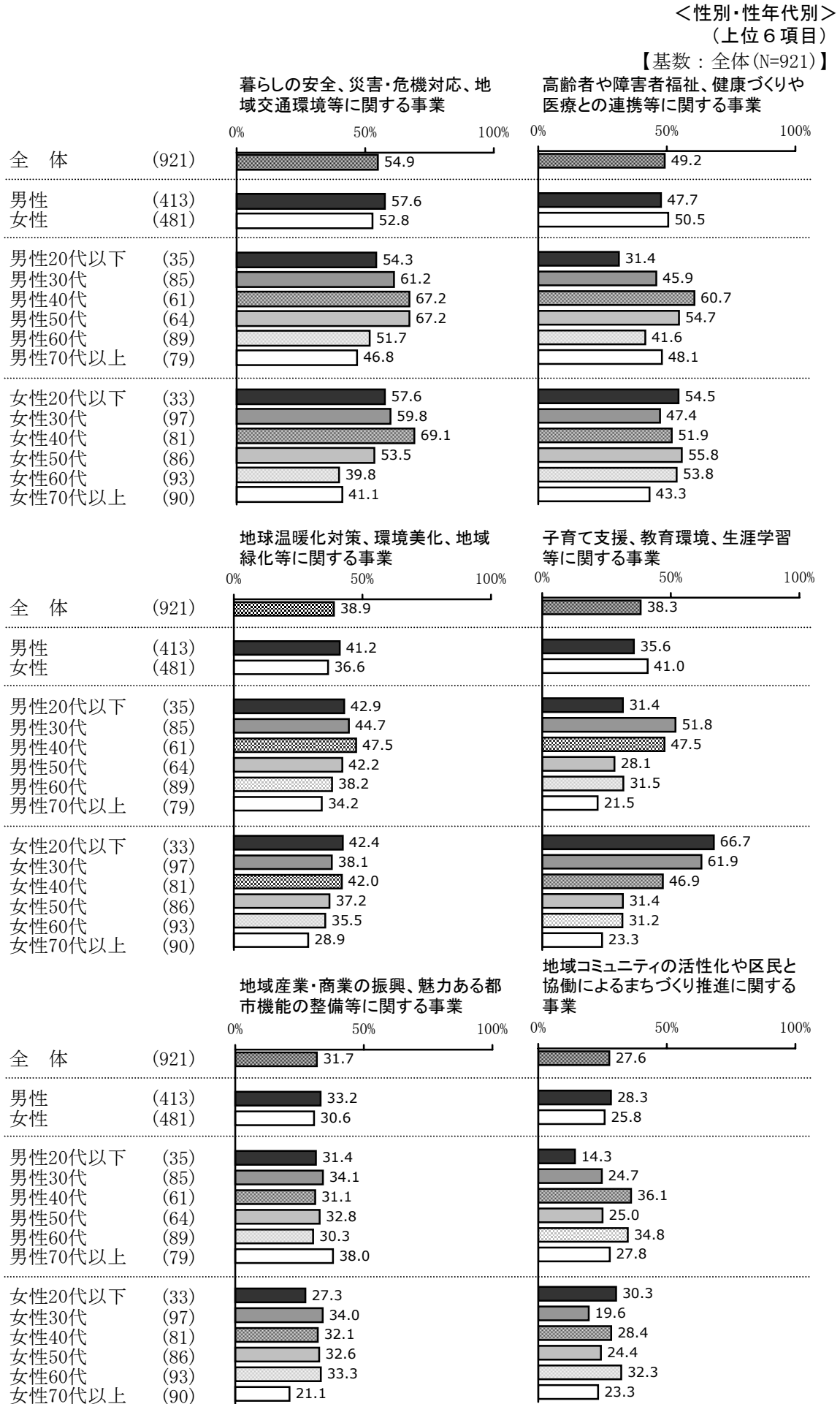


図9-2 川崎区役所が行っている事業で、今後特に力を入れてほしいもの

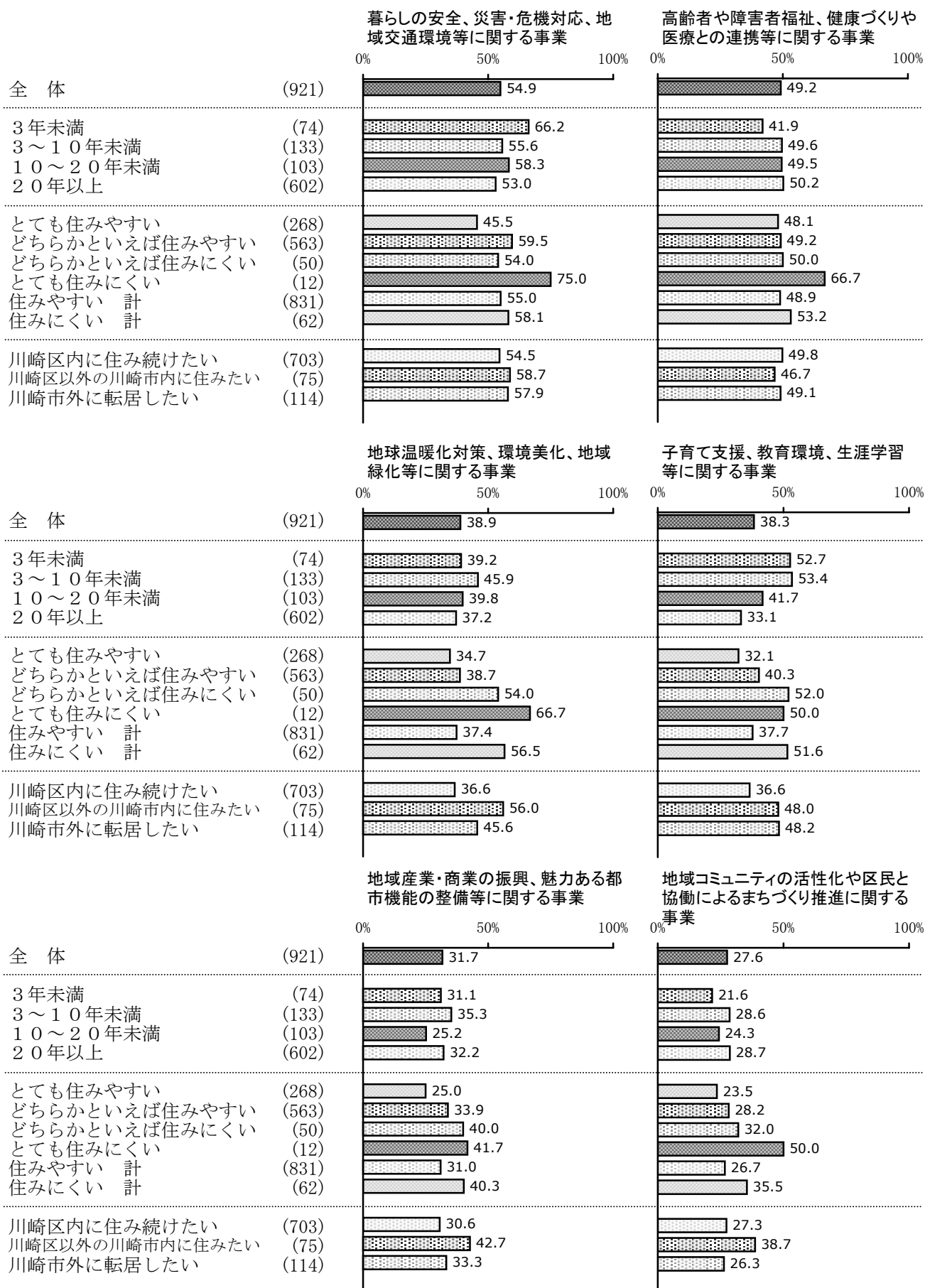


※7位および「わからない」「不明・無回答」は作図せず

図9-3 川崎区役所が行っている事業で、今後特に力を入れてほしいもの

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
（上位6項目）

【基数：全体(N=921)】



※7位および「わからない」「不明・無回答」は作図せず

■ 自転車対策について

10 自転車の利用目的

問10 あなたは普段、自転車を利用しますか。
また、利用する場合、主な目的（※）は何ですか。（○は1つ）
※ 自転車を最もよく利用する目的を、1つだけお選びください

全 体 「買い物や銀行などの用事のため利用する」（47.1%）が最も多く、次いで「自転車を利用しない」（28.0%）、「通勤・通学で利用する」（18.2%）と続いている。（図10-1）

性 別 「通勤・通学で利用する」では「女性」（16.6%）に対して「男性」（20.1%）が3ポイント多くなっており、同じく「自転車を利用しない」でも「女性」（26.2%）に対して「男性」（30.3%）が3ポイント多くなっている。一方「買い物や銀行などの用事のため利用する」では、「男性」（44.6%）に対して「女性」（49.7%）が5ポイント多くなっている。（図10-1）

性年代別 「買い物や銀行などの用事のために利用する」では、「男性」で年代が高くなるにつれ、割合が多くなる傾向にある。「自転車を利用しない」では「女性70代以上」（42.2%）が、どの年代よりも多くなっている。（図10-2）

居住年数別 概ね、居住年数が長くなるにつれ、「買い物や銀行などの用事のために利用する」割合が上昇する傾向にあり、「自転車を利用しない」割合が下降する傾向にある。（図10-2）

川崎区の住みやすさ別 特に大きな違いはみられない。（図10-2）

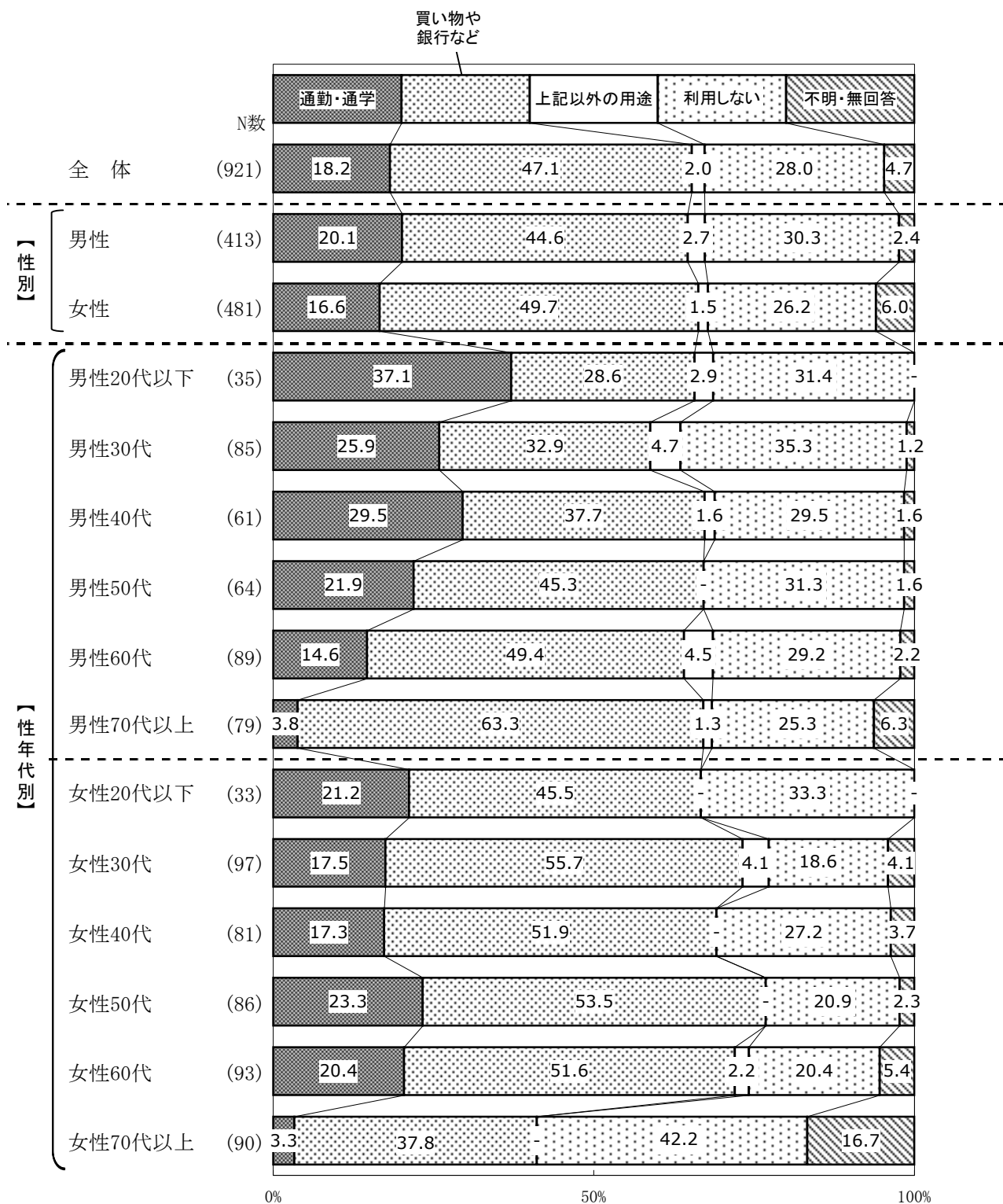
定住意向別 「自転車を利用しない」割合が、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（33.3%）、「川崎市外に転居したい」（34.2%）では、3割を超えている。（図10-2）

仕事内容別 「通勤・通学で利用する」では、「勤め（パートタイム）」（40.3%）が4割を超え最も多く、「買い物や銀行などの用事のため利用する」では「主婦・主夫（家事専業）」（68.6%）が最も多くなっている。一方「自転車を利用しない」では、「勤め（フルタイム）」（34.2%）、「無職」（35.5%）で3割を超え、多くなっている。（図10-3）

図10-1 自転車の利用目的

<性別・性年代別>

【基数：全体(N=921)】



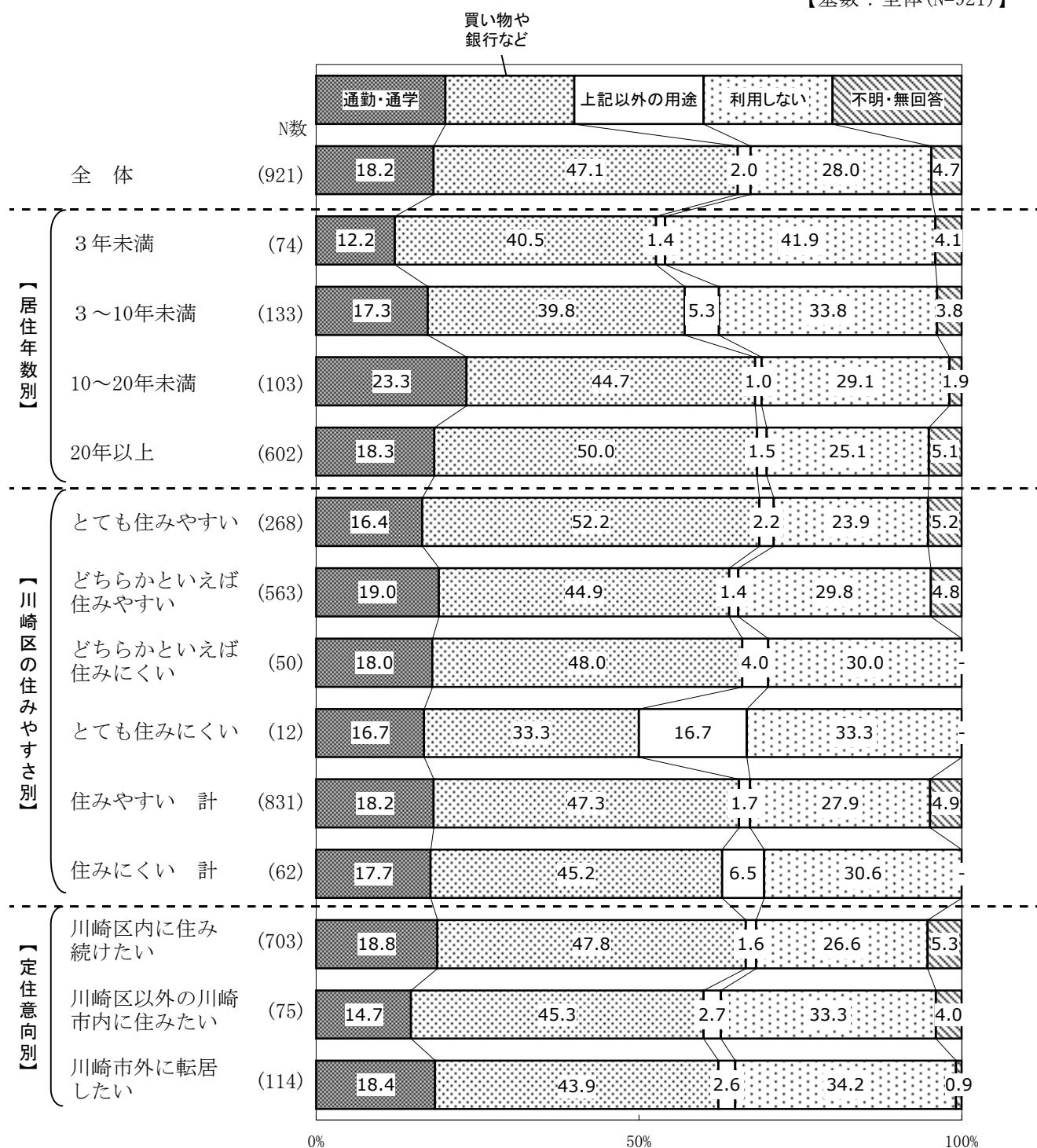
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図10-2 自転車の利用目的

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=921)】

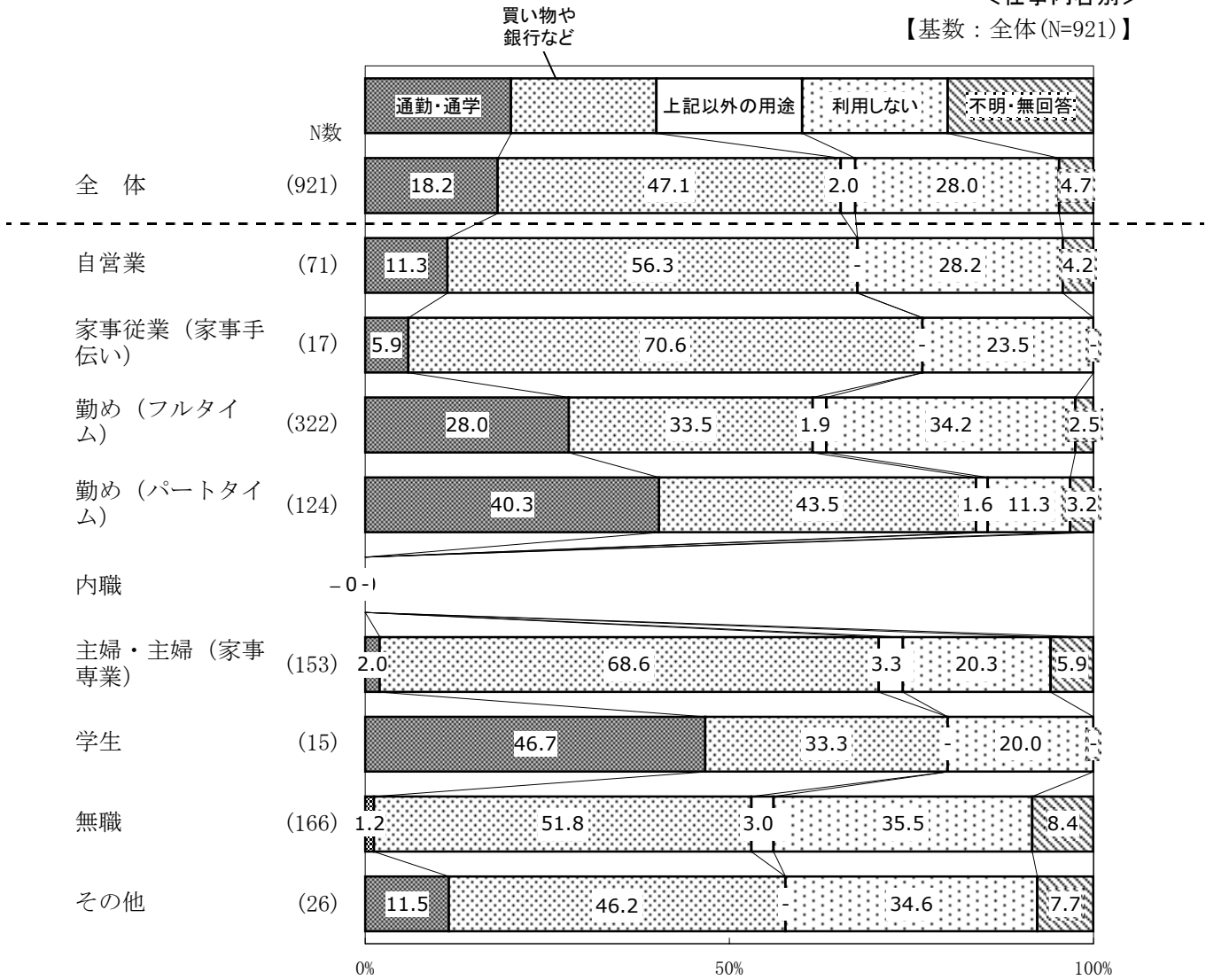


※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図10-3 自転車の利用目的

＜仕事内容別＞
【基数：全体(N=921)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

11 自転車を使って、さらに電車を使う場合に最も利用する駅

問11 《問10で「1～3（自転車を利用する）」を選んだ方にお聞きします》
上記問10でお答えいただいたような目的の場所へ行くために、自転車の他に、さらに電車を利用していますか。
電車を利用する場合、どの駅（※）を利用していますか。（○は1つ）
※あなたが自転車を使い、さらに電車を使う駅として、最もよく使う駅を1つだけお選びください。

全 体 「JR川崎駅」（40.2%）が最も高く、次いで「自転車のみ利用し、電車は利用しない」（33.1%）、「京急川崎駅」（6.9%）と続いている。（図11-1）

性 別 性別で大きな差はみられない。（図11-2）

性年代別 「JR川崎駅」では「男性30代」（50.0%）、「女性20代以下」（59.1%）で5割を超えている。「自転車のみ利用し、電車は利用しない」では「男性30代～40代」「女性30代～40代」で4割を超えている。（図11-2）

居住年数別 「自転車のみ利用し、電車は利用しない」では、「10年以上～20年未満」（43.7%）が4割を超え、最も高くなっている。（図11-3）

川崎区の住みやすさ別 全体的にどの項目においても、「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が高い傾向がある。（図11-3）

定住意向別 「自転車のみ利用し、電車は利用しない」では「川崎区以外の川崎市内に住みたい」（40.4%）が最も高くなっている。（図11-3）

通勤・通学先別 「JR川崎駅」では「横浜市内」（43.8%）、「東京（23区）」（42.4%）「通勤通学していない」（40.9%）で4割を超えている。一方「自転車のみ利用し、電車は利用しない」では、「川崎市内（川崎区）」（42.7%）、「川崎市内（その他の区）」（44.4%）で4割を超えている。（図11-4）

問11-1 自転車を使って、さらに電車使う場合に最も利用する駅

【基数：自転車の利用者(n=620)】

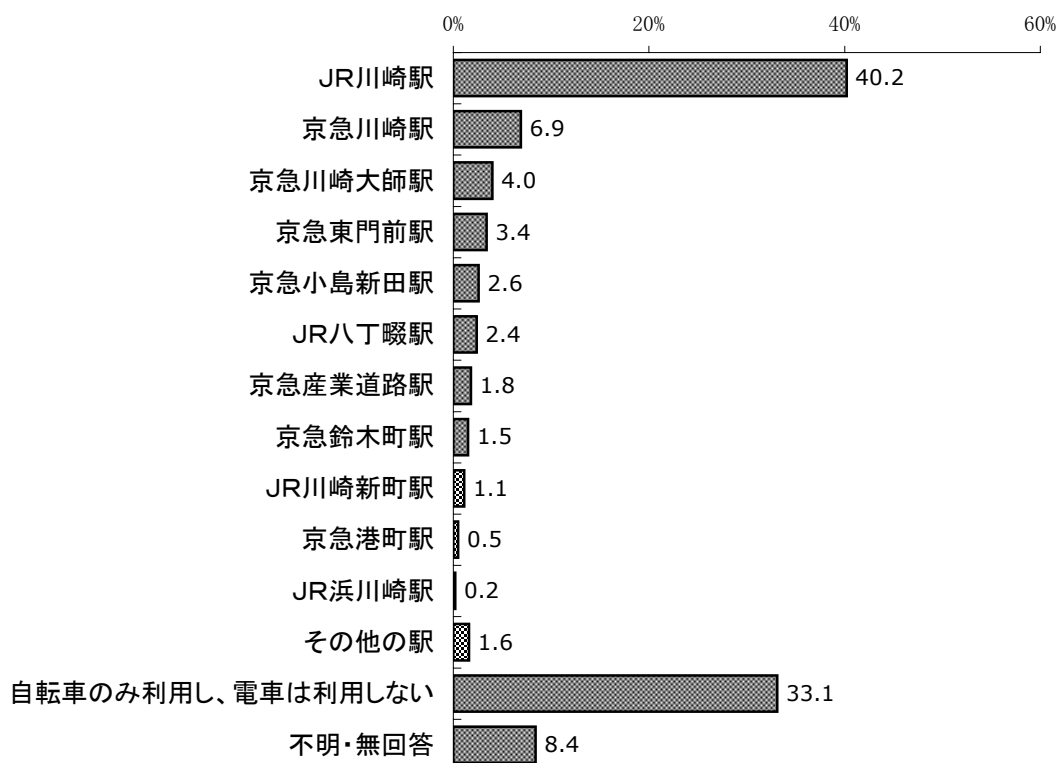
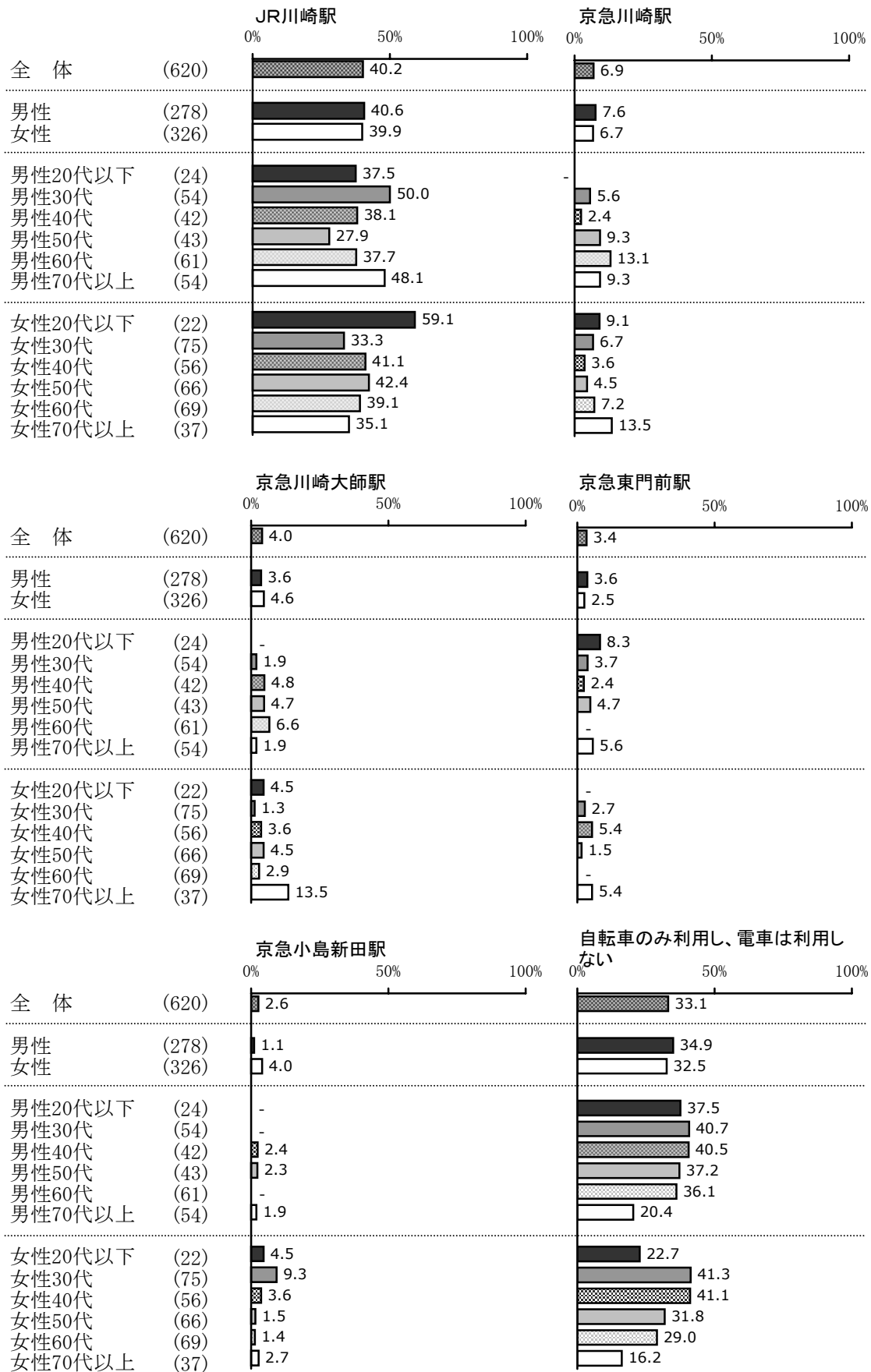


図11-2 自転車を使って、さらに電車使う場合に最も利用する駅

<性別・性年代別>

(上位5項目+自転車のみ利用し電車は利用しない)

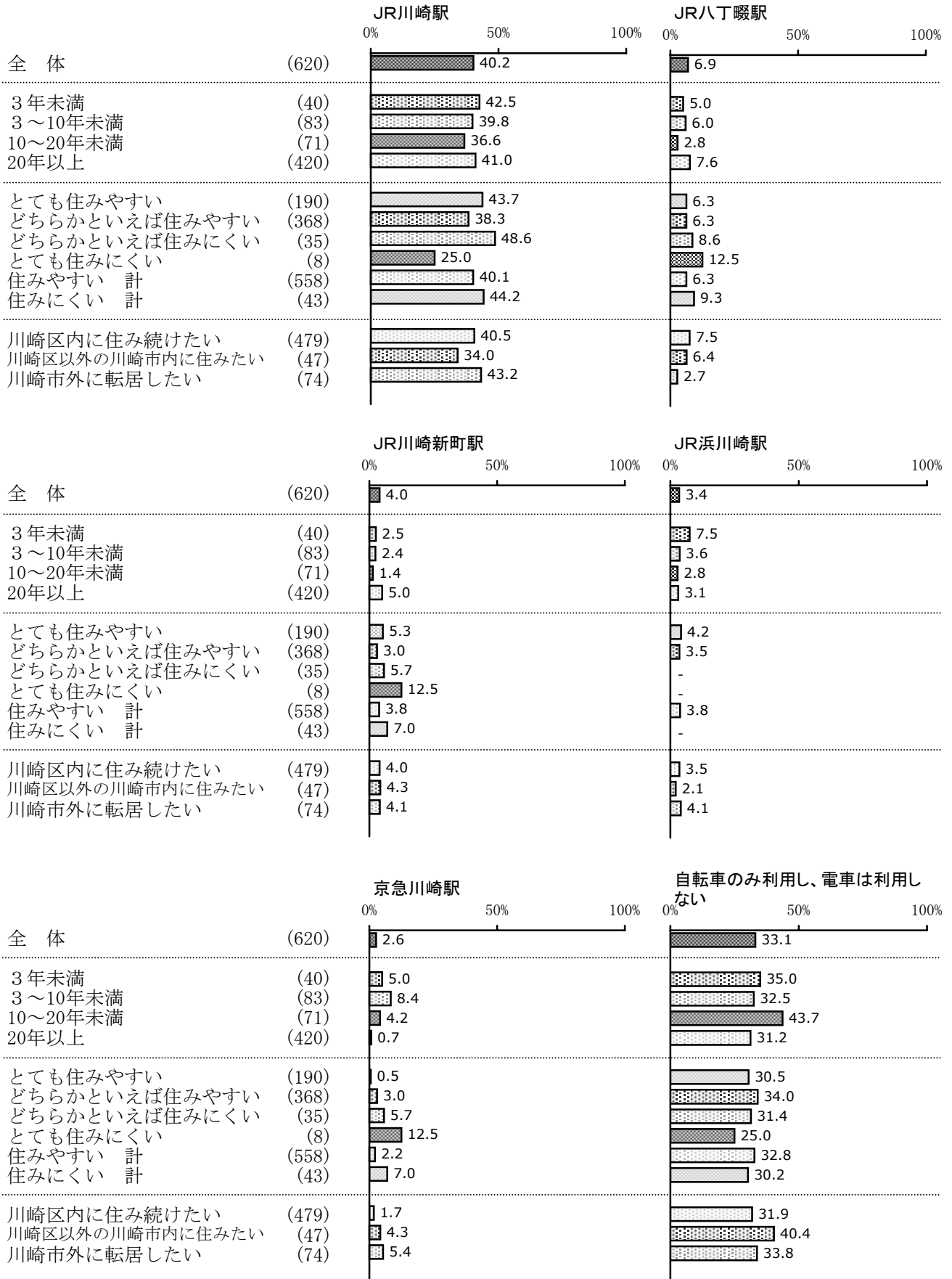
【基数：自転車の利用者(n=620)】



※6位～11位および「その他の駅」「不明・無回答」は作図せず

図11-3 自転車を使って、さらに電車使う場合に最も利用する駅

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>
 (上位5項目+自転車のみ利用し電車は利用しない)
 【基数：自転車の利用者(n=620)】



※6位~11位および「その他の駅」「不明・無回答」は作図せず

図11-4 自転車を使って、さらに電車を使う場合に最も利用する駅

<通勤・通学先別>

(上位7項目+自転車のみ利用し電車は利用しない)

【基数：自転車の利用者(n=620)】



※8位～11位および「その他の駅」「不明・無回答」は作図せず

12 有料駐輪場の利用頻度

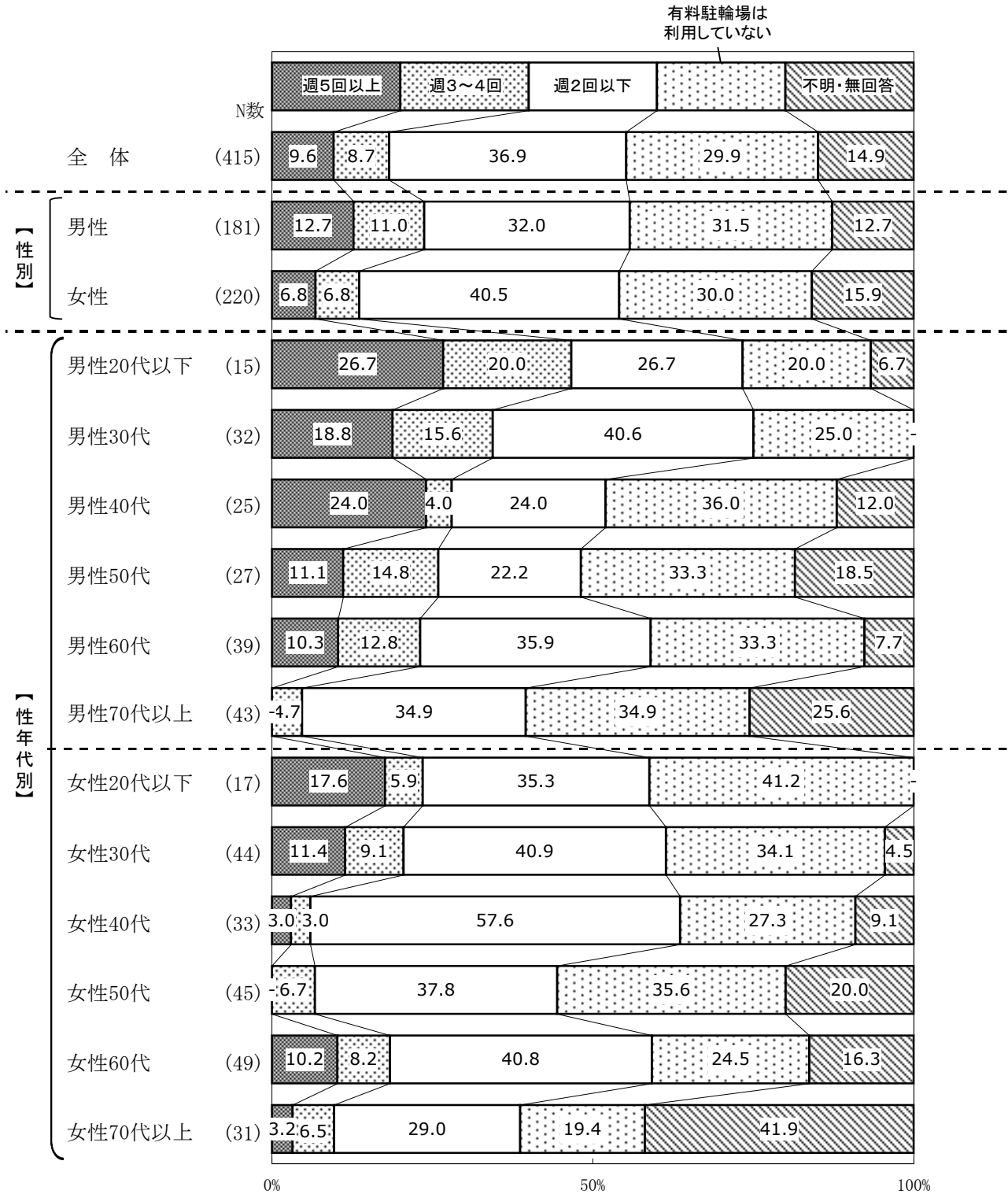
問12 《問11で「1～12（駅を利用する）」を選んだ方にお聞きします》
上記の駅を利用する際、自転車を有料駐輪場に停めていますか。
有料駐輪場を利用している場合、週に何回利用していますか。
(○は1つ)

- 全 体** 「週に2回以下、利用している」(36.9%)が最も多く、次いで「有料駐輪場は、利用していない」(29.9%)、「週に5回以上、利用している」(9.6%)と続いている。(図12-1)
- 性 別** 「週に5回以上、利用している」「週に3～4回、利用している」では、「女性」より「男性」の割合が多くなっている。一方「週に2回以下、利用している」では、「男性」(32.0%)に対して「女性」(40.5%)が8ポイント多くなっている。(図12-1)
- 性年代別** 「週に5回以上、利用している」では「男性40代」(24.0%)が最も多く、「週に2回以下、利用している」では「女性40代」(57.6%)が最も多くなっている。(図12-1)
- 居住年数別** 「週に3～4回、利用している」、「週に2回以下、利用している」で、居住年数が長くなるにつれ、割合が下降している傾向にある。(図12-2)
- 川崎区の住みやすさ別** 「週に3～4回、利用している」「週に2回以下、利用している」では「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が多く、一方「有料駐輪場は、利用していない」では、「住みにくい計」(23.3%)に対して「住みやすい計」(30.9%)が7ポイント多くなっている。(図12-2)
- 定住意向別** 「週に2回以下、利用している」では、「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(57.1%)で5割を超えている。(図12-2)
- 自転車の利用目的別** 自転車の利用目的が、「通勤・通学で利用している」では、「週5回以上、利用している」(37.6%)が3割を超え、他の利用目的の層よりも多くなっている。「買い物や銀行などの用事のため利用する」では「週2回以下、利用している」(42.9%)、「有料駐輪場は、利用していない」(34.2%)となっており、他の利用目的の層よりも多くなっている。(図12-3)
- 自転車をよく利用する駅別** 「JR川崎駅」では、「週2回以下、利用している」(45.4%)が最も多く、次いで「有料駐輪場は、利用していない」(25.7%)となっており、「京急東門前駅」では、「有料駐輪場は、利用していない」(61.9%)が最も多くなっている。(図12-4)

図12-1 有料駐輪場の利用頻度

<性別・性年代別>

【基数:自転車を利用し、電車の駅を利用する者(n=415)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

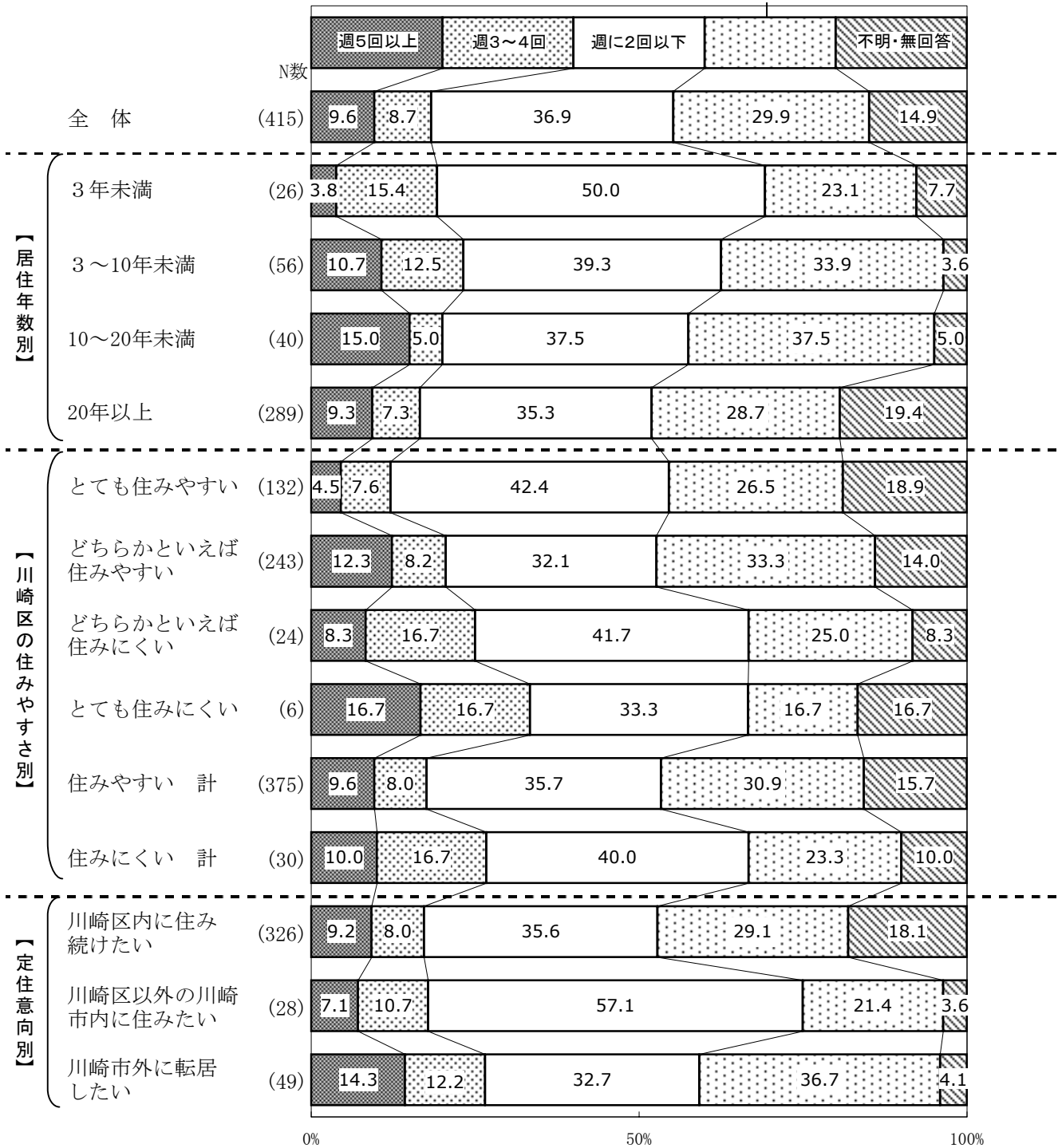
※属性が「不明・無回答」は作図せず

図12-2 有料駐輪場の利用頻度

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞

【基数:自転車を利用し、電車の駅を利用する者(n=415)】

有料駐輪場は
利用していない



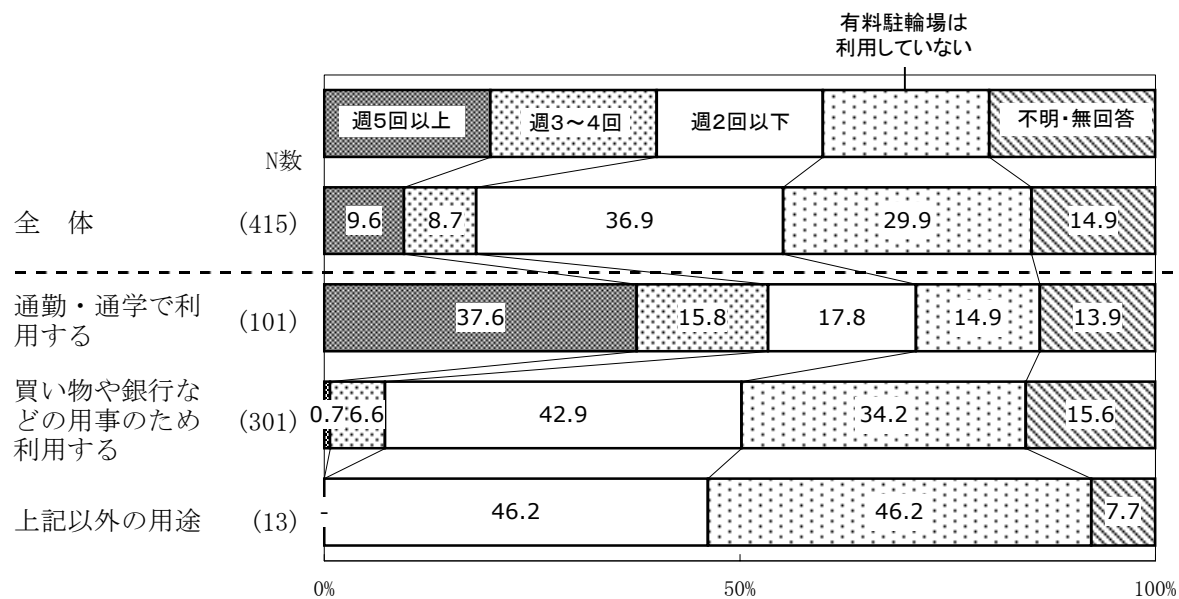
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図12-3 有料駐輪場の利用頻度

<自転車の利用目的別>

【基数:自転車を利用し、電車の駅を利用する者(n=415)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

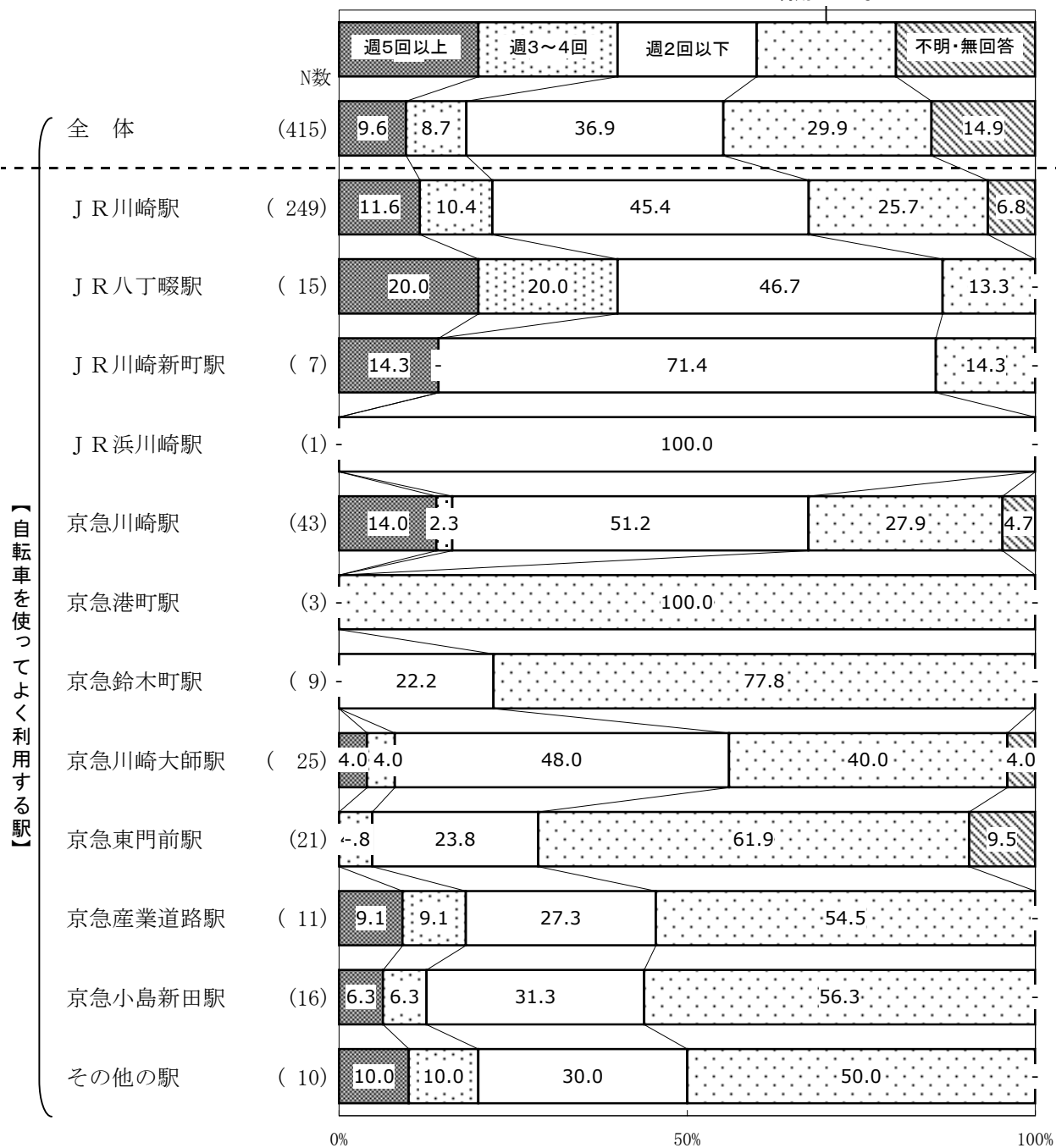
※属性が「不明・無回答」は作図せず

図12-4 有料駐輪場の利用頻度

＜自転車を使ってよく利用する駅別＞

【基数：自転車を利用し、電車の駅を利用する者(n=415)】

有料駐輪場は
利用していない



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

13 自転車乗車時の問題行為

問13 《全員の方へお聞きします》
自転車乗車時のマナーで問題だと思う行為は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」（77.7%）が最も高く、次いで「スピードの出しすぎ」（65.4%）、「歩行者の間をぬっての歩道通行」（64.9%）と続いている。（図13-1）
- 性 別** 「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」「スピードの出しすぎ」「歩行者への思いやりがない行為（ベルを鳴らす、声で威嚇する等）」では「男性」より「女性」の割合が高くなっており、「スピードの出しすぎ」では、「女性」（69.0%）と7割弱にのぼっている。一方「夜間無灯火での運転」では「女性」（58.8%）に対して「男性」（63.2%）が4ポイント高くなっている。（図13-2）
- 性年代別** 「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」では「男性60代」（80.9%）、「男性70代以上」（83.5%）、「女性40代」（80.2%）、「女性50代」（81.4%）、「女性60代」（87.1%）が8割を超えており、「スピードの出しすぎ」では、「男性70代以上」（70.9%）、「女性30代」（71.1%）、「女性60代」（74.2%）で7割を超えている。どの項目も「男性70代以上」が比較的高い傾向となっており、特に「歩行者での思いやりがない行為（ベルを鳴らす、声で威嚇する等）」（69.6%）では、他の年代よりも特に高くなる傾向がある。（図13-2）
- 居住年数別** 「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」「スピードの出しすぎ」では、居住年数が長くなるにつれ割合が上昇する傾向にあり、「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」では、「20年以上」（80.6%）が、8割を超えている。（図13-3）
- 川崎区の住みやすさ別** 上位3項目では「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。一方「夜間無灯火での運転」では、「住みやすい計」（61.0%）に対して「住みにくい計」（64.5%）が3ポイント高くなっている。（図13-3）
- 定住意向別** 「川崎区内に住み続けたい」では、「ながら運転（傘差し、携帯電話、イヤホン等）」（79.9%）、「スピードの出しすぎ」（66.9%）となっており、他の居住意向の層よりも高くなる傾向がある。（図13-3）
- 自転車の利用目的別** 「通勤・通学のため利用する」では「夜間無灯火での運転」（72.6%）が他の層より割合が高くなっており、「歩行者の間をぬっての歩道通行」や「歩行者への思いやりがない行為（ベルを鳴らす、声で威嚇する等）」では、「自転車を利用していない」層で割合が高くなっている。特に「歩行者の間をぬっての歩道通行」（79.1%）では、8割弱にのぼる。（図13-4）

図13-1 自転車乗車時の問題行為

【基数：全体(N=921)】

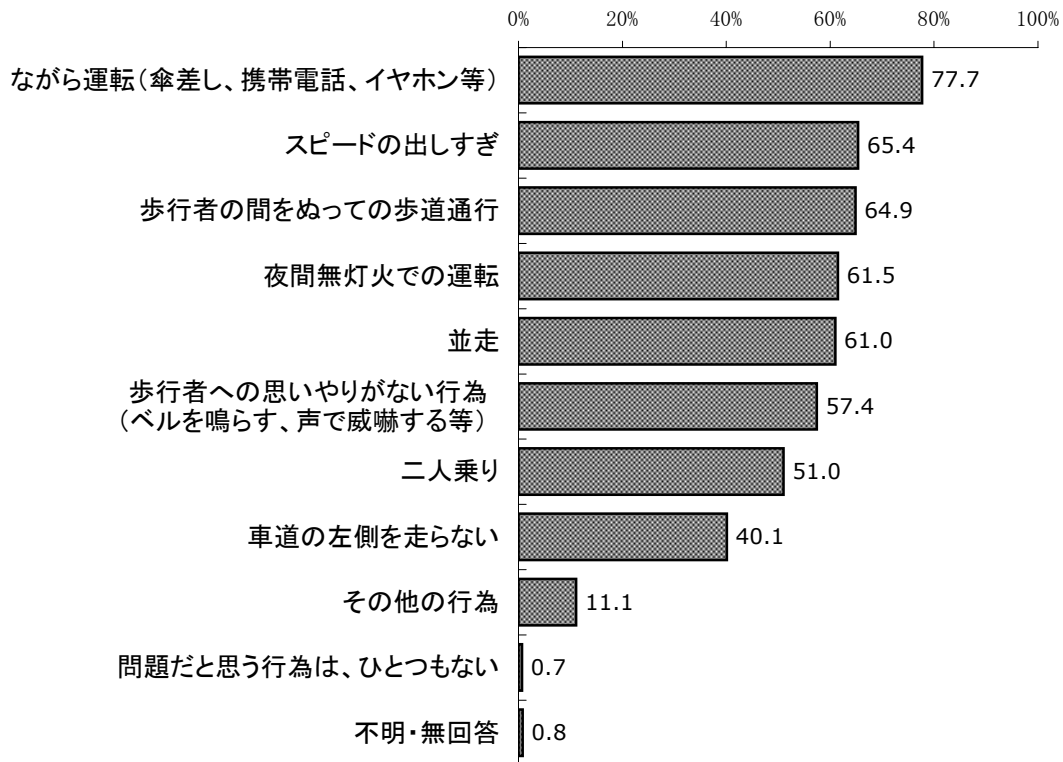
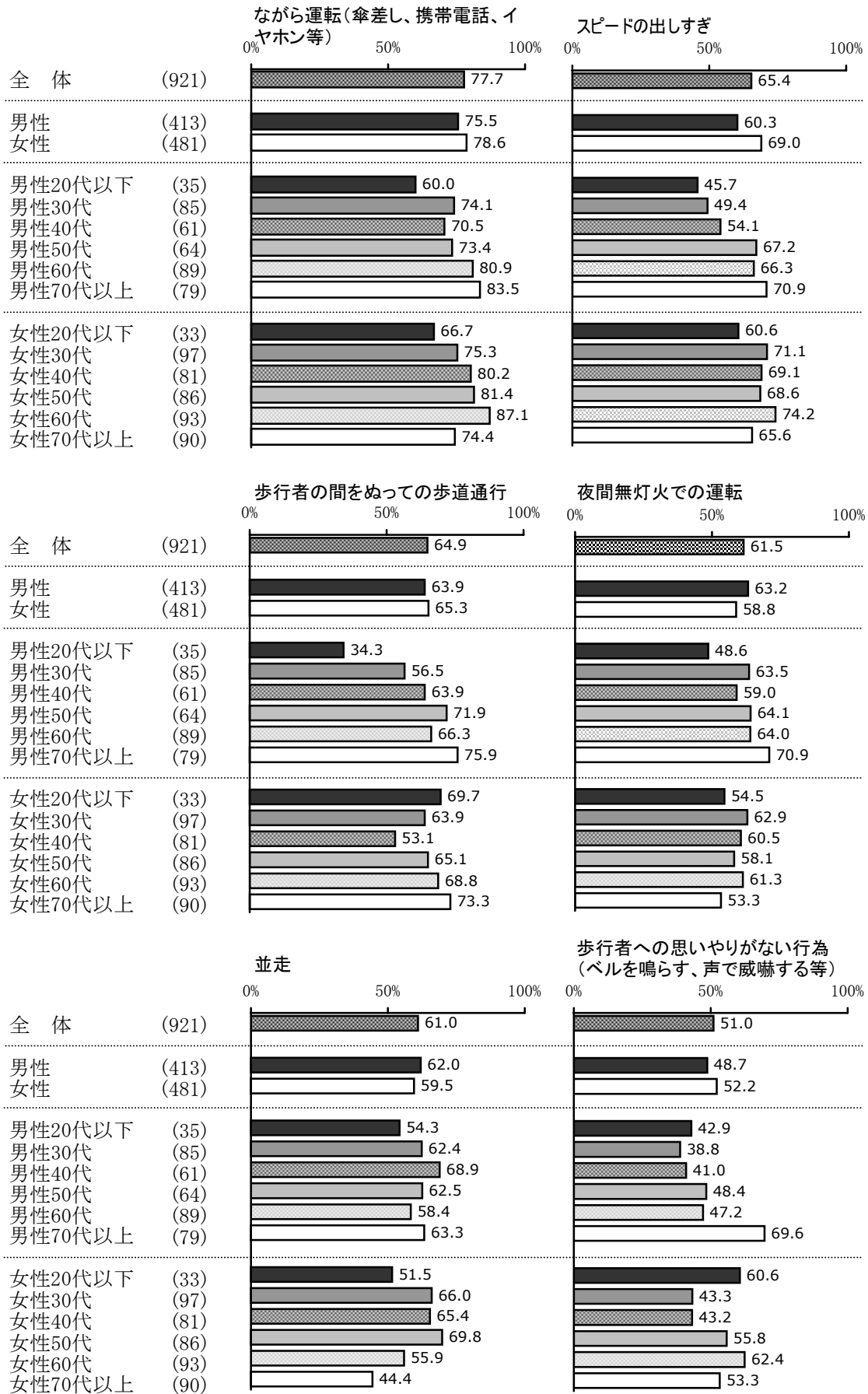


図13-2 自転車乗車時の問題行為

＜性別・性年代別＞
 (上位6項目)
 【基数：全体(N=921)】



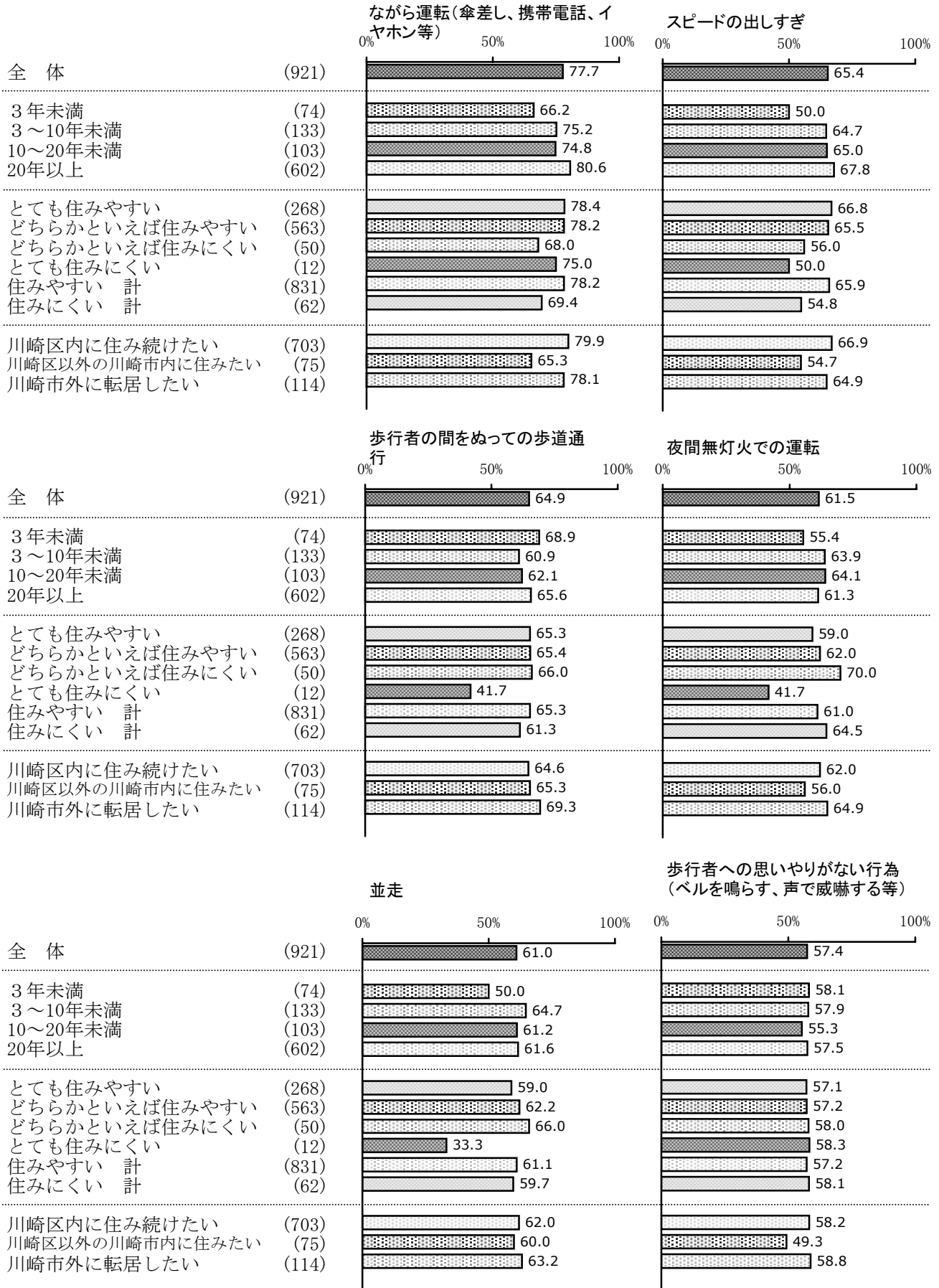
※ 7位～9位および「その他の行為」「不明・無回答」は作図せず

図13-3 自転車乗車時の問題行為

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位6項目)

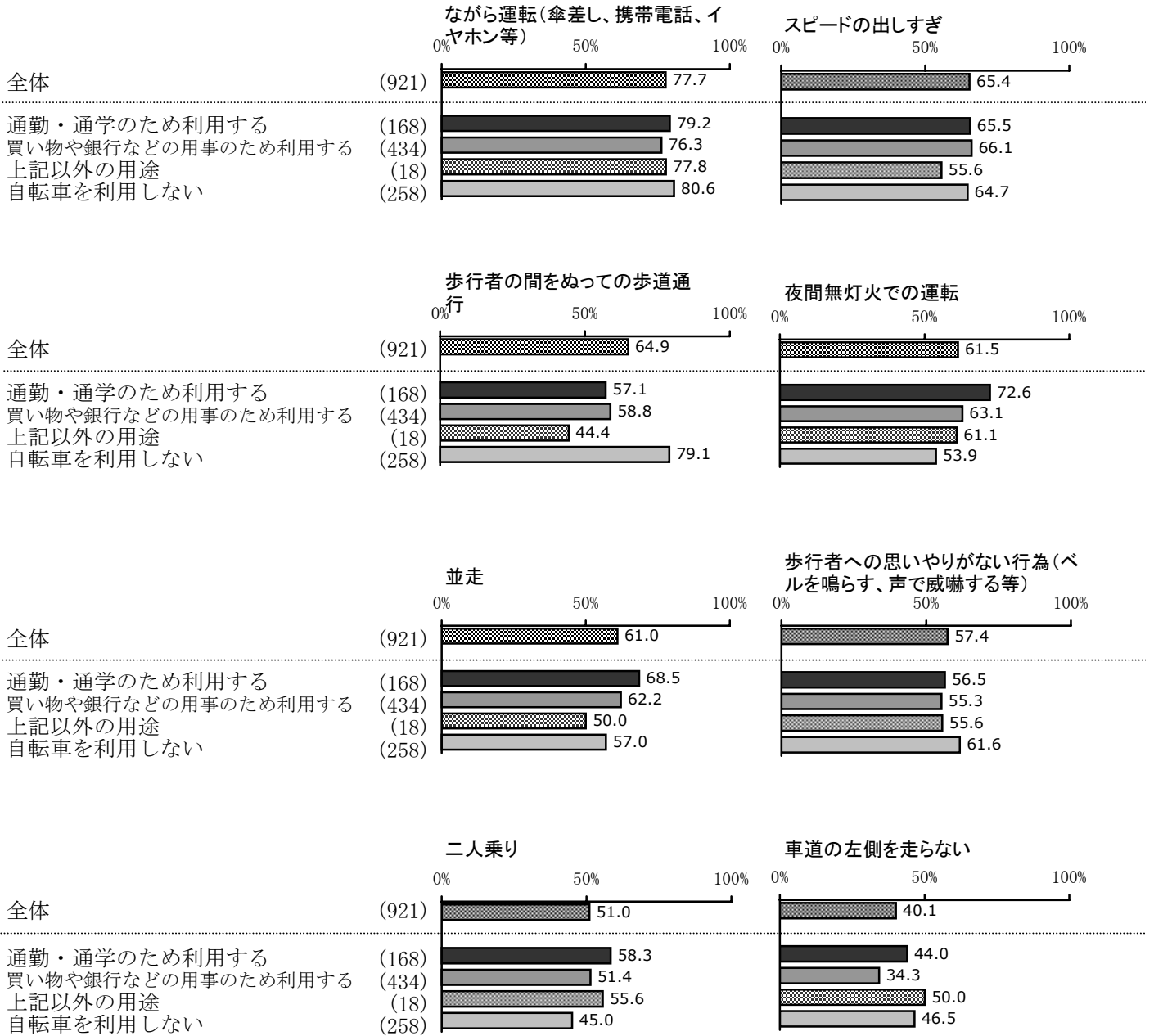
【基数：全体(N=921)】



※ 7位~9位および「その他の行為」「不明・無回答」は作図せず

図13-4 自転車乗車時の問題行為

＜自転車の利用目的別＞
（上位8項目）
【基数：全体(N=921)】



※「その他の行為」「不明・無回答」は作図せず

■ 川崎区区民会議について

14 区民会議の認知度

問14 あなたは、「区民会議」を知っていましたか。(○は1つ)

全 体 「知らなかった」(67.2%)が最も多く、次いで「あることは知っていたが、内容は知らなかった」(28.7%)となっている。平成21年度と比較しても、大きな差はみられなかった(図14-1)

性 別 「知らなかった」では、「男性」(65.9%)に対し、「女性」(69.2%)と「女性」の割合が多くなっている。(図14-1)

性年代別 年代が高くなるほど、区民会議の認知度は高くなる傾向にあり、「あることは知っていたが、内容は知らなかった」では「男性70代以上」(43.0%)が最も多くなっている。一方「知らなかった」では「男性30代」(81.2%)が8割を超えて最も多くなっている。(図14-1)

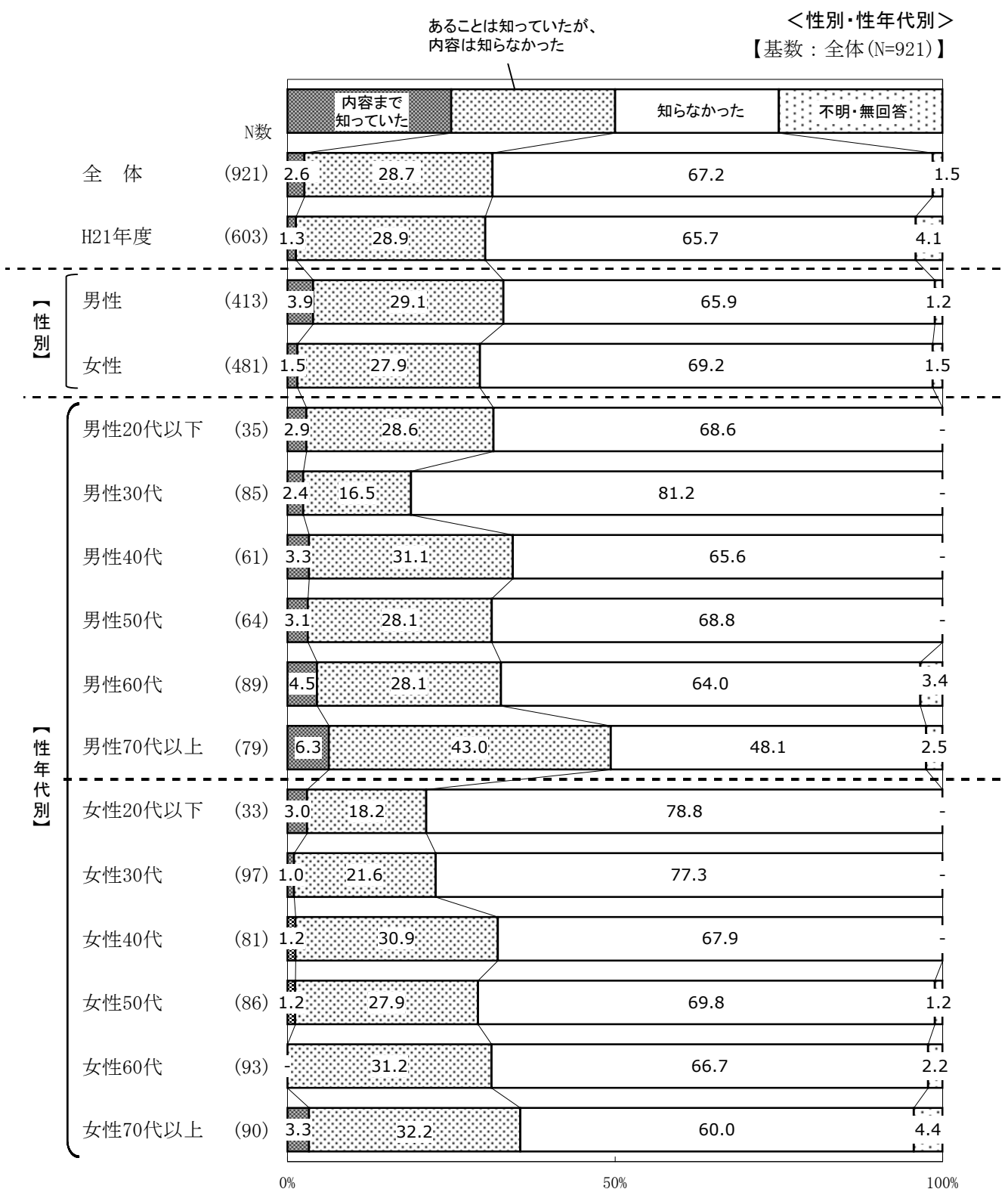
居住年数別 「あることは知っていたが、内容は知らなかった」では、「10~20年未満」(32.0%)、「20年以上」(31.2%)が3割を超え、他の居住年数の層よりも多くなっている。(図14-2)

川崎区の住みやすさ別 「あることは知っていたが、内容は知らなかった」では、「住みにくい計」(11.3%)より「住みやすい計」(30.0%)が18ポイント多くなっている。一方「知らなかった」では、「住みやすい計」(65.7%)より「住みにくい計」(87.1%)が21ポイント多くなっている。(図14-2)

定住意向別 「あることは知っていたが、内容は知らなかった」では、「川崎区内に住み続けたい」(31.0%)で、移転意向がある層よりも多くなっている。一方、「知らなかった」では移転意向がある層で、7割を超えている。(図14-2)

川崎区からの情報入手ルート別 「かわさき生活ガイド」「区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類」から情報を入手している層では、「内容まで知っていた」「あることは知っていたが、内容は知らなかった」(以下「知っていた層」とする。)の割合がそれぞれ、46.4%、43.0%を示し4割を超え、他の情報入手ルートよりも高くなっている。「特に川崎区からのお知らせや情報は入手していない」では、「知らなかった」(79.5%)が多くなっている。(図14-3)

図14-1 区民会議の認知度



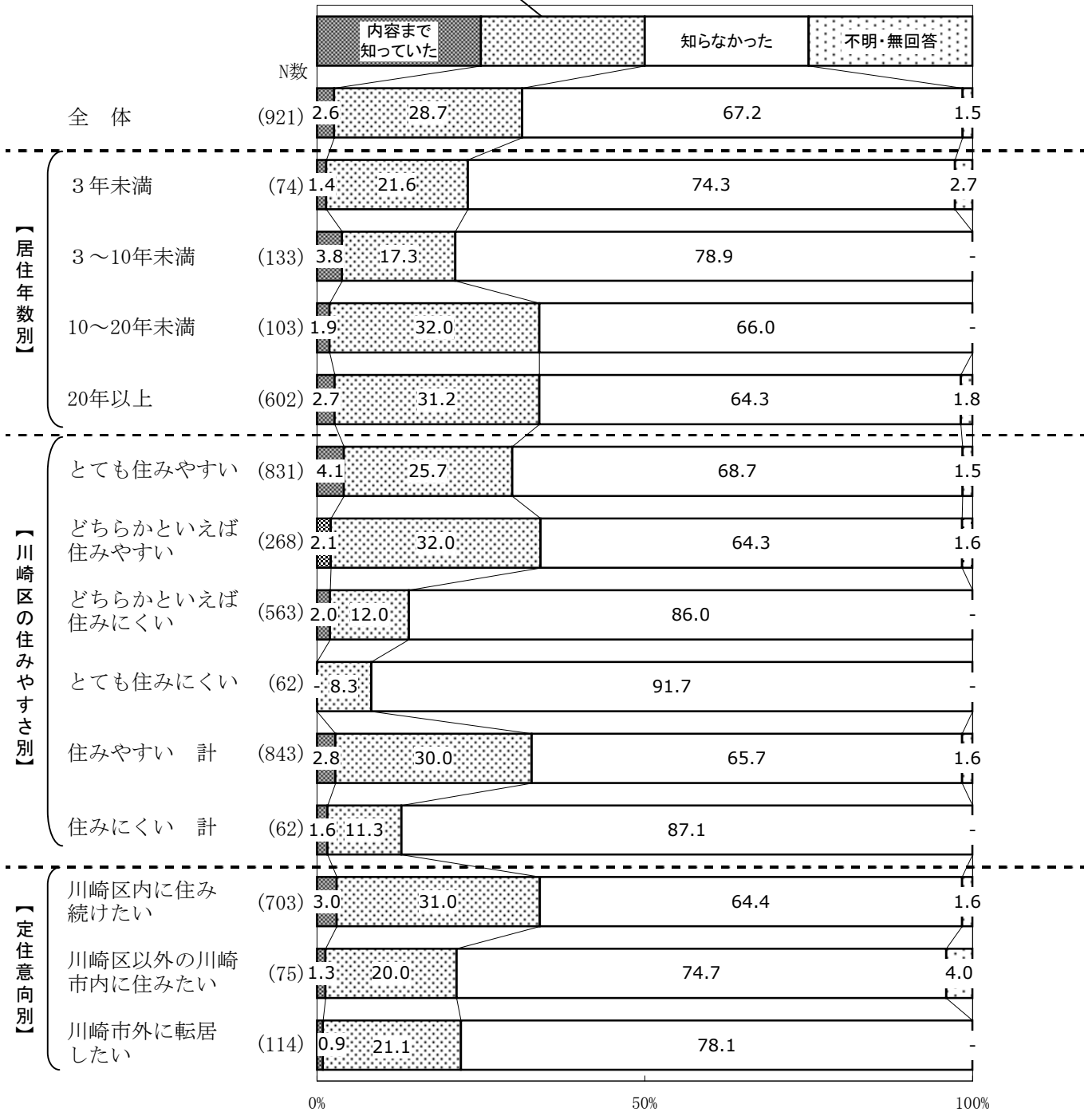
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
※属性が「不明・無回答」は作図せず

図14-2 区民会議の認知度

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

あることは知っていたが、内容は知らなかった

【基数：全体(N=921)】

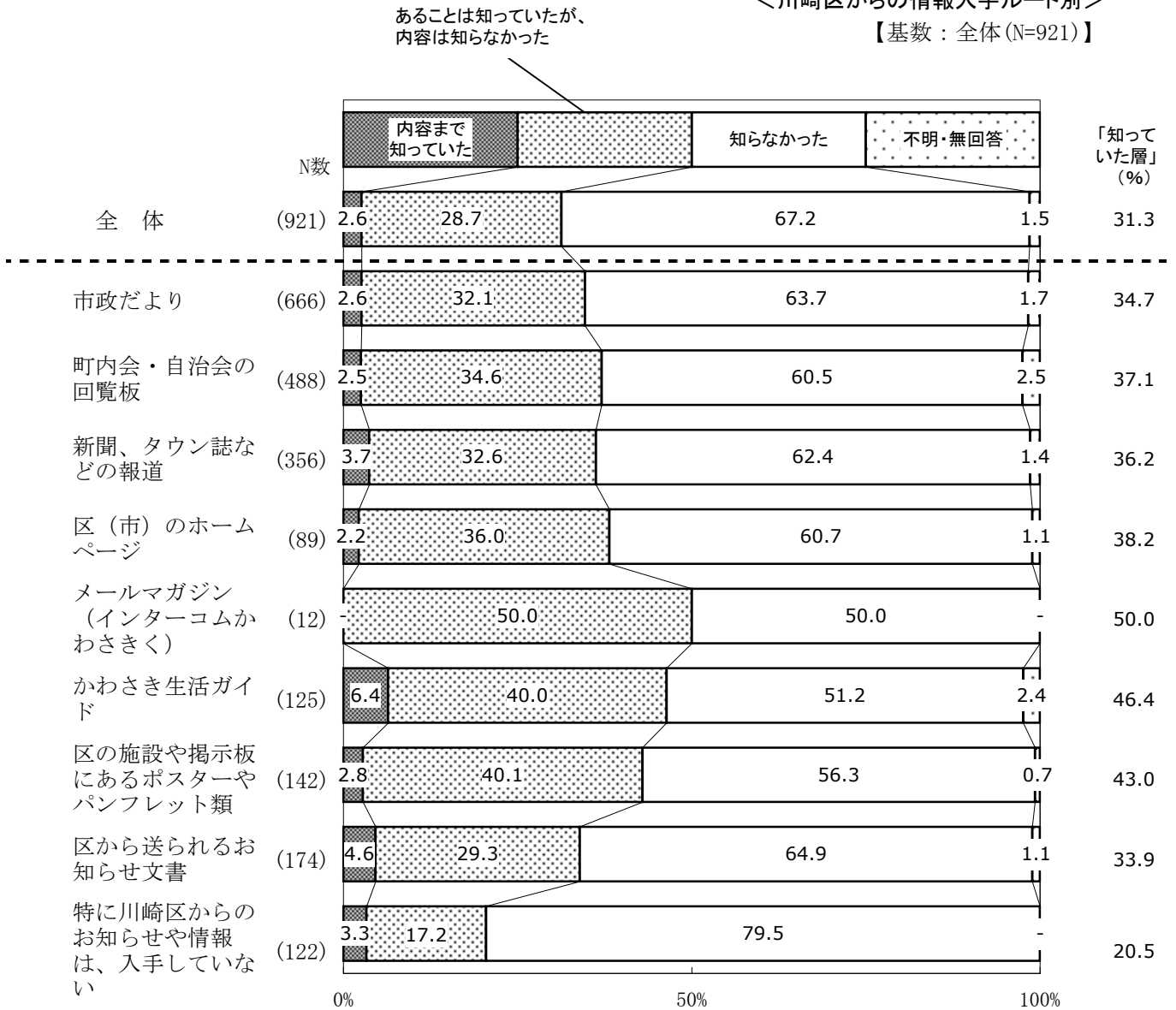


※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず
 ※属性が「不明・無回答」は作図せず

図14-3 区民会議の認知度

<川崎区からの情報入手ルート別>

【基数：全体(N=921)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

15 区民会議の取り組みで知っているもの

問15 区民会議の審議結果を基に、区内でさまざまな取り組みを実施しています。次の取り組みのうち、知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- 全 体** 「知っているものはひとつもない」(65.9%)が最も高く、認知されている取り組み内容の中では『「区の花」「区の木」の制定』(12.6%)が最も高くなっている。(図15-1)
- 性 別** 「知っているものはひとつもない」では、「女性」(60.9%)に対し、「男性」(72.6%)となっており、「男性」の割合が高い。(図15-2)
- 性年代別** 各項目で、「男性70代以上」での割合が高くなる傾向にある。『「区の花」「区の木」の制定』では「女性70代以上」(23.3%)が最も高くなっている。一方『外国人市民向けのメールマガジン「インターコムかわさきく」の配信』では、「男性20代以下」(8.6%)が最も高くなっている。「知っているものはひとつもない」では、「男性30代」(87.1%)が最も高くなっている。(図15-2)
- 居住年数別** 居住年数が長くなるにつれ、割合が高くなる傾向にある。一方「知っているものはひとつもない」では、「3年未満」(77.0%)、「3～10年未満」(79.7%)で、8割弱にのぼっている。(図15-3)
- 川崎区の住みやすさ別** 上位4項目では、「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。『知っているものはひとつもない』では、「住みやすい計」(65.0%)に対し、「住みにくい計」(82.3%)が17ポイント高くなっている。(図15-3)
- 定住意向別** 『知っているものはひとつもない』では、「川崎区内に住み続けたい」(64.0%)「川崎区以外の川崎市内に住みたい」(65.3%)と、それぞれ60%台であるのに対し、「川崎市外に転居したい」(78.9%)では、8割弱となっている。(図15-3)
- 川崎区区民会議の認知度別** 「内容まで知っていた」と答えた層では、「シニア世代の地域活動への参加促進イベント」(50.0%)が5割を超えており、全体で最も割合が高かった『「区の花」「区の木」の制定』(37.5%)を超えている。また、「環境意識向上ポスターコンクールの開催、入賞作品を活用した地域でのPR活動」(41.7%)も『「区の花」「区の木」の制定』を超えて高くなっている。(図15-4)

問15-1 区民会議の取り組みで知っているもの

【基数：全体(N=921)】

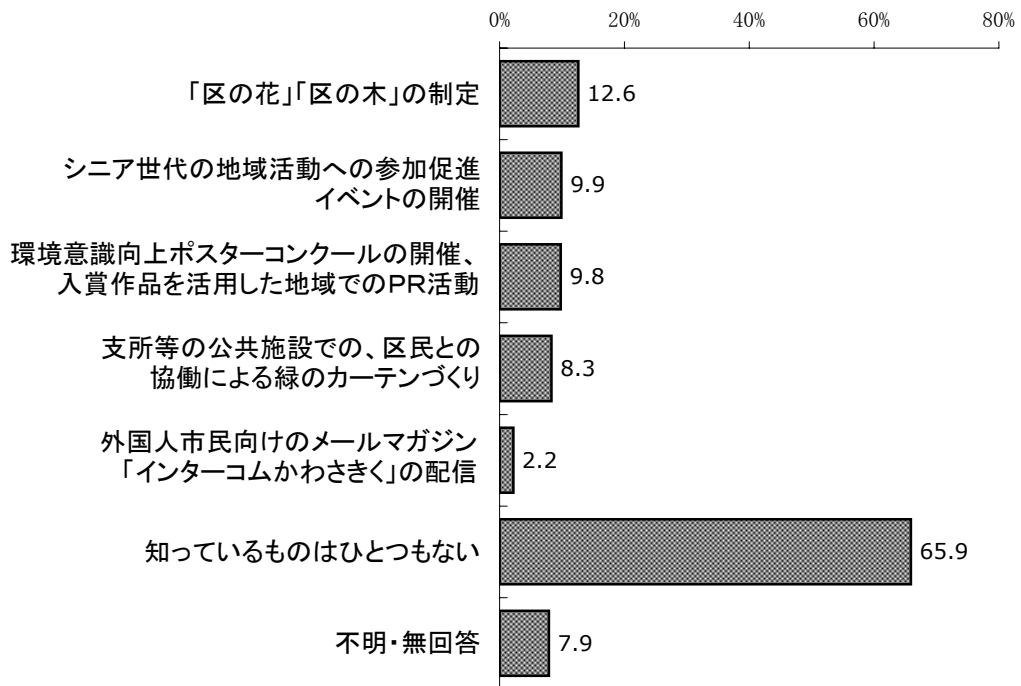
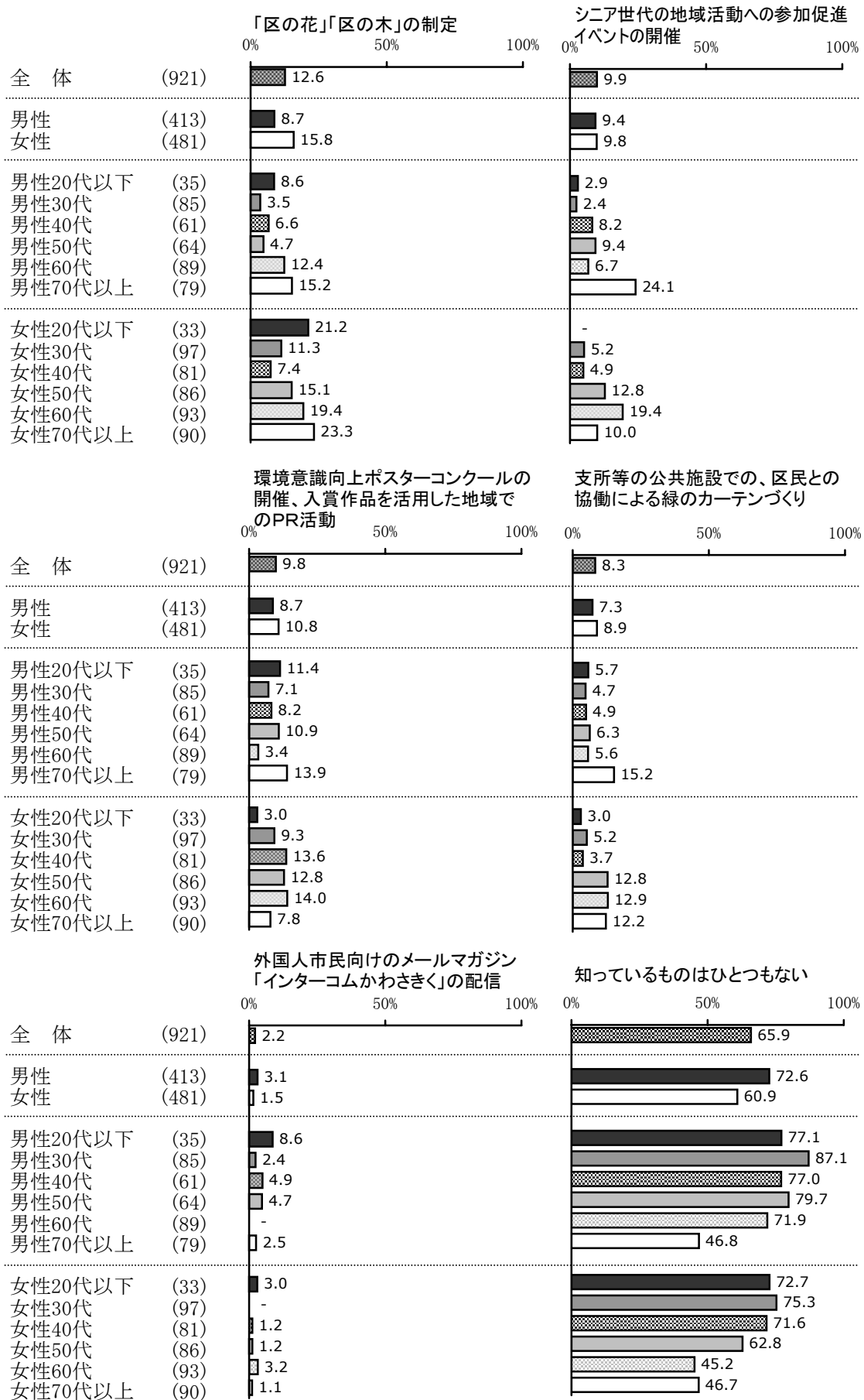


図15-2 区民会議の取り組みで知っているもの

<性別・性年代別>

【基数：全体(N=921)】

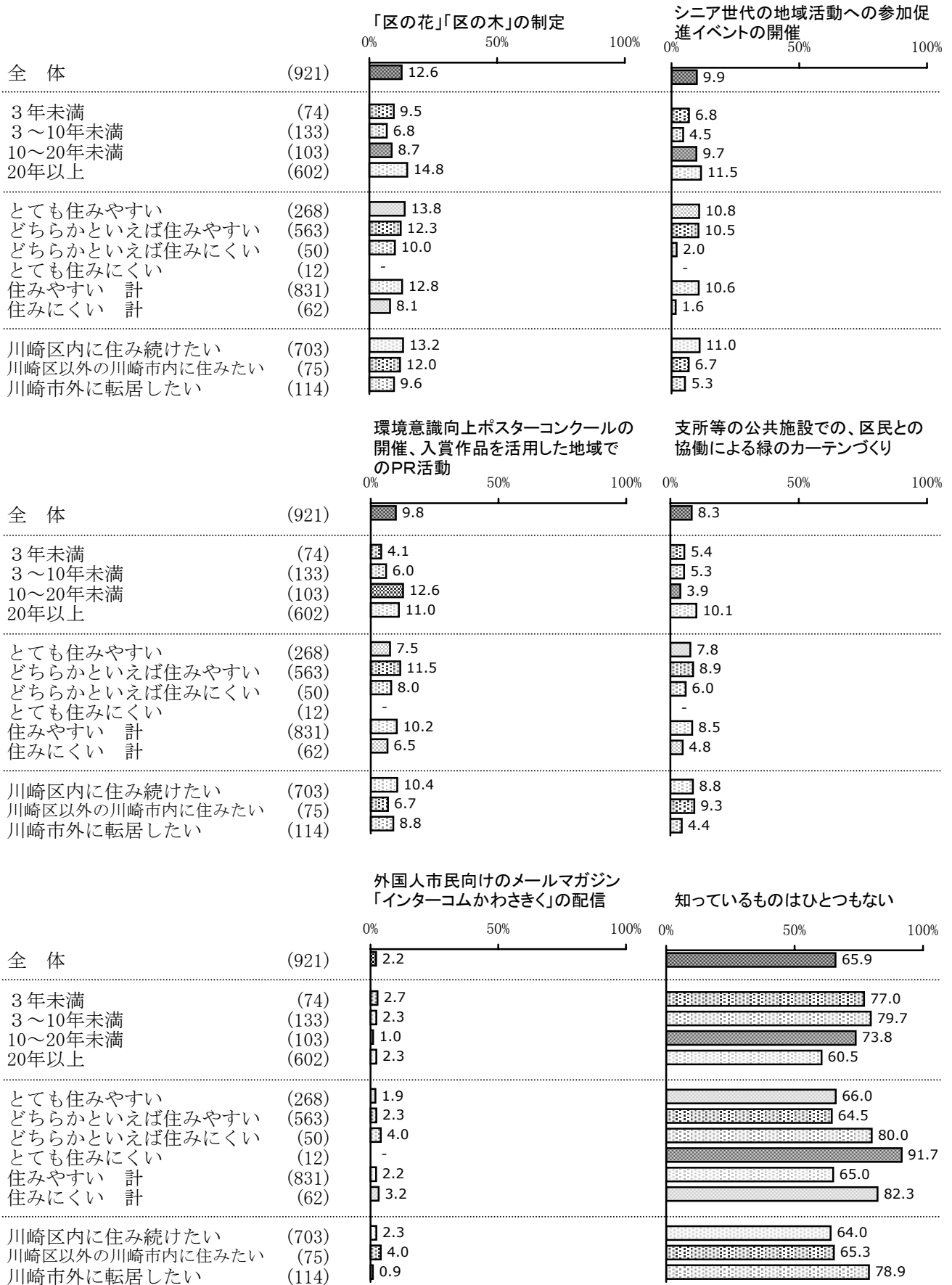


※「不明・無回答」は作図せず

図15-3 区民会議の取り組みで知っているもの

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=921)】

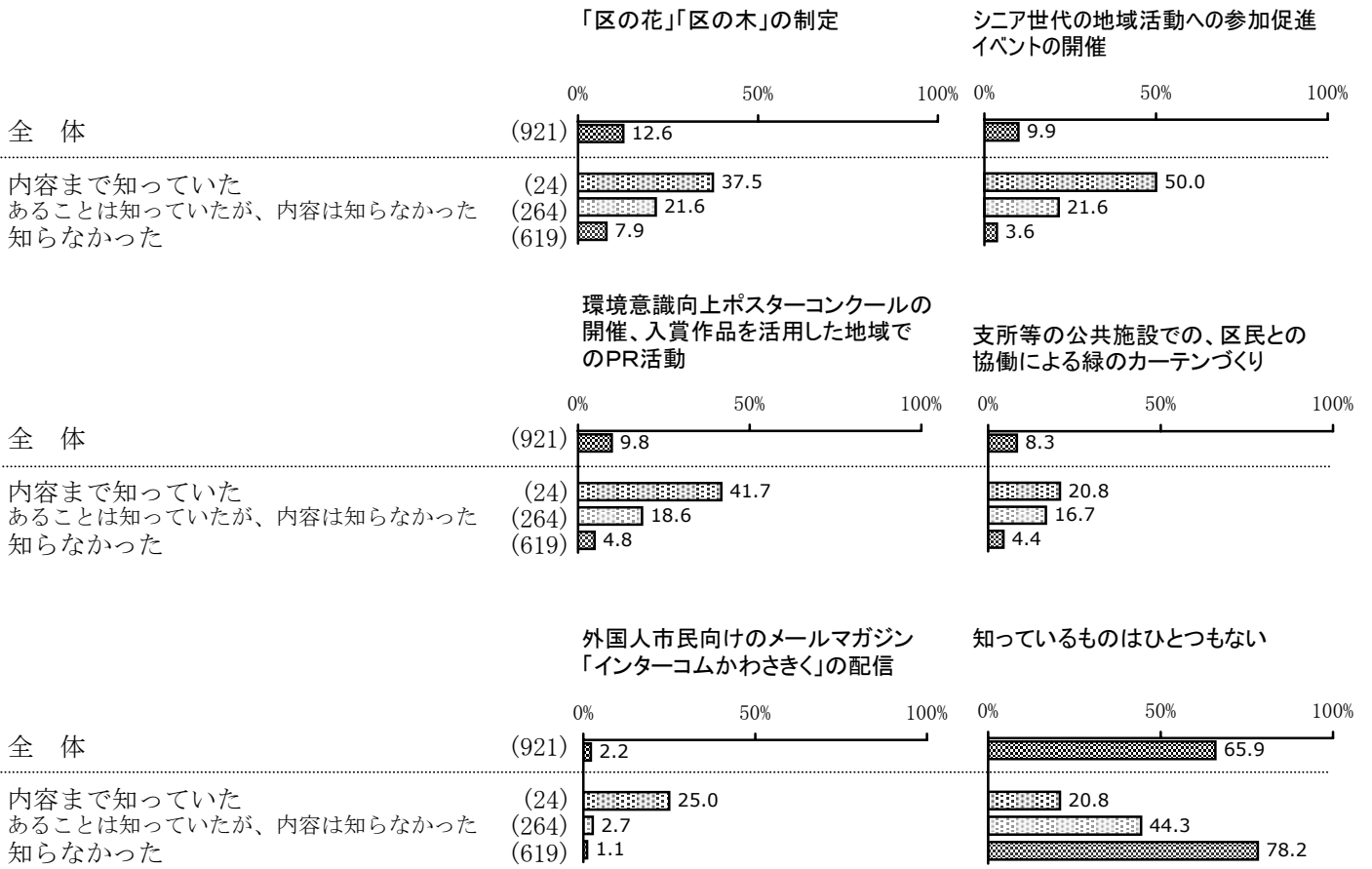


※「不明・無回答」は作図せず

図15-4 区民会議の取り組みで知っているもの

<区民会議の認知度別>

【基数：全体(N=921)】



※「不明・無回答」は作図せず

16 区民会議の議題として望ましいもの

問16 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまでお選びください。(○は3つまで)

全 体 「防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野」(69.8%)が最も高く、次いで「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」(50.6%)と続いている。(図16-1)

性 別 「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」「緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野」「子育て、教育などを育て心をはぐくむ分野」では、「男性」より「女性」の割合が高くなっており、特に「子育て・教育など人を育て心をはぐくむ分野」では「男性」(26.2%)に対し「女性」(37.4%)が11ポイント高くなっている。一方「文化・観光・スポーツの振興などまちの魅力を発信する分野」では、「女性」(12.3%)に対して「男性」(23.7%)が11ポイント高くなっている。(図16-2)

性年代別 「防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野」では「男性30代」(70.6%)、「男性40代」(75.4%)、「男性50代」(75.0%)、「女性20代以下」(75.8%)、「女性30代」(74.2%)、「女性40代」(74.1%)で7割を超えている。「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」では年代が高くなるにつれ、割合が上昇する傾向にある。「緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野」では「男性20代以下」(54.3%)、「女性70代以上」(54.4%)で5割を超えている。「子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野」では「男性30代」(55.3%)「女性20代以下」(63.6%)「女性30代」(61.9%)で5割を超え、高くなっている。「文化・観光・スポーツの振興などまちの魅力を発信する分野」では「男性」の割合が高く、概ね年代が低くなるにつれ、割合が上昇する傾向にある。(図16-2)

居住年数別 「防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野」では「3年未満」(73.0%)、「20年以上」(70.8%)で7割を超え、高くなっている。「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」では、居住年数が長くなるにつれ、割合は上昇する傾向にあり、特に「20年以上」(53.8%)では5割を超えている。「子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野」では、「3年～10年未満」(45.9%)で最も高くなっている。(図16-3)

川崎区の住みやすさ別 「防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野」「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」「文化・観光・スポーツの振興などまちの魅力を発信する分野」では、「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高く、特に「防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野」では「住みにくい計」（53.2%）に対し「住みやすい計」（71.2%）が18ポイント高くなっている。一方、「緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野」「地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野」では、「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が高くなっている。特に「緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野」では「住みやすい計」（43.0%）に対して「住みにくい計」（58.1%）が15ポイント高くなっている。（図16-3）

定住意向別 「福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野」では「川崎区内に住み続けたい」（52.1%）が最も高くなっている。一方「緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野」では、「川崎市外に転居したい」（54.4%）で最も高くなっている。（図16-3）

問16-1 区民会議の議題として望ましいもの

【基数：全体(N=921)】

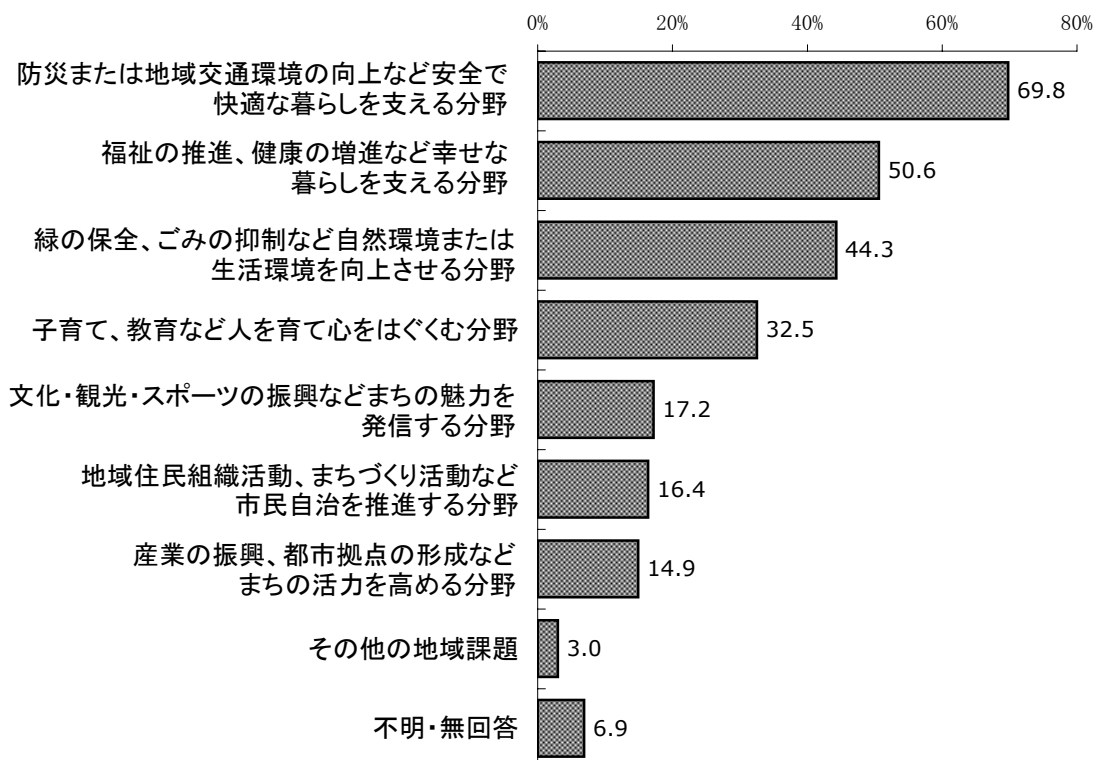
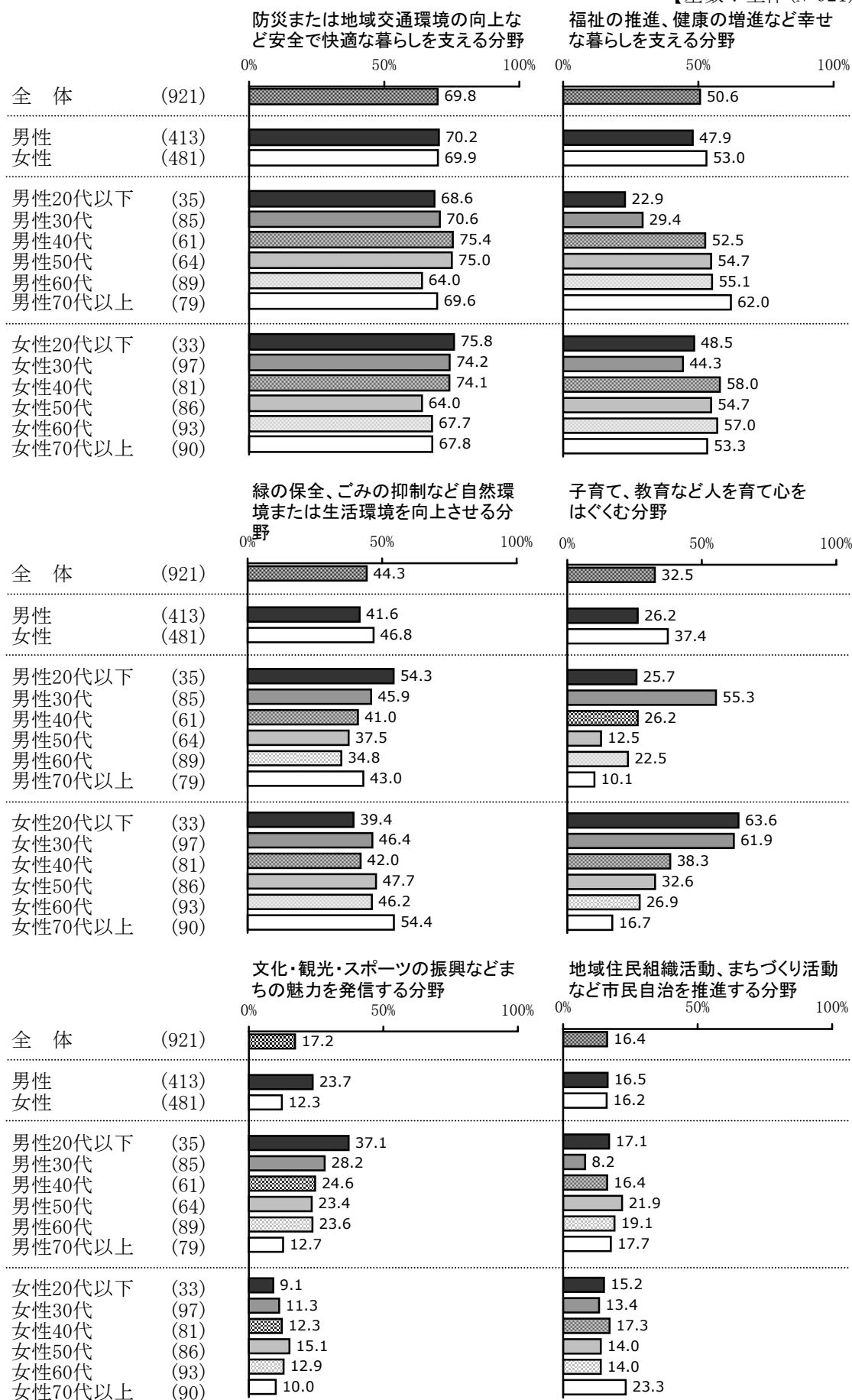


図16-2 区民会議の議題として望ましいもの

＜性別・性年代別＞
（上位6項目）

【基数：全体(N=921)】

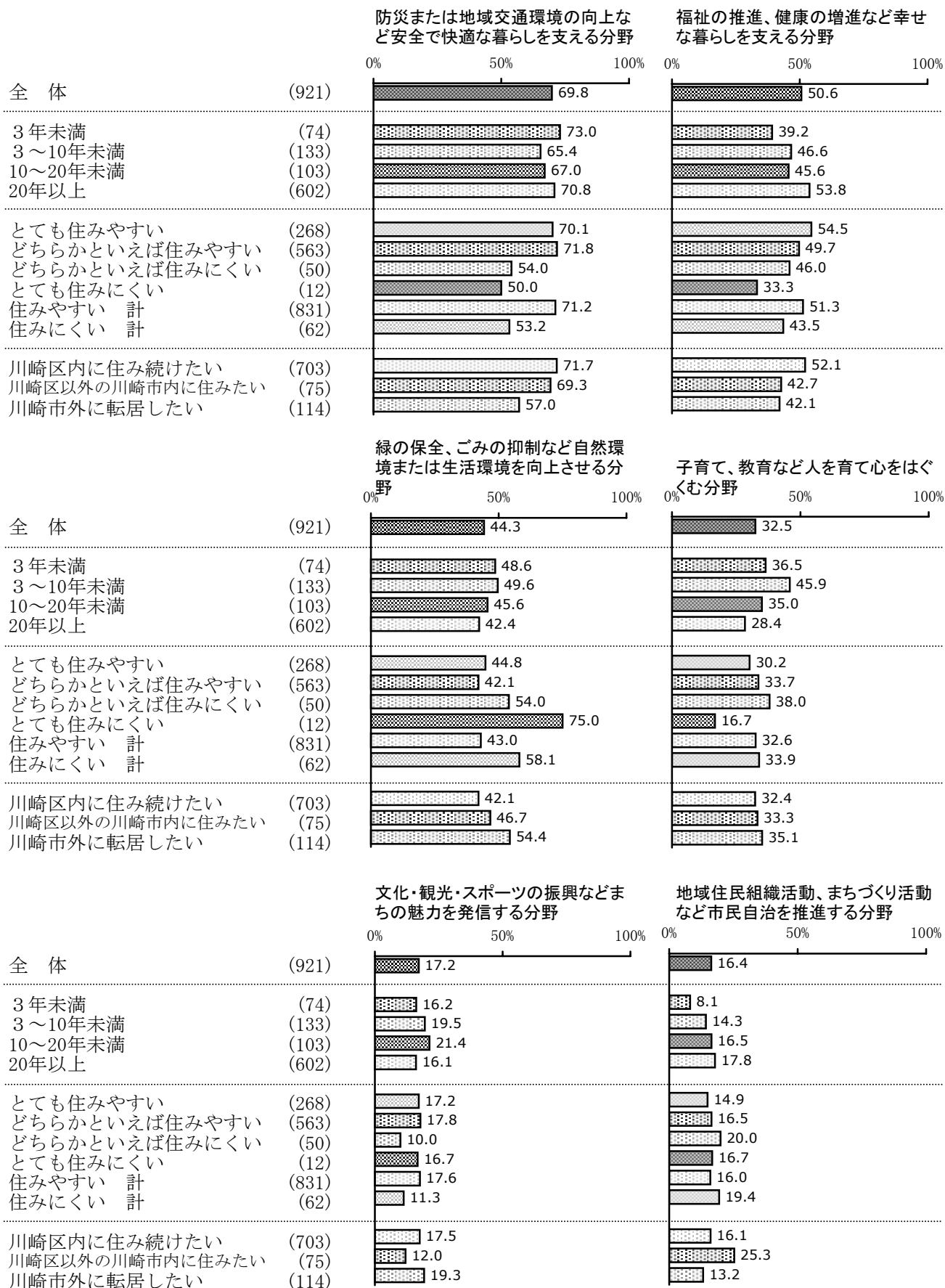


※7位および「その他の地域課題」「不明・無回答」は作図せず

図16-3 区民会議の議題として望ましいもの

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
 (上位6項目)

【基数：全体(N=921)】



※7位および「その他の地域課題」「不明・無回答」は作図せず

17 「区の花」「区の木」の活用方法についてのご意見・ご提案等

問17 第3期川崎区区民会議からの提案を基に、区制40周年を迎える平成24年4月に「区の花」及び「区の木」を制定します。
地域緑化や区のイメージアップ等の取り組みを進めていく上で、「区の花」「区の木」の活用方法についてのご意見・ご提案等を、ご自由にご記入ください。

問17「「区の花」「区の木」の活用方法についてのご意見・ご提案等」における自由回答を、内容の種類ごとに、大きく22種類に分類した。（内容の分類は、以下の表1. のとおりである。）

表1. 問17の分類表

1	植える
2	無料で配布する
3	「区の花」「区の木」の販売
4	キャラクターの作成
5	「区の花」「区の木」のグッズの製作・販売
6	イラストのデザイン、色々な場所に貼る(ペイント)
7	絵画コンクール、写真展、〇〇コンテスト等の開催
8	「〇〇祭り」の開催
9	「区の花」「区の木」をシンボルにする
10	「区の花」「区の木」でモニュメントや飾り等の作成
11	「区の花」「区の木」の通りを作る。
12	公園の増設(自然環境作り)
13	イメージアップのために使用する(緑地化の増進、環境問題)
14	「区の花」「区の木」との入れ替え
15	「区の花」「区の木」の認知度を高める
16	「区の花」「区の木」の候補・提案
17	「区の花」「区の木」の上記以外の提案
18	「区の花」「区の木」に対する肯定的な意見
19	「区の花」「区の木」に対する否定的な意見
20	「区の花」「区の木」を知らない、興味がない
21	落葉や手入れの問題
22	「区の花」「区の木」以外の提案

■ 市民活動及び地域活動への参加について

18 市民活動及び地域活動への参加状況

問18 あなたは、町内会・自治会などの地域団体での活動やボランティア活動、サークル活動などの地域における活動を行っていますか。
(○は1つ)

全 体 「活動を行っていない」(77.1%)が最も多く、次いで「活動を行っている」(20.1%)と続いている。平成21年度と比較しても特に大きな違いはみられない。(図18-1)

性 別 「活動を行っている」では、「男性」(15.5%)に対して「女性」(22.7%)が7ポイント多くなっている。(図18-1)

性年代別 年代が高くなるにつれ、「活動を行っている」割合は上昇する傾向にあり、「男性70代以上」(27.8%)、「女性60代」(33.3%)「女性70代以上」(31.1%)では3割を超え、他の年代よりも多くなっている。
(図18-1)

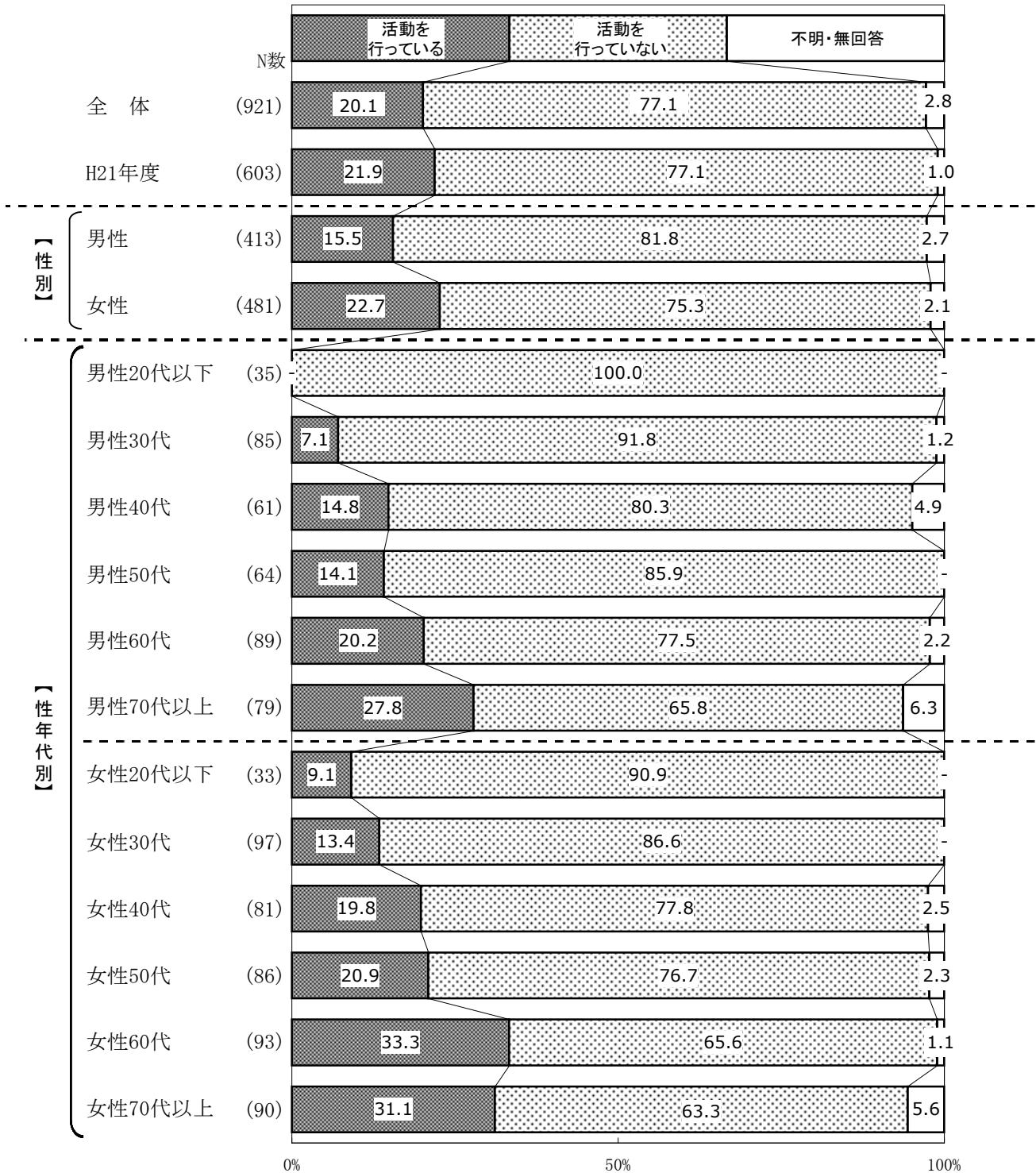
居住年数別 居住年数が長くなるにつれ、「活動を行っている」割合も上昇し、「20年以上」(24.4%)では、他の居住年数よりも多くなっている。
(図18-2)

川崎区の住みやすさ別 特に大きな違いはみられない(図18-2)

定住意向別 「活動を行っている」では「川崎市外に転居したい」(11.4%)に対して「川崎区内に住み続けたい」(22.5%)が11ポイント多くなっている。
(図18-2)

図18-1 市民活動及び地域活動への参加状況

＜性別・性年代別＞
【基数：全体(N=921)】



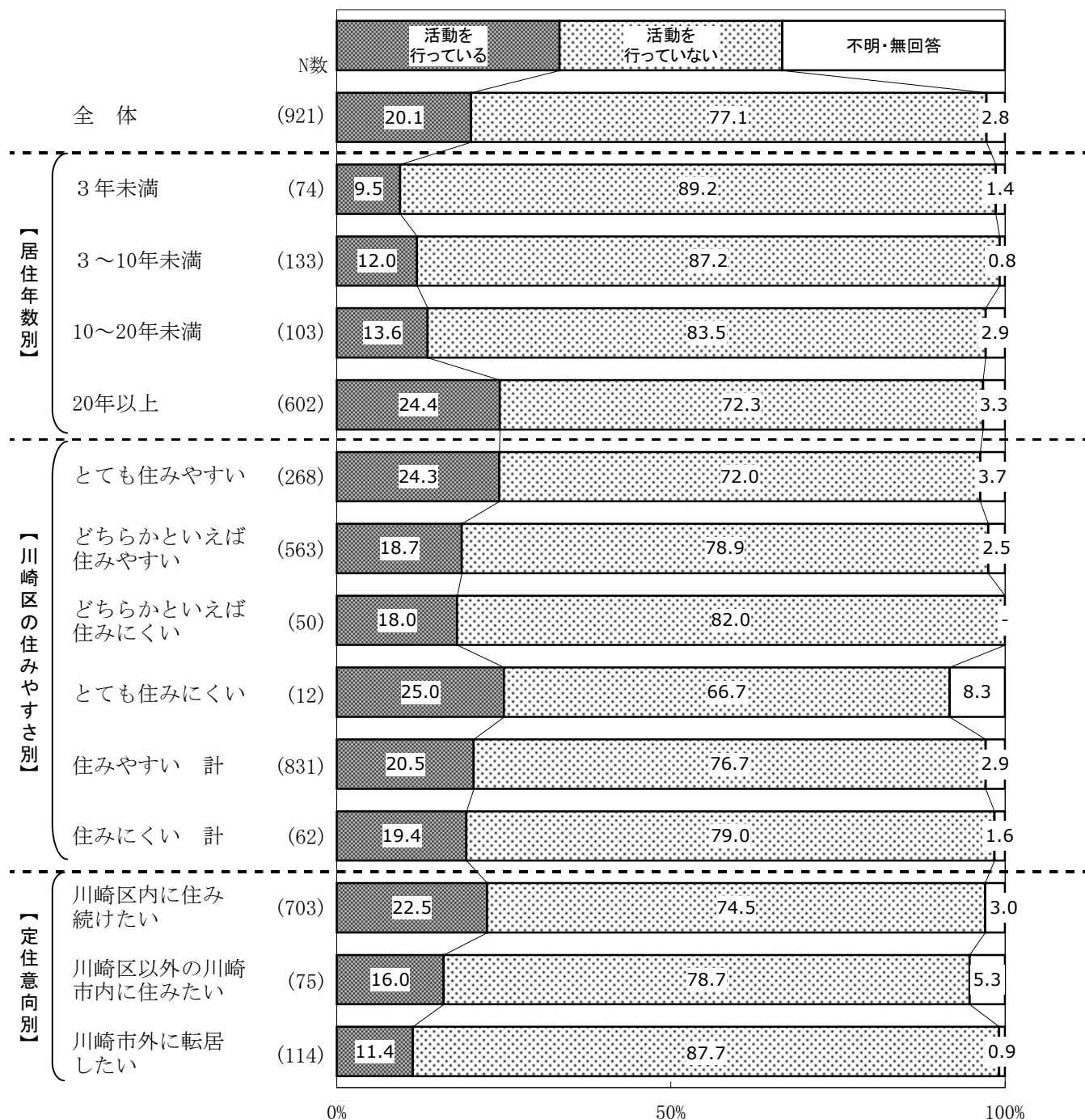
※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

図18-2 市民活動及び地域活動への参加状況

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

【基数：全体(N=921)】



※「N数が20未満の属性」についてはコメントせず

※属性が「不明・無回答」は作図せず

19 現在参加している地域活動の分野

問19 《問18で「1 活動を行っている」を選んだ方にお聞きします》
あなたが地域で活動している団体（グループや個人の活動も含む）の活動分野をお選びください。（あてはまるものすべてに○）

全 体 「町内会・自治会に関する活動」（74.6%）が最も高く、次いで「防犯・防火などの地域安全に関する活動」（24.3%）と続いている。平成21年度との比較において「町内会・自治会に関する活動」では、平成21年度（63.6%）に対して、今年度（74.6%）と11ポイント高くなっている。「防犯・防火などの地域安全に関する活動」においても、平成21年度（16.7%）に対して、今年度（24.3%）と7ポイント高くなっている（図19-1）

性 別 「防犯・防火などの地域安全に関する活動」「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」「交通安全に関する活動」では、「女性」より「男性」での割合が高く、「防犯・防火などの地域安全に関する活動」では、「女性」（21.1%）に対し「男性」（29.7%）となっている。一方、「子ども・青少年や子育て・教育に関する活動」では「男性」（17.2%）に対して「女性」（21.1%）が3ポイント高くなっている。（図19-2）

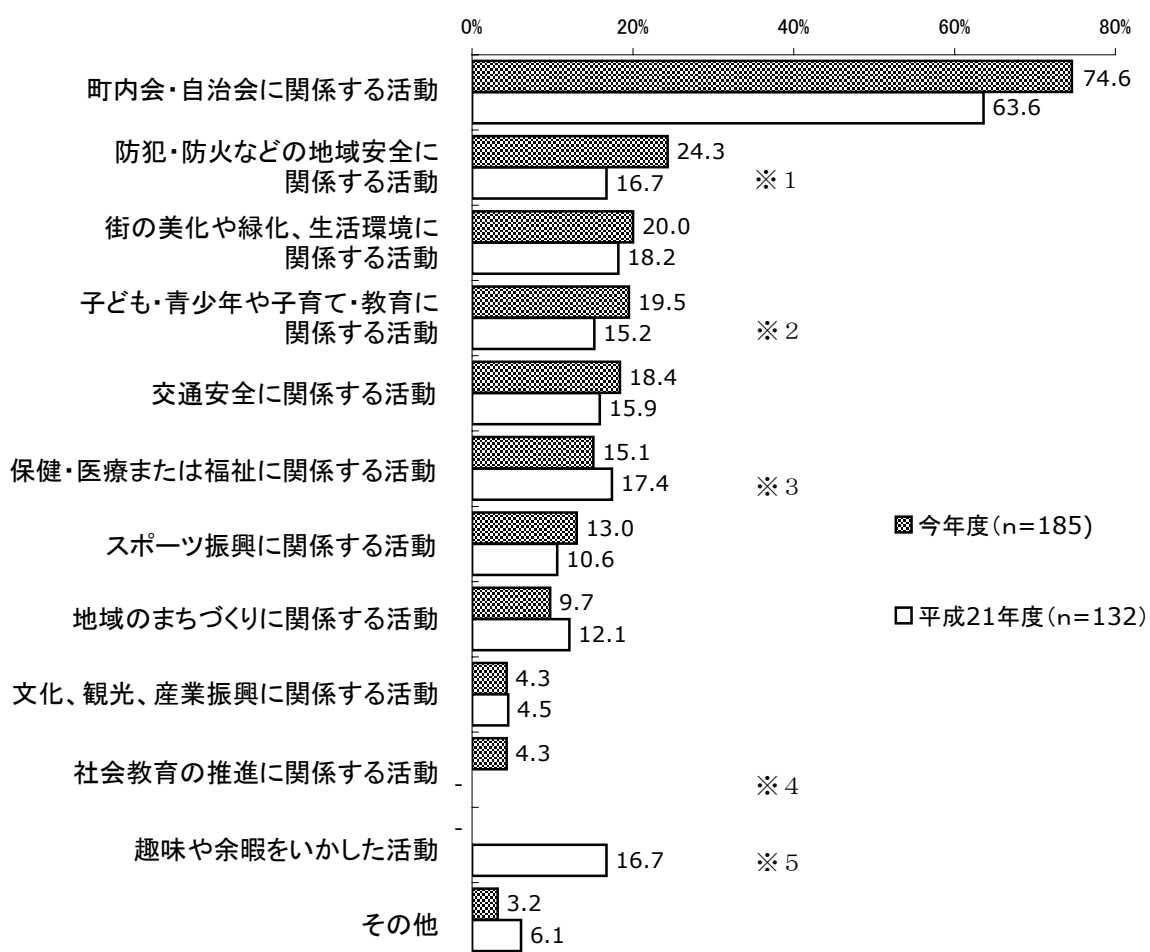
性年代別 「町内会・自治会に関する活動」では、調査数は少ないものの、男女ともに年代が高くなるにつれ割合が上昇する傾向にあり、特に「男性60代」（77.8%）、「男性70代以上」（77.3%）、「女性60代」（87.1%）、「女性70代以上」（78.6%）で割合が高い傾向にある。（図19-2）

居住年数別 「町内会・自治会に関する活動」では、調査数が少ないものの、居住年数が長くなるにつれ、割合が上昇する傾向にあり、「20年以上」（79.6%）で約8割にのぼる。（図19-3）

川崎区の住みやすさ別 特に大きな違いはみられない。（図19-3）

定住意向別 特に大きな違いはみられない。（図19-3）

問19-1 現在参加している地域活動の分野

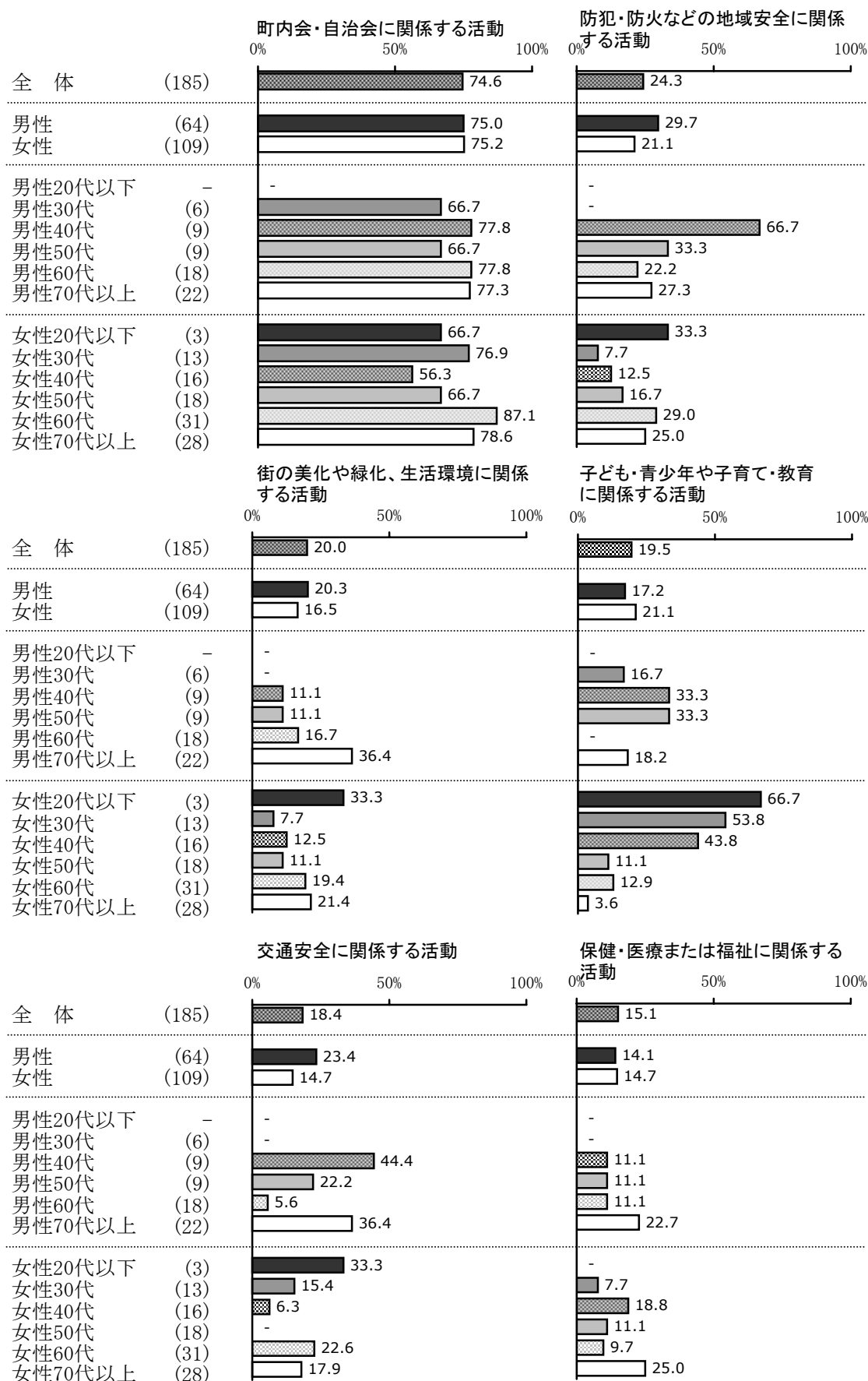


- ※1 平成21年度は「防犯・防火に関する活動」にて聴取
 - ※2 平成21年度は「子育てや教育に関する活動」にて聴取
 - ※3 平成21年度は「福祉や健康増進に関する活動」にて聴取
 - ※4 平成21年度は非聴取のためデータなし
 - ※5 平成23年度は非聴取のためデータなし
- 不明・無回答は今年度回答数0のため、作図せず。

図19-2 現在参加している地域活動の分野

＜性別・性年代別＞
（上位6項目）

【基数：地域活動を行っている人(n=185)】

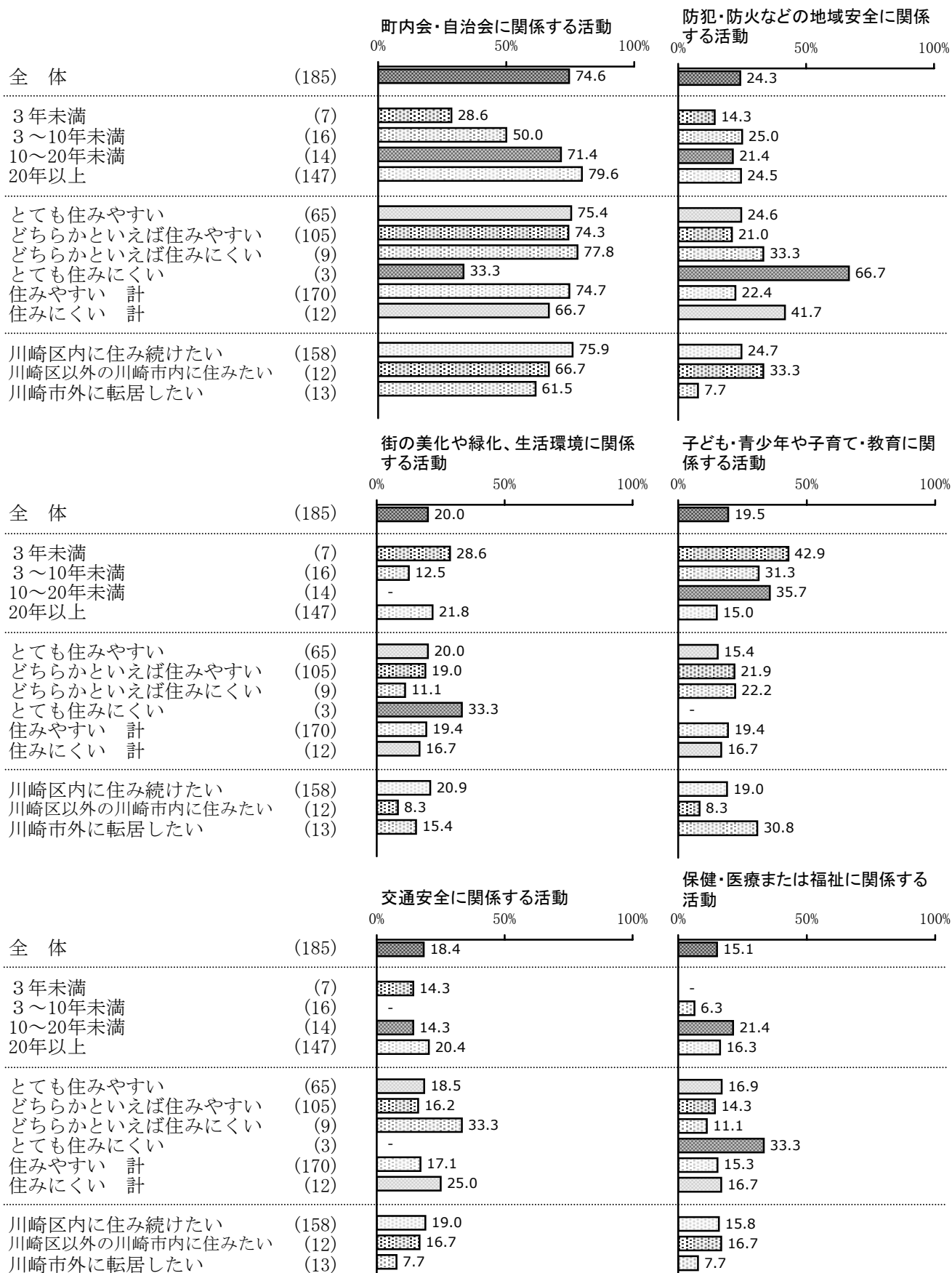


※ 7位～9位及び「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

図19-3 現在参加している地域活動の分野

＜居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別＞
(上位6項目)

【基数：地域活動を行っている人(n=185)】



※ 7位～9位及び「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

20 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

問20 全員の方へお聞きします
あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。
(あてはまるものすべてに)

全 体 「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」(27.9%)が最も高く、次いで「防犯・防火などの地域安全に関係する活動」(24.3%)、「保健・医療または福祉に関係する活動」(19.8%)と続いている。(図20-1)

性 別 「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」「保健・医療または福祉に関係する活動」「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、「男性」より「女性」の割合が高くなっている。特に「保健・医療または福祉に関係する活動」では「男性」(15.3%)に対して「女性」(23.7%)が8ポイント高くなっている。一方「防犯・防火などの地域安全に関係する活動」では、「女性」(21.2%)に対して「男性」(28.1%)が7ポイント高くなっている。(図20-2)

性年代別 「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」では「男性60代」(41.6%)、「女性60代」(44.1%)で4割を超え、最も高くなっている。「保健・医療または福祉に関係する活動」では「男性20代以下」(5.7%)、「男性30代」(4.7%)で10%未満と低くなっている。「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、「女性20代以下」(36.4%)、「女性30代」(40.2%)が、他の年代よりも高くなっている。「地域活動には参加したくない」では「男性20代以下」(25.7%)、「男性30代」(23.5%)、「女性20代以下」(21.2%)、「女性40代」(24.7%)、「女性50代」(24.4%)で2割を超えている。(図20-2)

居住年数別 「防犯・防火などの地域安全に関係する活動」では「3年未満」(35.1%)での割合が最も高くなっており、3割を超えている。また、「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、居住年数が短くなるにつれ割合が上昇している傾向にあり、「3年未満」(29.7%)で3割弱にのぼる。一方、「町内会・自治会に関係する活動」では居住年数が長くなるにつれ、割合は上昇している傾向にある。「地域活動には参加したくない」では、「3~10年未満」(22.6%)が最も高くなっている。(図20-3)

川崎区の住みやすさ別 「街の美化や緑化、生活環境に関係する活動」「保健・医療または福祉に関係する活動」「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、「住みやすい計」より「住みにくい計」の割合が高くなっている。特に「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、「住みやすい計」(15.0%)に対して「住みにくい計」(24.2%)が9ポイント高くなっている。「町内会・自治会に関係する活動」では、「住みにくい計」より「住みやすい計」の割合が高くなっている。「地域活動には参加したくない」では「とても住みにくい」(33.3%)が最も高くなっている。(図20-3)

定住意向別 「子ども・青少年や子育て・教育に関係する活動」では、「川崎市外に転居したい」(21.1%)が最も高くなっている。また「町内会・自治会に関係する活動」では、「川崎区内に住み続けたい」(18.1%)が最も高くなっている。(図20-3)

市民活動及び地域活動への参加状況別 「街の美化や緑化、生活環境に関する活動」では、「活動を行っている」(36.8%)が最も高くなっている。また、「町内会・自治会に関する活動」においても同様の傾向がみられ、「活動を行っている」(32.4%)では、最も高くなっている。(図20-4)

地域で行っている活動分野別 現在行っている活動分野を継続したいと考えている層は「保険・医療または福祉に関する活動」(60.7%)で最も高く、次いで「スポーツ振興に関する活動」(58.3%)と続いている。行っている活動分野の中で最も人数の多かった「町内会・自治会に関する活動」(39.9%)では、4割弱となっている。(図20-5)

問20-1 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

【基数：全体(N=921)】

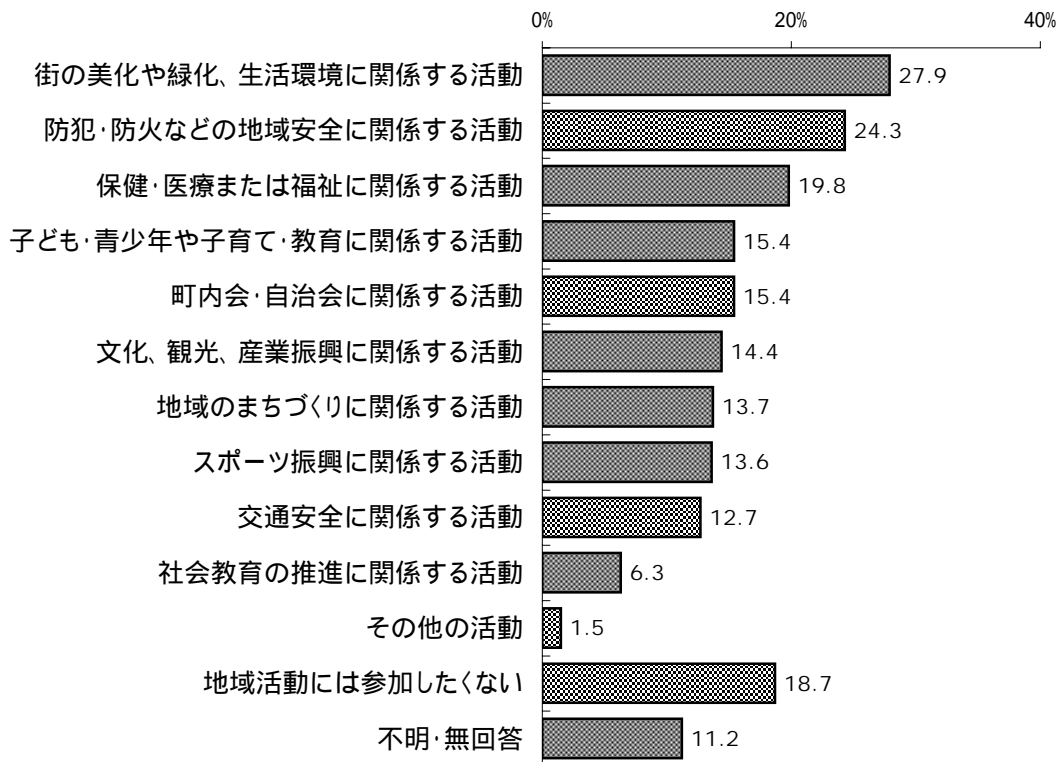
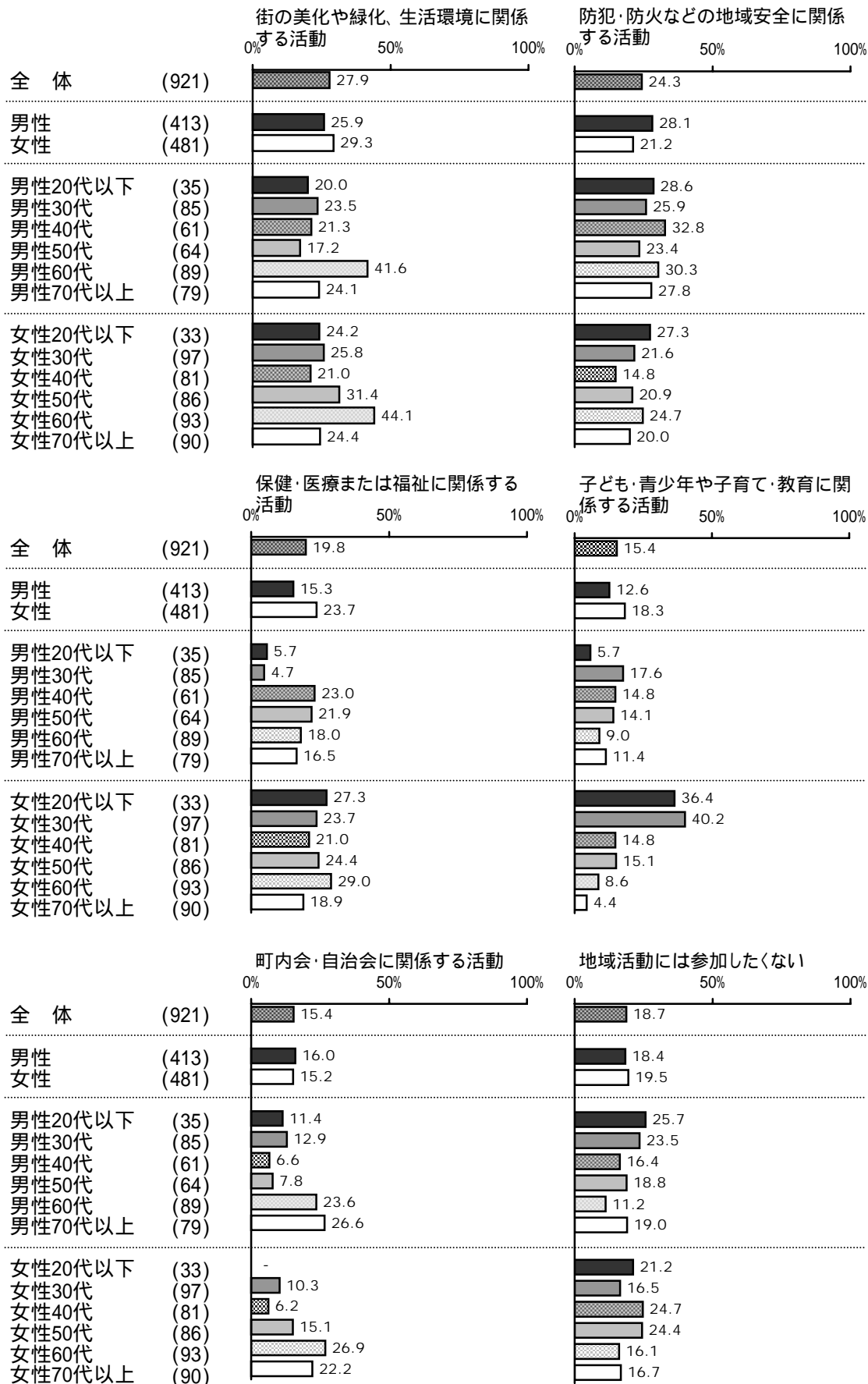


図20-2 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

<性別・性年代別>

(上位5項目+地域活動には参加したくない)

【基数：全体(N=921)】



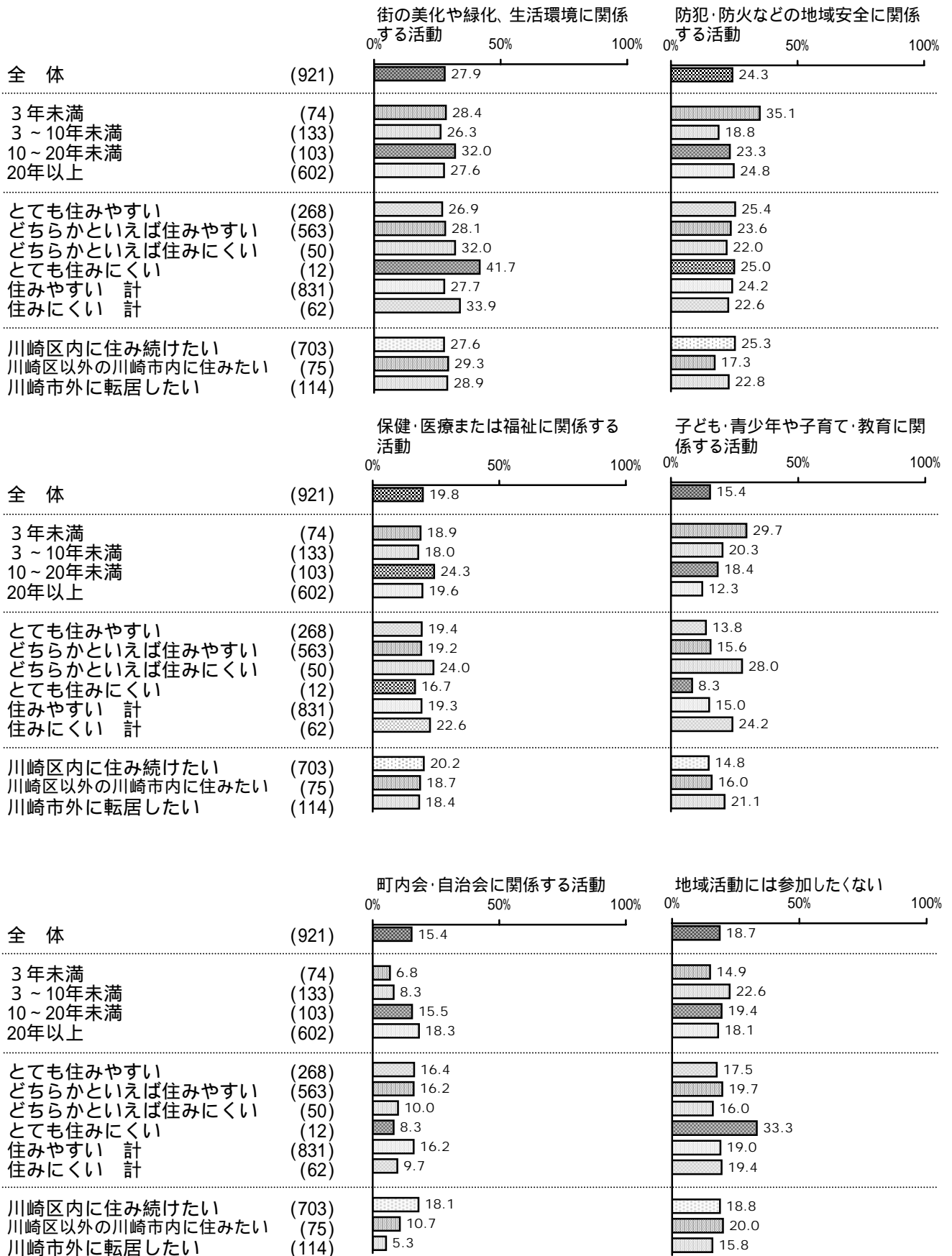
上位6～10位および「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

図20-3 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

<居住年数別・川崎区の住みやすさ別・定住意向別>

(上位5項目+地域活動には参加したくない)

【基数：全体(N=921)】



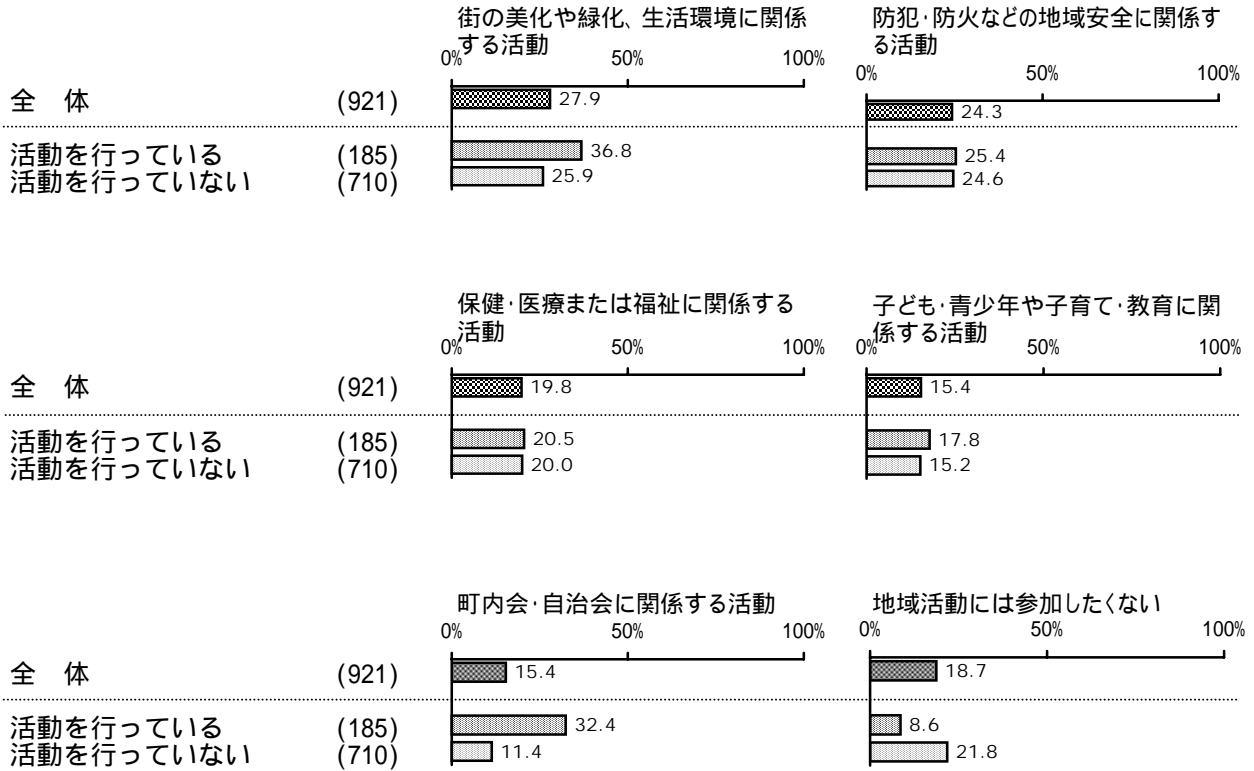
上位6～10位および「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

図20-4 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

<町内会・自治会活動の状況>

(上位5項目+地域活動には参加したくない)

【基数：全体(N=921)】



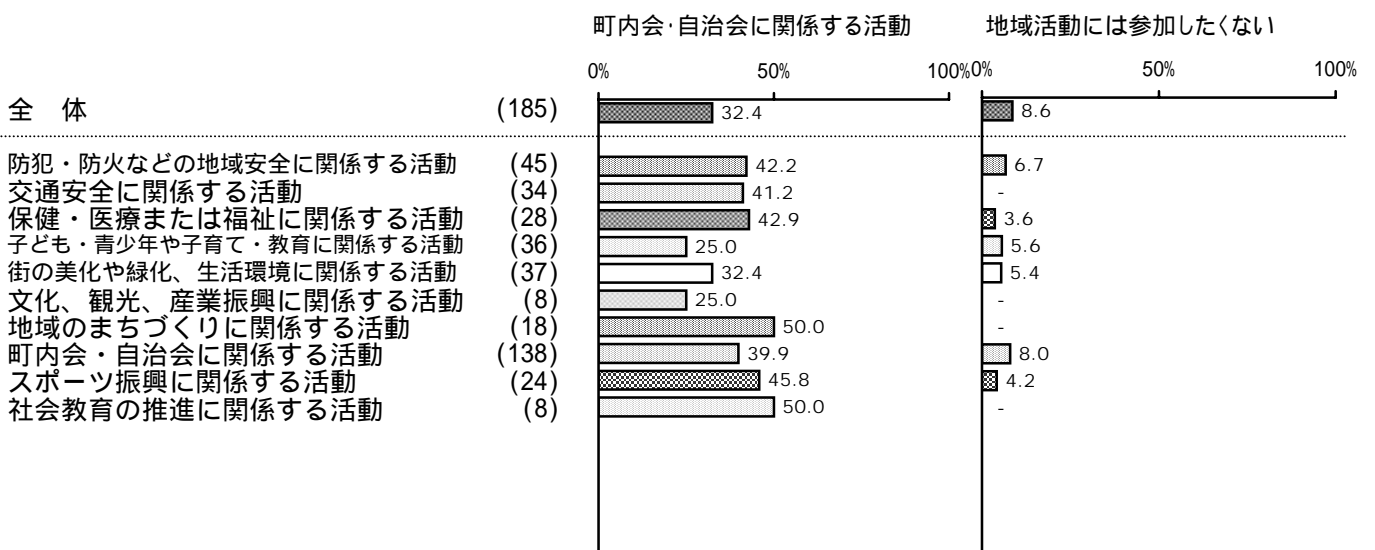
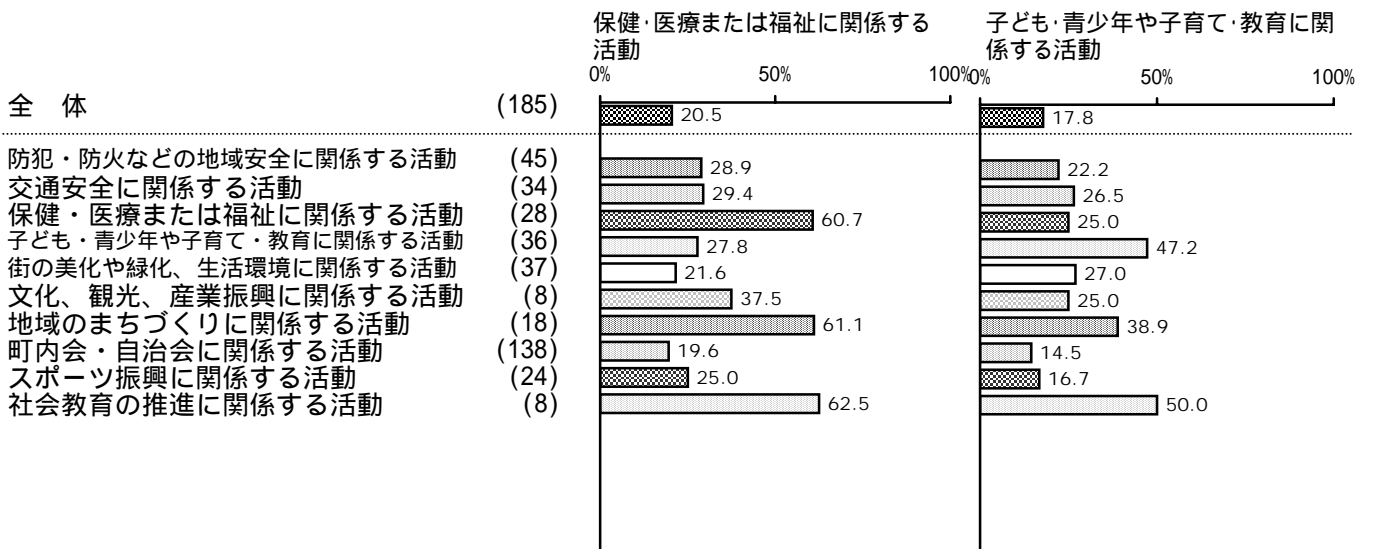
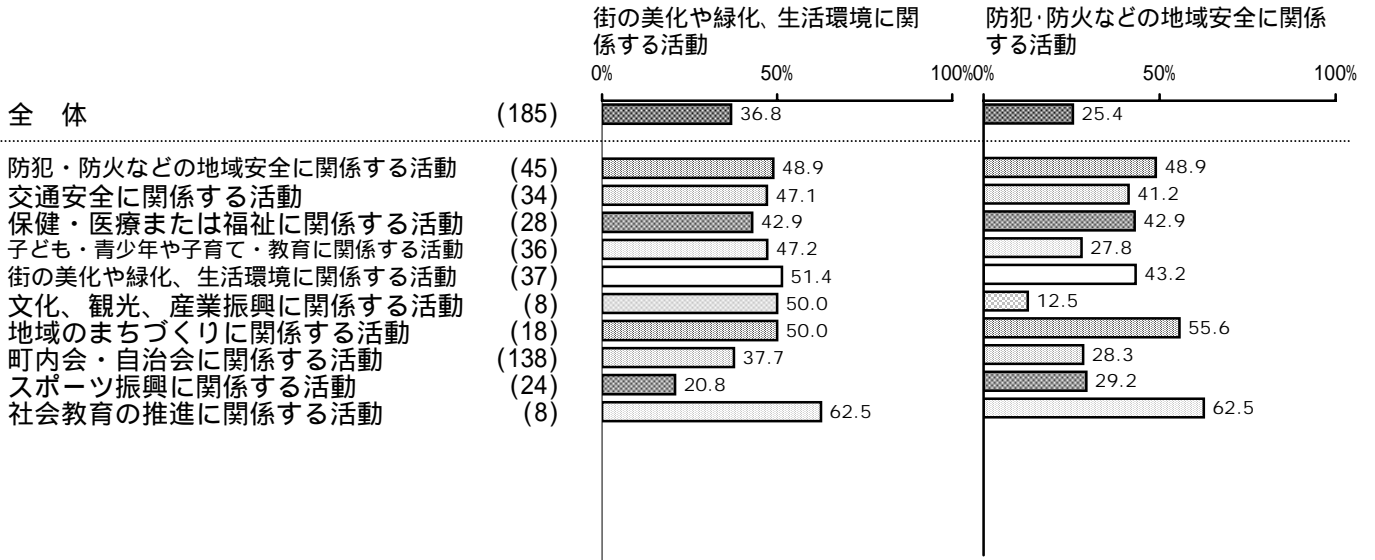
上位6～10位および「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

図20-5 今後参加してみたいと思う地域活動の分野

< 地域で行っている活動分野別 >

(上位5項目 + 地域活動には参加したくない)

【基数：地域で活動を行っている人(n=185)】



上位6～10位および「その他の活動」「不明・無回答」は作図せず

調査に使用した調査票

川崎区区民アンケート

平成23年12月

お忙しいところ大変お手数をおかけしますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださるよう、お願い申し上げます。

【ご記入に関する注意点とお願い】

この調査は無記名調査です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。

この調査は、行政上の基礎資料として使うことを目的としていますので、それ以外の目的に使用することは決してありません。

この調査の結果は、すべてコンピューターで一括処理を行い、統計的な集計・分析だけに用いられますので、個々のお答えの内容や皆様の個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

あて名のご本人がアンケートにお答えください。

ご記入は、濃い鉛筆またはボールペン・万年筆でお願いします。

お答えは、当てはまる答えの番号を で囲んでください。

「その他」に当てはまる場合は、()の中にその内容を具体的にご記入ください。

ご記入いただいたアンケートは、12月19日(月)までに同封の返信用封筒(切手を貼る必要はございません)に入れて、投函してください。

よろしく願いいたします。

本調査について、ご不明な点がございましたら、調査担当課までお問い合わせください。

調査担当課

川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

電話 : 044-201-3267

F A X : 044-201-3209

E-mail : 61kikaku@city.kawasaki.jp

◆ 川崎区の住みやすさなどについておうかがいします

住みやすさについて

問1 あなたは川崎区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1 3年未満	3 10年以上～20年未満
2 3年以上～10年未満	4 20年以上

問2 あなたにとって、川崎区はどの程度住みやすいですか。(○は1つ)

1 とても住みやすい
2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい
4 とても住みにくい
5 わからない

問3 次の表にあげる項目で、川崎区について良いと思うもの、良くないと思うものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

項目	問3-1 良いと思う ↓	問3-2 良くないと思う ↓
1 治安や風紀	1	1
2 買い物、病院などの日常生活の利便性	2	2
3 子育て環境	3	3
4 教育・文化環境	4	4
5 緑や公園などの自然環境	5	5
6 交通の利便性	6	6
7 その他（良いと思う理由：) その他（良くないと思う理由：)		

問4 あなたは川崎区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1 川崎区内に住み続けたい
2 川崎区以外の川崎市内に住みたい
3 市外に転居したい

◆ ここからは、区民の皆さまの区政に対する評価やご要望などについておうかがいします

川崎区役所の広報について

問5 あなたは、川崎区からのお知らせや情報をどのような手段で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 市政だより
- 2 町内会・自治会の回覧板
- 3 新聞、タウン紙などの報道
- 4 区(市)のホームページ
- 5 メールマガジン (インターコムかわさきく)
- 6 かわさき生活ガイド
- 7 区の施設や掲示板にあるポスターやパンフレット類
- 8 区から送られるお知らせ文書
- 9 その他 ()
- 10 特に川崎区からのお知らせや情報は、入手していない

問6 平成21年度に実施した川崎区区民アンケートでは、区からの行政情報を「市政だより」から入手している方が、約7割と最も多い結果となりました。

月に1回定期的に発行している「市政だより」の川崎区版について、どのような情報を充実してほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 防災関係情報 (避難場所、ハザードマップなど)
- 2 健康・福祉関係情報 (健康診断、関連施設、相談窓口など)
- 3 子育て情報 (関連施設、相談窓口など)
- 4 教育・学校関係情報 (小中学校の情報、相談窓口など)
- 5 歴史・文化・スポーツ関係情報 (生涯学習、音楽のまち、タウンスポーツ、講座など)
- 6 区役所内の窓口情報 (相談内容別問い合わせ先など)
- 7 区政情報 (区の事業紹介、制度紹介など)
- 8 イベント情報 (区主催のイベント情報など)
- 9 その他の情報 ()



問7 区ホームページでは、どのような情報を充実してほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 防災関係情報（避難場所、ハザードマップなど） | |
| 2 | 健康・福祉関係情報（健康診断、関連施設、相談窓口など） | |
| 3 | 子育て情報（関連施設、相談窓口など） | |
| 4 | 教育・学校関係情報（小中学校の情報、相談窓口など） | |
| 5 | 歴史・文化・スポーツ関係情報（生涯学習、音楽のまち、タウンスポーツ、講座など） | |
| 6 | 区役所内の窓口情報や区内の公共施設情報 | |
| 7 | 区政情報（区の事業紹介、制度紹介など） | |
| 8 | イベント情報（区主催のイベント情報など） | |
| 9 | ゴミ・リサイクル情報（ゴミの出し方など） | |
| 10 | その他の情報（ | ） |

川崎区役所が行っている事業の評価と要望について

問8 川崎区役所が行っている事業で、よくやっていると思われるものはどれですか。
表の1～8のうち、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

問9 今後、特に力を入れてほしいとお考えのものはどれですか。
表の1～8のうち、あてはまるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

※この問いでは、川崎区役所で対応できる施策を中心に質問項目を設定しています。

項目	問8 よくやっ ていると思 うもの ↓	問9 今後特に 力を入れて ほしいもの ↓
1 暮らしの安全、災害・危機対応、地域交通環境等に関する事業	1	1
2 高齢者や障害者福祉、健康づくりや医療との連携等に関する事業	2	2
3 子育て支援、教育環境、生涯学習等に関する事業	3	3
4 地球温暖化対策、環境美化、地域緑化等に関する事業	4	4
5 地域産業・商業の振興、魅力ある都市機能の整備等に関する事業	5	5
6 観光、スポーツ、音楽等の魅力発信や文化芸術の振興等に関する事業	6	6
7 地域コミュニティの活性化や区民と協働によるまちづくり推進に関する事業	7	7
8 わからない	8	8

自転車対策について

川崎区では、安全で快適な歩行空間の確保や緊急時の活動の円滑化などのため、放置自転車対策に取り組んでいます。今後の対策の参考とするため、以下についてお聞きします。

問10 あなたは普段、自転車を利用しますか。

また、利用する場合、主な目的（※）は何ですか。（○は1つ）

※ **自転車を最もよく利用する目的を、1つだけお選びください**

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1 通勤・通学で利用する | } 問11へ |
| 2 買い物や銀行などの用事のため利用する | |
| 3 上記以外の用途（具体的に： _____）で、利用する | |
| 4 自転車を利用しない → 次ページ問13へ | |

《問10で「1～3（自転車を利用する）」を選んだ方にお聞きします》

問11 上記問10でお答えいただいたような目的の場所へ行くために、自転車の他に、さらに電車を利用していますか。

電車を利用する場合、どの駅（※）を利用していますか。（○は1つ）

※あなたが自転車を使い、さらに電車を使う駅として、最もよく使う駅を1つだけお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1 J R川崎駅 | } 問12へ |
| 2 J R八丁畷駅 | |
| 3 J R川崎新町駅 | |
| 4 J R浜川崎駅 | |
| 5 京急川崎駅 | |
| 6 京急港町駅 | |
| 7 京急鈴木町駅 | |
| 8 京急川崎大師駅 | |
| 9 京急東門前駅 | |
| 10 京急産業道路駅 | |
| 11 京急小島新田駅 | |
| 12 その他の駅（ _____） | |
| 13 自転車のみ利用し、電車は利用しない → 次ページ問13へ | |

《問11で「1～12（駅を利用する）」を選んだ方にお聞きします》

問12 上記の駅を利用する際、自転車を有料駐輪場に停めていますか。有料駐輪場を利用している場合、週に何回利用していますか。（○は1つ）

- | |
|------------------|
| 1 週に5回以上、利用している |
| 2 週に3～4回、利用している |
| 3 週に2回以下、利用している |
| 4 有料駐輪場は、利用していない |

《全員の方へお聞きします》

問13 自転車乗車時のマナーで問題だと思う行為は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 歩行者の間をぬっての歩道通行
- 2 並走
- 3 二人乗り
- 4 ながら運転(傘差し、携帯電話、イヤホン等)
- 5 スピードの出しすぎ
- 6 車道の左側を走らない
- 7 夜間無灯火での運転
- 8 歩行者への思いやりがない行為(ベルを鳴らす、声で威嚇する等)
- 9 その他の行為()
- 10 問題だと思う行為は、ひとつもない



◆ ここからは、区民の皆さまの区民会議への関心などについておうかがいします

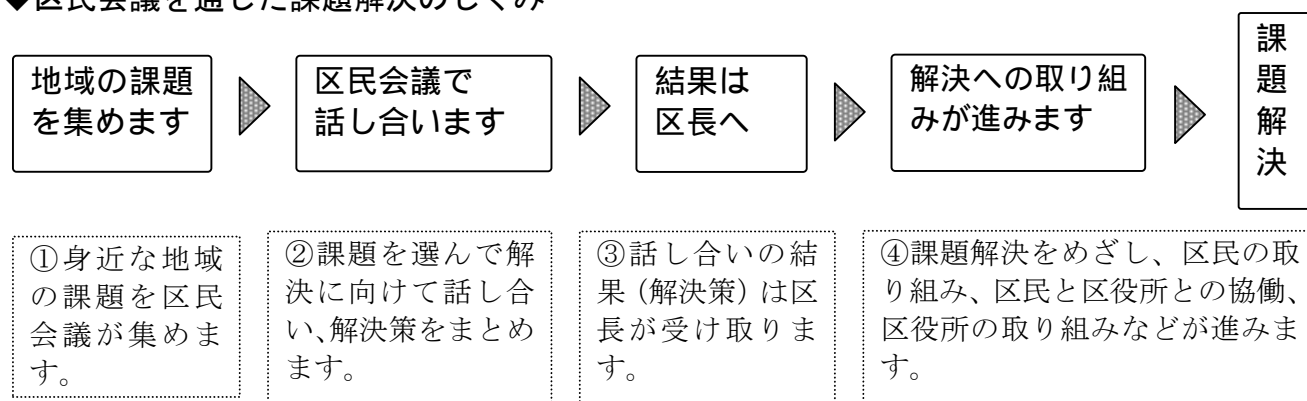
川崎区区民会議について

◆ 区民会議とは

川崎区区民会議では、区民が委員となり、身近な地域の課題を選んで解決に向けた話し合いをします。その結果は区長が受け取り、区民と区役所との協働(※)などにより、課題の解決に向けた取り組みを進めます。

(※) 協働とは、共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任の下で、相互の立場を尊重し、対等な関係で協力することです。

◆ 区民会議を通じた課題解決のしくみ



詳細は、区ホームページ「川崎区区民会議」でもご覧いただけます。

平成18年度から川崎区区民会議を設置しています。
今後の区民会議の運営の参考とするため、以下についてお聞きします。

問14 あなたは、「区民会議」を知っていましたか。(○は1つ)

- 1 内容まで知っていた
- 2 あることは知っていたが、内容は知らなかった
- 3 知らなかった

問15 区民会議の審議結果を基に、区内でさまざまな取り組みを実施しています。
次の取り組みのうち、知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 シニア世代の地域活動への参加促進イベントの開催
- 2 環境意識向上ポスターコンクールの開催、入賞作品を活用した地域でのPR活動
- 3 支所等の公共施設での、区民との協働による緑のカーテンづくり
- 4 外国人市民向けのメールマガジン「インターコムかわさきく」の配信
- 5 「区の花」「区の木」の制定
- 6 知っているものはひとつもない

問16 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいと思う項目を、3つまでお選びください。
(○は3つまで)

- 1 防災または地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野
- 2 福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野
- 3 子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野
- 4 緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境を向上させる分野
- 5 産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野
- 6 文化・観光・スポーツの振興などまちの魅力を発信する分野
- 7 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野
- 8 その他の地域課題 ()

問17 第3期川崎区区民会議からの提案を基に、区制40周年を迎える平成24年4月に
「区の花」及び「区の木」を制定します。
地域緑化や区のイメージアップ等の取り組みを進めていく上で、「区の花」「区の木」の
活用方法についてのご意見・ご提案等を、ご自由にご記入ください。



◆ ここからは、区民の皆さまの市民活動や地域活動への参加などについておうかがいします

市民活動及び地域活動への参加について

問18 あなたは、町内会・自治会などの地域団体での活動やボランティア活動、サークル活動などの地域における活動を行っていますか。(○は1つ)

- 1 活動を行っている → 問19へ
- 2 活動を行っていない → 問20へ

《問18で「1 活動を行っている」を選んだ方にお聞きします》

問19 あなたが地域で活動している団体(グループや個人の活動も含む)の活動分野をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 防犯・防火などの地域安全に関する活動
- 2 交通安全に関する活動
- 3 保健・医療または福祉に関する活動
- 4 子ども・青少年や子育て・教育に関する活動
- 5 街の美化や緑化、生活環境に関する活動
- 6 文化、観光、産業振興に関する活動
- 7 地域のまちづくりに関する活動
- 8 町内会・自治会に関する活動
- 9 スポーツ振興に関する活動
- 10 社会教育の推進に関する活動
- 11 その他の活動()



《全員の方へお聞きします》

問20 あなたが今後、参加してみたいと思う地域活動の分野は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 防犯・防火などの地域安全に関する活動
- 2 交通安全に関する活動
- 3 保健・医療または福祉に関する活動
- 4 子ども・青少年や子育て・教育に関する活動
- 5 街の美化や緑化、生活環境に関する活動
- 6 文化、観光、産業振興に関する活動
- 7 地域のまちづくりに関する活動
- 8 町内会・自治会に関する活動
- 9 スポーツ振興に関する活動
- 10 社会教育の推進に関する活動
- 11 その他の活動()
- 12 地域活動には参加したくない → (理由:)

◆ **最後にあなた様ご自身についておうかがいします**

※調査結果をまとめるために必要な情報となります。

F 1 あなたの性別をうかがわせてください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたのご年齢をうかがわせてください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 4 40～49歳 | 7 70～79歳 |
| 2 20～29歳 | 5 50～59歳 | 8 80～89歳 |
| 3 30～39歳 | 6 60～69歳 | 9 90歳以上 |

F 3 あなたの現在のお仕事は、どれですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 自営業 | 6 主婦・主夫(家事専業) |
| 2 家族従業(家業手伝い) | 7 学生 |
| 3 勤め(フルタイム) | 8 無職 |
| 4 勤め(パートタイム) | 9 その他() |
| 5 内職 | |

F 4 現在、同居しているご家族は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------|
| 1 1人(1人暮らし) | 5 5人 |
| 2 2人 | 6 6人 |
| 3 3人 | 7 7人以上 |
| 4 4人 | |

F 5 あなたは町内会・自治会に加入していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|----------------------|
| 1 加入している | 2 加入していない
→(理由:) |
|----------|----------------------|

F 6 あなたのお勤め先あるいは通学先はどちらですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 川崎市内(川崎区) | 5 東京都(23区) |
| 2 川崎市内(その他の区) | 6 東京都(23区以外) |
| 3 横浜市内 | 7 その他 |
| 4 神奈川県(川崎市・横浜市以外) | 8 通勤・通学していない |

～ご協力、誠にありがとうございました。このアンケートを同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、大変お手数ですが12月19日(月)までに、ポストへ投函してください。～

平成23年度 川崎区区民アンケート <報告書>

平成24年 3月

発 行 川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町 8 番地

TEL 044-201-3267 (直通)

FAX 044-201-3209



川崎区